



令和7年度
(2025年度)

地域運営学校 活動事例集

八王子市教育委員会



目次

◆掲載校一覧

第一小学校	1	式分方小学校	29
第二小学校	2	横川小学校・横川中学校	30
第三小学校	3	恩方第一小学校	31
第四小学校	4	恩方第二小学校	32
第五小学校	5	元木小学校	33
第七小学校	6	川口小学校	34
第八小学校	7	陶鎔小学校	35
第九小学校	8	上川口小学校	36
第十小学校	9	美山小学校	37
中野北小学校	10	檜原小学校	38
清水小学校	11	松枝小学校	39
大和田小学校	12	加住小中学校	40
小宮小学校	13	由井第一小学校	41
高倉小学校	14	由井第二小学校	42
宇津木台小学校	15	由井第三小学校	43
横山第一小学校	16	長沼小学校	44
横山第二小学校	17	片倉台小学校	45
散田小学校	18	高嶺小学校	46
長房小学校	19	みなみ野小中学校	47
船田小学校	20	みなみ野君田小学校	48
館小中学校	21	七国小学校・七国中学校	49
山田小学校	22	浅川小学校	50
櫛田小学校	23	東浅川小学校	51
緑が丘小学校	24	由木中央小学校	52
元八王子小学校	25	由木東小学校	53
元八王子東小学校	26	由木西小学校	54
上壺分方小学校	27	鹿島小学校	55
城山小学校	28	松が谷小学校	56

◆掲載校一覧

中山小学校	57	恩方中学校	85
柏木小学校	58	川口中学校	86
南大沢小学校	59	檜原中学校	87
宮上小学校	60	由井中学校	88
秋葉台小学校	61	打越中学校	89
別所小学校	62	浅川中学校	90
愛宕小学校	63	陵南中学校	91
松木小学校	64	由木中学校	92
下柚木小学校	65	松が谷中学校	93
上柚木小学校	66	中山中学校	94
長池小学校	67	南大沢中学校	95
鍵水小学校	68	宮上中学校	96
高尾山学園	69	別所中学校	97
第一中学校	70	上柚木中学校	98
第二中学校	71	松木中学校	99
第四中学校	72	鍵水中学校	100
第五中学校	73	いずみの森義務教育学校	101
第六中学校	74		
第七中学校	75		
ひよどり山中学校	76		
甲ノ原中学校	77		
石川中学校	78		
横山中学校	79		
長房中学校	80		
梶田中学校	81		
元八王子中学校	82		
四谷中学校	83		
城山中学校	84		

学校運営協議会設置年数一覧

設置年度	設置校数	設置校
19年度	3校	東浅川小学校 第六中学校、宮上中学校
20年度	4校	陶鎔小学校、浅川小学校 元八王子中学校、城山中学校
21年度	6校	梶田小学校、中山小学校、宮上小学校、下柚木小学校 第一中学校、陵南中学校
22年度	8校	第七小学校、館小学校、加住小学校、愛宕小学校 館中学校、加住中学校、浅川中学校、松木中学校
23年度	6校	長房小学校、柏木小学校、南大沢小学校、松木小学校、長池小学校 南大沢中学校
24年度	4校	横山第一小学校、上川口小学校 恩方中学校、由木中学校
25年度	6校	第二小学校、高倉小学校、高嶺小学校 ひよどり山中学校、由井中学校、中山中学校
26年度	7校	第五小学校、清水小学校、宇津木台小学校、式分方小学校、 由井第三小学校 横山中学校、川口中学校
27年度	6校	緑が丘小学校、長沼小学校、由木西小学校、高尾山学園(小学部) 梶田中学校、高尾山学園(中学部)
28年度	6校	第四小学校、第九小学校、中野北小学校、小宮小学校、 散田小学校、山田小学校
29年度	30校	第一小学校、大和田小学校、横山第二小学校、 元八王子小学校、元八王子東小学校、上壱分方小学校、城山小学校、 横川小学校、恩方第一小学校、恩方第二小学校、元木小学校、 檜原小学校、由井第二小学校、片倉台小学校、由木中央小学校、 由木東小学校、鹿島小学校、松が谷小学校、上柚木小学校、 鍵水小学校 第五中学校、第七中学校、甲ノ原中学校、石川中学校、 長房中学校、横川中学校、打越中学校、松が谷中学校、 上柚木中学校、鍵水中学校
30年度	12校	第三小学校、第十小学校、松枝小学校、由井第一小学校、 みなみ野小学校、みなみ野君田小学校、秋葉台小学校、別所小学校 第二中学校、第四中学校、檜原中学校、みなみ野中学校
31年度(元年度)	8校	第八小学校、船田小学校、川口小学校、美山小学校、七国小学校 四谷中学校、七国中学校、別所中学校
2年度	1校	いずみの森義務教育学校(※)
合計	107校	

※学校運営協議会の設置は、いずみの森小中学校であった平成29年度。義務教育学校化に伴い、令和2年度に名称変更。

第一小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○進んで学ぶ子

義務教育9年間を見通した小中一貫教育を通して、自ら問題を見出して解決策を考えていけるような子を育てる。

○心豊かでみんなのためにはたらく子

基本的な生活習慣の確立や体験的な活動を通した道徳教育・特別活動を中心に、豊かな心をもった子を育てる。

○健康な子

運動に親しみ、進んで体を鍛える意欲と運動する子を育てる。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校・家庭・地域の協力関係を深め、連携を強化することで、地域に開かれた信頼される学校づくりをめざす。

○教育活動に係る支援

学校運営協議会の授業参観、学校行事への参加、広報活動を通して、学校・家庭・地域の連携を図り、児童の健全育成を行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

放課後補習教室や漢字検定など、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



マンツーマンだからよくわかる！るり丸教室

学習習慣の定着、基礎学力の向上を目指して、令和5年度から児童対象に学習支援教室「るり丸教室」を開催しています。6年度から放課後子ども教室と共催になり、指導補助として、ボランティア(学生、シルバー、地域)が毎回1～4名参加して活動を支えています。児童は、宿題に取り組んだり、用意したプリント(3分間計算チャレンジ、漢検対策プリント等)に取り組んだり、読書をしたりと自分のペースで学習を進めています。また、ボランティアとの交流も楽しいひと時となっています。7年度は、週3回(月・火・木曜日)開催でしたが、8年度は週4回(月・火・木・金曜日)に増やし、更に充実を図っていく予定です。

親子ふれあい工作教室(凧作り・凧あげ)



八王子BBS会と共催で、1月に「親子ふれあい工作教室」を実施しました。当日は50名を超える参加者が和紙で凧作り、凧あげをしました。後日、親子で河原に行き、凧あげをした子もいたようです。土曜日のひと時、親子での充実した時間となりました。写真は参加した本校職員の凧です。

たがの杜小中学校(第二小学校)

-- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

○自ら学び考える人

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の向上により、主体的に学ぶ態度を育成する。

○思いやりがあり、責任ある行動のできる人

自他を尊重しながら粘り強く他者と協働し、人権感覚を洗練することにより、思いやりのある態度を育成する。

○心身ともに健康で社会に役立つ人

持続可能な社会の実現に向け、自らの力を活かそうとする態度、社会参画意識と勤労観・職業観を醸成する。

■学運協運営目標

<学校運営に係る協議>

○たがの杜小中学校の円滑なスタート及び義務教育学校開校に向けた小中学校運営協議会の連携(継続・強化)

○学校運営協議会の企画事業への参加。学力の向上、体力の向上、地域とのかかわりを深める(継続・強化)

<教育活動に係る支援>

○学校運営協議会と連携した漢字検定への参加(継続・強化)

○地域住民や保護者への積極的な情報提供(継続・強化)

○児童の「学力・体力の向上」「地域行事への活動」への取組(継続・強化)



-- 地域運営学校紹介 -----

「地域社会・家庭・学校を繋ぎ、支え合う協働体制を構築し、健やかな子どもを育てる」という学校運営協議会の目標を踏まえ、「地域で、地域と共に学ぶことのできる多賀の学び舎」を掲げ、保護者・学校・地域が協働して、子どもたちが安全に安心して生活できる学校づくりを行っています。

-- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP!



地域の力で地域を守る! ~学校・地域合同防災訓練~

大地震発生に伴った避難所開設の場合に備え、地域・町会と学校が連携した「学校・地域合同防災訓練」を実施しています。

実施にあたっては、学校運営協議会委員の協力のもと様々なセクションを設け、児童が体験を通じて「防災意識」を高められようとしています。

毎年開催している本訓練は、防災教育の充実を図るだけでなく、児童・保護者・地域住民が、地域の絆を深める貴重な機会となっています。

めざせ! 漢字マスター!



学校運営協議会主催の漢字検定を実施しています。今年度も受検者が100名を超えました。



本物との貴重な出会い!

バスケットボールチーム、フットサルチームのプロ選手を招いた出前授業を開催し、体力向上を図りました。

第三小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- やさしく
やさしい心をもち、自分も人も大切にする児童
- かしこく
すすんで学び考えながら、協働して課題に取り組む児童
- たくましく
自分から心や体を鍛え、前向きに行動する児童

■学運協運営目標

- 第六中学校の学校運営協議会とも連携し、小中一貫の視点を踏まえ、家庭・地域・社会が連携した学校づくりを推進していく。
- 学校運営協議会の運営に関する地域への広報としての「コミュニティカレンダー」を作成していく。
- いじめ防止や不登校対応について、第六中学校、地域との情報共有を通して連携の強化を図っていく。
- 第六中学校との総合避難訓練(引き渡し訓練)の合同実施。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した居場所づくりや様々な行事、学習教室などが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。放課後こども教室や朝の子どもの見守り(あさViva)など、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししてくださっています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



安心して遊べる子どもの居場所づくり(こっこや)

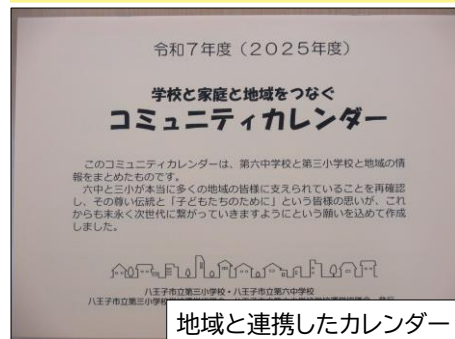
平成30年度から毎週、『Cocco』の皆さんが憩いの部屋や廊下で「こっこや」を開催しています。『Cocco』とは、第三小学校を卒業した児童の保護者による組織で、いつでも話ができる大人が学校にいるという環境を整えることを目的に活動しています。毎回、学年に合った遊べる用具を用意しています。

令和7年度は、1年間で38回実施することができました。毎週のこっこやの活動後は、その日の様子を『Cocco』と学校とが共有しており、担任では分からない児童の様子やつぶやきを知ることができ、児童の理解にもつながっています。



助産師による「いのちの授業」

令和7年度から、「自分も人も大切にする児童の育成」を目指し、助産師による「いのちの授業」を新たに始めました。



地域と連携したカレンダー

第六中と第三小と地域の情報をまとめたコミュニティカレンダーを作成しました。パソコンクラブの児童も作成に参加しました。

第四小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- すすんで学びよく考える子:自ら意欲的に学び考え、様々な条件・既習事項を用い、判断し課題追究を行う子
- 心豊かでみんなのために働く子:豊かな心と思いやりの心を持ち、善悪を判断し自分を生かし協力し合って他人のために行動できる子
- 健康でいのちを大切にする子:自分の健康管理を自ら行い、自分のいのちと共に他の人のいのちを大切に、人権を尊重する子

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議:「学力向上」「地域連携」「環境美化」「記録・広報」の4つの分科会を柱とし、開校110周年という節目を契機に、学校・保護者・地域・関係機関がより強固に一体となった支援活動を展開する。学校運営協議会が核となり、歴史と伝統を次世代へ繋ぐとともに、社会に開かれた信頼される学校づくりを推進する。
- 教育活動に係る支援:学校の教育目標「すすんで学びよく考える子・心豊かでみんなのために働く子・健康でいのちを大切にする子」の実現に向け、学校コーディネーターや地域諸団体との連携を深化させる。教職員との対話を重視し、児童の多様なニーズに即した学習支援や安全確保、豊かな体験活動の機会を継続的に提供していく。

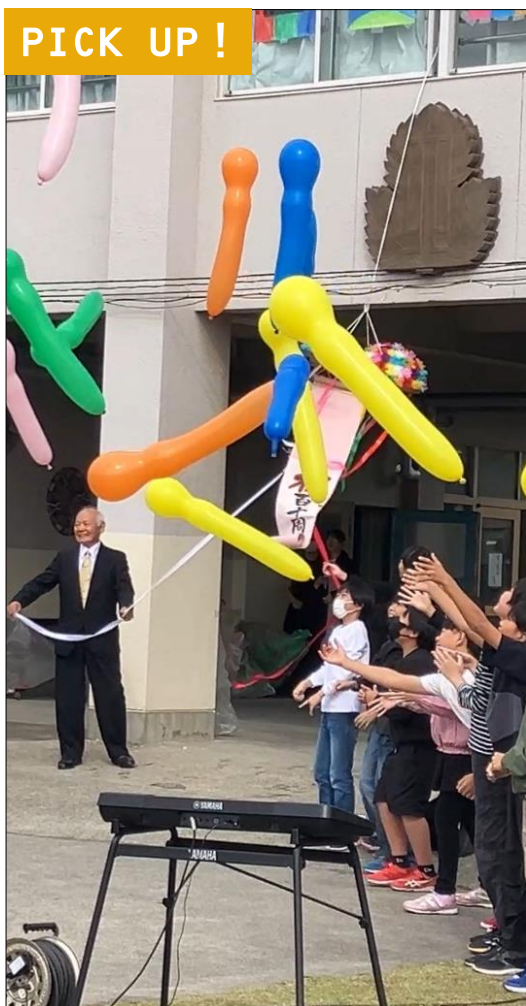


--- 地域運営学校紹介 ---

地域の町会長が委員を務め、子どもや保護者をつなぐ強力な地域連携が本校の学校運営協議会の強みです。学校運営協議会の際の校内巡回による児童支援、教職員との懇親会を通じたコミュニケーションも活発です。温かな委員の方々が核となり、PTAや地域諸活動の結びつきを深める「つなぎ役」として尽力しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



おめでとう110周年 ～開校110周年記念事業 と地域連携の深化～

開校110周年という大きな節目に際し、学校運営協議会が核となって実行委員会を組織し、企画から運営までを主導しました。

特に地域・保護者・教職員が一体となった記念式典の成功に向け、小学校PTA連合の力も借りて大成功を収めることができました。

この事業を通じて児童が、学校だけでなく地域や保護者への愛着も深まり、学校運営協議会の方々とコミュニケーションが図られ、地域で育っているという帰属意識も深まりました。

学校運営協議会から寄贈された校旗は、現在も6年生によって毎日掲げられています。

きれいな芝生を残そう



毎週土曜日午前中に保護者や地域へ呼びかけ、年間を通じて芝生整備を継続しています。良好な教育環境を保っています。

10年後の学校の姿は？



年に2回、第五中学校グループの学校運営協議会が集まって、地域における展望や課題を話し合っ、交流・連携を進めています。

第五小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○健康で明るい子

○自ら学び 考えを深める子

○思いやりをもち 助け合う子

■学運協運営目標

○地域と連携しながら、子どもたちの健全育成を図るために、地域学校協働推進本部の組織化と事務体制の確立を図る。

○学校の教育活動が充実したものとなるよう、地域の人材を活用する。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、令和7年度に開校90周年を迎え、学校・保護者・地域が連携した様々な周年記念行事を行いました。

地域と連携した放課後の居場所づくり(放課後・朝の子ども教室)、放課後補習教室の開催などの体制が整っています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



開校90周年記念事業『ようこそ先輩！』

開校90周年記念事業の一環として、1月の道徳授業地区公開講座にて、本校卒業生の方をお招きし、『ようこそ先輩』を行いました。

在校当時の校舎の様子や思い出についてお話いただき、子どもたちは今の第五小学校の様子と比較しながら、興味をもって聞いていました。

先輩方のお話を聞くことで、自分たちの学校への愛校心や地域への愛着心など、改めて考える貴重な時間となりました。



楽しく遊んでから下校です。

年間を通して、土、日曜日を除くほぼ毎日放課後子ども教室を実施しています。始業前の朝の見守りも行っており、子どもたちの居場所となっています。



30分間頑張っています。

3・4年生、5・6年生が隔週で、毎週木曜日に放課後補習教室(スマイル教室)を開催しました。基礎的な計算力の向上を目指して、かけ算九九の習得を中心に行いました。

第七小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

◎進んで学ぶ子ども

基礎的基本的な知識・技能の習熟・定着。学習意欲を高め、思考力、判断力、表現力を育成。

◎協力して責任を果たす子ども

友達の関わりを通して、自他の責任を果たす。認め合い、高め合い、結び合える。

◎健康で心豊かな子ども

心身ともに健康。豊かな心をはぐくみ、誰をもかけがえのない存在として認め合える。

■学運協運営目標

◎地域の将来を担う子どもたちに「生きる力」を身に付けさせることを目的とし、学校教育目標及び学校経営計画について、様々な角度から意見を述べ、教育活動や地域連携に関する取組につなげる。

◎学習環境の整備を行い、児童の学力向上を図る取組を充実させる(放課後算数教室や漢字検定等の実施。児童の学力定着や学習意欲の向上。)

◎学校運営の充実を図るために外部講師を招いた活動を取り入れ、教育活動の充実を図る。



--- 地域運営学校紹介 ---

第七小学校は広い学区における地域と連携した学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して児童を育てる体制が整っています。放課後算数教室や職場体験・町探検における交流活動、地域ボランティアによる読み聞かせ・語り部の会など、温かい支援が児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



顔合わせ会



懇談会



放課後算数教室



語り部の会



職場体験

基礎的基本的な知識・技能の習熟・定着を目的として、放課後算数教室を年13回実施しました。参加は希望制ですが、毎回、希望者が多数います。



漢字検定

顔が見える学校運営協議会

第七小学校の学校運営協議会委員は様々な機会を通じて児童や学校の様子を見守ってくださっています。学校公開、授業参観、運動会・学芸会の他、校内研究授業を参観されることもあります。

学校運営協議会委員と第七小学校の教職員との顔合わせ(4月当初)や学校運営協議会委員と教員との懇談会(5月)も実施しています。互いの顔や名前を知り、地域や校内で挨拶をし合ったり、児童や地域等の情報提供・情報共有したりすることで第七小学校への誇りが高まります。

平日の午後、第七小学校を会場として漢字検定を実施しています。児童は自分の目標を決め、合格を目指します。令和7年度は192名が受検しました。

第八小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)【要約】

○かしこく(知)

気付きから学びを広げ、基礎・基本を身に付けられるようにするとともに、意見交換を通して自他の考えの違いに気付けるようにする。

○ゆたかに(徳)

あいさつや言葉遣いなどの言語習慣を身に付け、いじめを許さない態度を育てるとともに、道徳的価値やよきまもりを守る姿勢を養う。

○たくましく(体)

運動や食事・休養を通して望ましい生活習慣づくりに関心を持ち、健康な体づくりに励む態度を育てる。

○みんなと生きる子(共生)

多様な人との関わりの中で、計画して活動し、教わるよさや感謝を学び、協力の心地よさを感じながらコミュニケーション力の基礎を育てる。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

児童・保護者・地域にとって有意義な教育活動が行えるよう、各委員の立場から自由に意見を出し合い協議し、実効性のある方策を立てて実施し、学校をよりよくしていく。

○教育活動に係る支援

学力向上に向け、学習内容の補完をする放課後補習教室の運営、放課後の居場所づくりのための「さくらっ子広場」の運営サポートをしながら、学校の教育活動をさらに充実したものにしていく。



--- 地域運営学校紹介 ---

教育目標に「みんなと生きる子(共生)」を掲げ、保護者や地域と連携した学習支援や居場所づくりを積極的に進めています。

保護者による学習ボランティアや、地域による放課後学習の実施など児童の学びと成長を支えるために、たくさんの方が協力してくださっています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



みんなでやれば楽しくできる～ わくわくスタディ・わくわくワーク

本校では、子どもたちの学力と学習意欲の向上を図るため、水曜日の放課後(わくわくスタディ)や、夏季休業日のはじめの3日間(わくわくワーク)に補習教室を開催しています。

特にわくわくワークでは、地域の方だけでなく、中学生の学習部の生徒も加わって、子どもたちに手厚く指導をしています。普段、学習に気分が乗りにくい子どもたちも、それぞれのペースでがんばって学習に取り組む様子が見られました。



漢字の勉強がんばるぞ！

年1回漢字検定を実施しています。子どもたちの漢字学習への意欲を高める一助となっています。



交流の輪を広げています

保護者同士や関係機関との交流の場として、「さくらサロン」を学校公開日に開設しています。乳幼児連れの方が一息つける場にもなっています。



第九小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■スローガン

みんなが輝く、みんなで輝く

■学校目標(教育目標)

◎よく考え自ら学ぶ子(重点目標)

○思いやりがあり助け合う子

○明るく健康な子

八王子市立第九小学校の教育活動は、「安全と信頼」を基盤とし、「学び合い」を中核とし、「生きがい」を生むことを理念とします。

■学運協運営目標

○学校運営協議会・地域・PTAの連携による教育活動の維持

学校運営協議会・地域・PTAを連携し、学校行事の実施方法を協議し、推進していく。

○地域の教育力を生かした学力向上の取り組み

地域の教育力を活用し、児童の学習の基礎・基本の定着を目標にして学力向上を図る。



--- 地域運営学校紹介 ---

笑顔あふれる学び舎で、学校・家庭・地域の協働の下、全教職員一丸となって、6年間で子どもたち一人ひとりの可能性を最大限伸ばす「みんなが輝く、みんなで輝く」学校を実現します。

学校と保護者、地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組みます。学運協は、よりよい学校運営のために「熟議」するところです。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



農作業体験

校内の畑を利用し、6年生が「じゃがいも」掘りをしました。学運協の委員の方を中心に地域の方がゲストティーチャーとなり、教えていただきながら一緒に作業をしました。子どもたちは教室での学習とはまた違うキラキラした目で活動を楽しむことができました。3月は次年度に向けて5年生が「じゃがいも」植えに取り組みます。

また、農作業だけでなく、校庭の花壇を整備し、きれいな花を植えていただき、学校が華やかな雰囲気になりました。すすんで花の水やりをしたり、花壇に入らないよう全校児童に声をかけたいと申し出たりするなど、見た目の良さだけでなく、内面も美しく育ってきています。



避難所開設訓練コーディネート

地域と学校が合同で防災訓練を実施しています。6年生が参加し、この地域に住む一員として行動できるよう、学びました。

夏休み漢字検定



学運協や保護者、地域の有志の方々に見守られ、夏休みに漢字検定に挑戦しています。目標に向かって努力する姿が素敵です。

第十小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

より良く生きる「根」を育てる教育活動の創造

- 自ら学び自ら考える子
- 規律を重んじ関わりを大切にする子
- 体力を養い健康的な生活習慣を形成できる子

■学運協運営目標

- 学校運営の参画
地域や保護者と共に教育活動や学校運営に参画できる体制を構築する。
- 最大の教育環境は教職員
CS公募制度を活用した十小への応募者を募る。
- 学力向上の推進
漢字検定の実施、放課後学習教室の設置
- 地域人材の有効活用
水泳指導・校外活動のサポート・中学生ボランティアの活用



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、開校72年目の歩みを進めています。本校のよき伝統は、縦割り班活動を代表とする異学年交流によって培われた先輩学年の子どもたちが後輩学年の子どもたちを大切にし、導き、模範となることです。児童、教職員、保護者、地域の皆さんが一体となって未来に向けた第十小学校の一步前進に努めていきます。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



中学生ボランティアの活躍

運動会にひよどり山中学校の生徒が第十小学校の運動会を手伝ってくれました。開会式から9人の生徒の皆さんが、運動会運営の補助や、後輩である子どもたちの支援、そして、閉会式後にはさらに多くのひよどり山中学校の生徒が片付けを手伝ってくれました。3年目となる十小運動会の中学生ボランティアですが、3年連続で参加してくれた生徒や十小卒業ではないけれども参加してくれた生徒もいます。本当にありがたうらしい志でした。



学校運営協議会主催で、漢字検定を毎年1月に行っています。

子どもたちはこの日のために漢字の練習に取り組み、検定に挑戦しました。漢字の学習に取り組むとても良い機会となっています。

中野北小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- よく考え 表現する子
確かな学力を基に、主体的に表現する子の育成
- 自分とみんなを 大切にする子
豊かな心を育み、自他をを大切にする子の育成
- 健康で明るい子
健やかなからだを育み、健康で明るく生きる子の育成

■学運協運営目標

地域で子どもを育てる中北小

- 地域とともにすすめる学校運営の充実
児童・教職員・保護者・地域が一つにまとまった学校運営の実現に向け、地域と学校が関わり合っているような活動を推進する。
- 学力・体力向上と体験活動の推進
基礎的・基本的な学力の向上、体力向上及び体験学習を地域とともに進めていく。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と一体になった学校づくりを特色としています。地域合同運動会や地域防災訓練、中北祭り(防災キャンプ)などを通して、学校と地域が顔の見える関係を築いています。また、地域の人材を活用した投げ方教室や米作り、養蚕体験、ビオトープ作りなど、体験的な学習活動を充実させています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



遠くまで投げるよ！

投げ方教室。地域の野球チームの方が中心になりボールの投げ方、ボールを投げる時の体の使い方をわかりやすく教えてくださいました。



楽しい行事がいっぱい！～地域とともに体験活動～

本校では、地域の方々の協力を得ながらさまざまな体験活動を行っています。米作り体験では、田植えから収穫までを行い、自然や食への理解を深めています。夏休みにはサマースクールを実施し、学習支援を通して地域の大人と子どもが交流しながら学ぶ機会をつくっています。また、地域と一緒に「中北祭り(防災キャンプ)」では、校庭で遊んだり、体育館に宿泊したりする活動を通して災害時に支え合える地域のつながりや防災意識を高めています。餅つきなどの伝統的な行事も大切にして、地域への愛情を育んでいます。



放水訓練！！

地域の防災訓練に参加しました。放水訓練、消火器訓練、AED訓練、煙体験など、地域と合同で行うことで多くの体験ができました。

清水小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○よく学ぶ子

授業や体験活動を通して、自分で考え、友達と学び合いながら理解を深める子を育てます。

○思いやりのある子

道徳や学校生活の中で、自分や相手のことを考えながら行動できる心を育てます。

○たくましい子

運動や日々の活動を通して、健康な体と最後まで頑張る力を育てます。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

地域との連携と協働活動機会の創出

○教育活動に係る支援

地域人材や特色を活用した学習機会の創出



--- 地域運営学校紹介 ---

「学習支援」「学校環境保全」「地域協働」を活動の3つの柱とし、学運協で合意形成したことを地域学校協働本部が実践しています。活動の仕組みは“放課後子ども教室”や“学校活動支援・協働事業”の予算を割り当てるなど、地域の有志が関わりやすい実践方法を採用し、成果を上げています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



学校×児童×保護者×地域 ふれあいランチ

地域の皆さんに家庭科室で「カレー」を作ってもらい、みんなで食べました。清水小で育てた野菜で作った“らっきょ”や“福神漬け”も付け合わせで用意し、地産地消のふれあいランチです。

ランチの後は、大人(保護者×教員)vs児童での「逃走中」、さらに教育委員会の紹介で、「金融教育講座」を児童保護者向けに実施しました。

いっぱい食べていっぱい走っていっぱい学んで、清水小卒の中高生など地域からのたくさんの支援で、子どもたちはのびのび育っています。



地域に向けて学級文庫の寄付を呼び掛けたところ、多くのご協力をいただきました。



校庭の梅の実で梅干し作りを行いました。地域のおばちゃま達の知識と経験も、大事な教育資源となっています。

大和田小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- よく考えて勉強する子ども
〈学びの基礎力:みんなで学ぶ大和田っ子〉
- 思いやりのある清らかな子ども
〈心の基礎力:みんなで伸びる大和田っ子〉
- 健康で明るい子ども
〈体の基礎力:みんなで働く大和田っ子〉

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議
・『楽しい学校』『みんなの学校(地域とともにある学校)』をめざし活動する。
・学校内および周辺の安全・防犯・防災体制を再確認する。
- 教育活動に係る支援
大きく変化する環境や社会の中で、SDGs、多様性を尊重した人権教育を進め、児童・教職員・保護者・地域住民の皆が、自ら考え行動できる思考力・判断力・表現力を協働しながら育ていく。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した学習支援や居場所づくり、登下校の見守りが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。放課後補習教室や交流活動など、保護者や地域ボランティアの温かい支援のおかげで、子どもたちは安心して学校生活が送れています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



大きくなあれ！大和田っ子農園・大和田っ子ガーデン

季節の花や作物で彩られた「大和田っ子農園」「大和田っ子ガーデン」の活動は、保護者や小学生、地域の方の交流の場となっています。「大和田っ子農園」では、無農薬で遺伝子組み換えのない江戸東京野菜の栽培を通してSDG'Sを学んでいます。「大和田っ子ガーデン」では、季節に合わせた色とりどりの草花で子どもたちを迎えようと、地域のボランティアの方々が花壇のお世話に取り組み、学校の大切な美化活動となっています。



師匠の楽しい話に大笑い

道徳地区公開講座では噺家の林家うん平師匠を講師としてお招きし、キャリア教育の講演会を行いました。



さあ、がんばるぞ

学運協が主体となり年2回漢字検定を行いました。保護者や地域の方が試験監督をボランティアで行っています。

小宮小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○ゆたかな子

ゆたかな心情と思いやりの心を持ち、表現できる子

○かしこい子

自主的・意欲的に考え、判断し実践できる子

○たくましい子

強い意志と丈夫な体を持ち、進んで行動できる子

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校運営協議会委員と教職員とが互いに知り合い、親しみを深め、打ち解ける関係性をめざして、教職員とのコミュニケーション向上を図る。

○教育活動に係る支援

放課後算数教室、漢字検定の運営、PC指導の充実など、学校運営協議会の活動の充実を図っていく。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

放課後子ども教室や地域交流活動など、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



放課後算数教室

月3回程度、毎週火曜日に2年生から6年生を対象に実施しています。放課後子ども教室「こみー」との実施日を調整したことで、参加する子どもたちの人数が安定しました。

「算数が楽しくなった。」「授業よりも先生と話してできるから楽しい。」など、子どもたちの算数好きが増えました。令和7年度は40～50人の子どもが参加しました。3学期には試行期間として1年生対象に算数教室を実施しました。

プログラミング教育の充実を図る取組として、PC指導協力者の助言により、プログラミング授業のモデルが共通理解され、スクラッチを利用した全学年でのプログラミング教育が定着しています。



自分だけの動きを作ってみよう

漢字検定の充実を図る取組として、漢字検定の受検可能者拡大をめざした、漢字検定家族受検を継続実施しています。



どれくらい漢字が書けるかな!?

高倉小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)「喜び合える子」※◎は重点目標

◎元気に遊ぶ

学校生活全体で体を十分に動かす活動を重視する。自己の健康増進への関心を高め、すすんで体力を高めようとする態度を育成する。

◎本気で学ぶ

一人ひとりのニーズに応じた指導や支援をすすめる。個別支援を組織的に進め、基礎的・基本的な知識及び技能の向上を図る。

◎正しく生きる

生命及び人権の尊重を不変の価値とし、道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養をめざす。

■学運協運営目標

◇学校・家庭・地域の役割とそれぞれの良さを再確認し、「チーム高倉」としての力を高める。

学力向上策、いじめ防止対策、各行事の取組等、漢字検定の実施、放課後子ども教室の「学習スペース」の実施、学校コーディネーターと連携し、図書ボランティアの活動の実施。

◇児童が自己肯定感や自尊感情を高められるようにする。高倉大根の栽培活動の充実。ニュースポーツの実施、地域活動の充実。



--- 地域運営学校紹介 ---

学校・家庭・地域が役割を再確認し、「チーム高倉」として協働を推進しています。

学力向上やいじめ防止、漢字検定、学習支援、ニュースポーツや地域活動を通して、子どもたちの自己肯定感と「地域に支えられている」という実感を育てています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



受け継ぐ種、広がる学び～江戸東京野菜 高倉大根の栽培～

本校では、地域連携の柱として江戸東京野菜「高倉大根」の栽培に取り組んでいます。学校運営協議会委員であり、長年江戸東京野菜の普及に尽力されている福島さんを講師に迎え、4年生が種まきから間引き、収穫までの指導を受けました。さらに、大根を収穫して終わりとせず、花を咲かせて種を採取するところまで体験することで、作物の一生と命の循環を学んでいます。採れた種は大切に保管し、次年度の4年生へと引き継ぐことで、地域の伝統野菜を守り育てる意識を高めます。



見守りが自信を育てる

11月と2月に地域と連携して漢字検定を実施しました。地域の方の見守りなどで、子どもたちは安心して検定に臨むことができます。



笑顔になる朝のひととき

学校コーディネーターを中心に保護者や地域の皆様の協力のもと、読み聞かせをしています。子どもたちも毎回楽しみにしています。

宇津木台小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○よく考え、すすんで学ぶ子〔学力の育成〕

自分の思いや考えを表現し、ねばり強く取り組む児童を育てる。

○協力し、思いやりのある子〔豊かな心の育成〕

他者の気持ちを考えた思いやりの行動ができる児童を育てる。

○体をきたえ、ねばり強い子〔健康な体と心の育成〕

自らすすんで心身をきたえ、健康の保持増進に努める児童を育てる。

■学運協運営目標

○学校と地域、保護者が学校や地域の課題を共有する。

○共通の目標をもち、三者が一体となって地域の子どもたちを育ていく。

○子どもの豊かな育ちを確保することで、信頼される学校づくりに貢献する。

○教育活動を支援する大人の成長を高め、「地域づくり=子どもたちへの多様な面からの支援」ができるよう担い手を育てる。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

放課後算数教室や授業支援活動など、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



七輪体験・昔遊び体験～地域のプロから日本文化の良さを学ぶ～

本校では、「放課後算数教室(わくわく算数、にこにこ算数)」 「漢字検定」 「総合的な学習の学習支援」 「そだての会」 など、地域やボランティアとの協働を通して子どもたちの育成環境の充実を図っています。

3年生の総合的な学習では、地域のシルバー人材を講師に招いて「七輪体験」と「昔遊び体験」を実施しました。子どもたちが昔の暮らしについて楽しみながら学ぶ機会となりました。また、子どもたちと地域をつなぐ機会としても有益な活動となりました。



学校が華やかに♪

「そだての会」では、学校の花壇の整備を中心に活動しています。季節に合わせた花々で、学校を明るくしてくれています。



学びの土台づくりに

「漢字検定」は、小学生だけでなく、中・高生や大人まで、およそ100名が受検しています。学力向上の一助となるよう取組を続けます。

横山第一小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標・育てたい子ども像)

八王子市立横山第一小学校は、豊かな自然と温かな地域を十分に生かしつつ、公教育の目的である基礎学力の定着・向上と人間形成をバランスよく育成するため、個に応じたきめ細かな教育活動を展開し、保護者・地域の信託に応える学校づくりを進める。

「生涯にわたってよりよく生きる力」の基礎をはぐくむ学校

希望をもって、自ら伸び、育つ子を目指す

◎考える子(知) ◎助け合う子(徳) ◎元気な子(体)

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

教育活動の進め方について学校運営協議会での情報共有と協議を行い、助言と承認を得ながら方向性を決定していく。学校運営協議会企画事業予算を活用した、地域人材を活用した講演会や出前授業等により教員の指導力と児童の資質能力向上をめざす。

○教育活動に係る支援

学校運営協議会と地域人材との連携・協力を図りながら、「漢字検定」「ヤゴ救出大作戦」「地域防災訓練」「どんど焼き」などの行事や放課後子ども教室での活動の充実を図る。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した学習支援や放課後子ども教室など、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制づくりを進めています。

放課後補習教室や漢字検定、ヤゴ救出大作戦など様々な活動を通して、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



地域の町会・自治会長や防災担当者と防災会議を行っています。学校を避難所とした地域防災訓練を12月に実施しました。



ヤゴを見つけよう!! ヤゴ救出大作戦

学校運営協議会や地域人材・PTA・ボランティアの協力を得ながら、毎年5月にヤゴ救出大作戦を行っています。普段できない体験を提供することで学びが深まるだけでなく、地域の方とふれ合う機会となっています。



漢字満点を目指して!

漢字検定を2月に実施しました。子どもたちの漢字学習への動機づけや習得への意欲につながっています。

横山第二小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

人権尊重の精神を基調とし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。

【目指す児童像】

- よく考える子(知)
- ◎思いやりのある子(徳)
- 体をきたえる子(体)

■学運協運営目標

- 学校・家庭・地域社会が連携した地域運営学校づくりの推進
- 学校運営協議会の活動を広く周知することを通じた保護者や地域住民等への学校運営に必要な支援の協力促進
- 教育課程編成に向けた学校評価を受けての改善策検討
- 地域運営学校の良さを生かした教育活動の推進
- 地域教材・人的資源とのつながりを強化する教育活動支援
- 効果的な教育活動推進のための学校配分予算執行計画等の検討



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、横山中学校グループ三校において、9年間で育てたい児童・生徒像を共有し、共通目標を実現するための取組を推進しています。
また、学校運営協議会を要とした地域との連携、学校教育の充実を図るための開かれた学校づくりも推進しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



地域の支え～花と緑と笑顔の学校～

学校運営協議会の企画事業として苗の購入や手入れを行い「花と緑と笑顔の学校」づくりを支えています。学校裏手にある南浅川沿いの花壇は様々な教科の学習に活用されています。

また、ゲストティーチャーとして、得意分野を生かした授業を実施する、校外学習の見守りの協力をする、児童の登下校を見守るなど、地域の様々な方が学校を支えています。

このような取組により、子どもたちに「いつも地域に見守られている安心感」が育ち、地域に愛着をもち誇りに思う気持ちが育まれています。



学校運営協議会委員が、年度初めの保護者会の際、1年生の居場所を提供しました。玩具等の準備もあり、保護者も安心して預けられます。



PTAが担っていたピーポくんの家事業でしたが、PTA廃止に伴い、学運協委員を中心に安全・安心な地域作りを引き継いでくれました。

散田小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○思いやりのある子 ○学びあう子 ○たくましい子

【目指す学校像】

子どもたちにとって「学ぶ喜び」や「居場所」があり、「小さな希望」をつなげ、「可能性」を広げる学校を目指す。そのために「心を育てる」「言葉をつむぐ」「体をつくる」活動を充実させていく。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

配慮を要する子どもや家庭に組織的に対応する学校づくりの推進
・子どもと大人の信頼づくり 顔の見える安全・安心チーム

○教育活動に係る協議

子どもたちの主体性を発揮させられる授業改善及び地域と共同した「学びを伝承する活動」の充実
・「学ぶ喜び」をめざす 学校支援ボランティアチーム
・地域と学校を結ぶ 学校行事チーム



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域の芸能、盲学校との交流等、各学年において地域と協働した教育活動が大変に充実しています。学運協主体の活動の他、校内研究やPTA行事なども学運協委員や学校コーディネーターが参画し、互いに連携して学校支援の活動を行っています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



手作りの「ホットルーム」の運営

令和7年度、東京都「家庭と学校の連携事業」の制度を活用して、別室指導スペース「ホットルーム」を開設しました。

様々な背景がある子どもたちが安心して過ごすことができるよう、スーパーバイザーからの助言を受けながら本校学運協委員を中心に地域の方4名に支援員として活動をしていただきました。

家庭と学校をつなぐ大切な場となっております。



道徳授業地区公開講座では、学運協が主体となって協議会を実施しました。「お互いを理解するとは？」をテーマに保護者の方や先生方とじっくりと懇談しました。



PTA主催 あそびのミニ学校

子どもたちが楽しみにしているイベントです。PTAの組織改編をきっかけに学校コーディネーターも参画し、地域の力を結集しました。



算数「たしざん」の授業

教育課題研究推進校(特別支援)としての公開授業に指導・助言者として参画しました。

長房小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

人間尊重の精神を培い、カリキュラム・マネジメントを通して地域・社会との連携及び協働による児童の資質・能力とともに、未知の状況にも対応できる実践力や生涯を通して学ぼうとする力を育てる。地域運営学校として学校に関わる全ての人がウェルビーイングを実感できるように、「言われてうれしい言葉を遣い、みんな仲良く助け合い、学ぶ喜びを体得し、地域と共に歩む学校」を踏まえて、社会の向上に貢献しようとする「心とからだの健やかな子」の育成をめざし、次のような児童像を定める。

◎よく考え、やりぬく子(知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等)

◎じょうぶで明るい子(健康と体力等への意識向上)

◎なかよく助け合う子(地域・社会との連携・協働を通した人間性)

■学運協運営目標

①○学校敷地内の畑「長房ファーム」の取組を充実させる。○「心の教育をめざす長房小」として、八王子市いのちの大切さを共に考える日及び道徳授業地区公開講座や障がい者理解教育の充実を図る。○長房中学校区の小中一貫教育の充実を図る。○地域行事や学校行事の充実を図る。

②○令和6年度からの八王子市長房地区地域づくり推進協議会の5年間のアクションプランに協力し、学校のキャリア教育推進を支援する。○放課後子ども教室「すまいる」を年間を通して実施できるように支援する。○夏休み算数教室を開催し補習を行ったり、授業支援を行ったりして基礎学力定着を支援する。○青少年対策長房地区委員会主体のもとで、三校(長房中・長房小・船田小)が各校教員の担当及び各PTAの代表による連携して行う三校交流会での児童参加と交流会運営を支援する。



--- 地域運営学校紹介 -----

平成23年度から地域運営学校としての歩みを続け、学校・地域・保護者の連携の要となってきた。放課後子ども教室や学校行事のみならず、独自の取組として地域の祭りに出店参加を続けてきた。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

【学校運営協議会での協議に関すること】

●学校敷地内の畑「長房ファーム」の取組を充実させる。●小中一貫教育の充実を図るとともに、各自治体が合同となる長房地区防災訓練の実施の在り方や計画について検討する。●「心の教育をめざす長房小」として、道徳授業地区公開講座の充実を図る。

【教育活動に係る支援】

●八王子市長房地区地域づくり推進協議会の5年間のアクションプランに協力する。●放課後子ども教室「すまいる」について、年間を通して実施できるように支援する。●夏休み算数教室を開催し補習を行い、既習内容の定着を支援する。●三校交流会を青少年対策長房地区委員会主体のもとで、三校(長房中・長房小・船田小)が、各校教員の担当及び各PTAの代表による連携を通して、児童参加と交流会運営を支援する。

【地域と連携した取組】

●学校コーディネーターを中心に地域ボランティアを募り、地域人材と児童との授業や長房ファームでの交流。花壇整備、昔遊び(生活科授業)、野菜づくり・校庭での焼き芋大会等。●地域行事である「いちょう祭り」への参加を「父母と先生の会」と連携して実施。●道徳授業地区公開講座で地域・学校・保護者が障害や共生社会への理解を深めるため講師を招聘し、命の大切さの全学年講話と6年児童の出前授業を実施。●小中一貫教育グループでの合同学校運営協議会を開催。●地域づくり推進会議についての情報を共有し、各行事や学校の取組(キャリア教育出前授業)の実施。●放課後子ども教室「すまいる」の会議に連携推進及び「夏休み算数教室」の実施。●三校交流会参加による教職員・保護者と青少年対策長房地区委員会との連携推進。



学校農園活動長房ファーム

学校敷地内の畑「長房ファーム」の取組を充実させるために、学校コーディネーターを中心に地域ボランティアを募り、地域人材と児童との授業や長房ファームでの交流を行いました。

ファームのサツマイモで焼き芋大会



収穫したサツマイモは給食での児童提供や焼き芋大会、6年生のキャリア教育の体験学習として地域の祭りでの出店・販売活動に活用しました。

船田小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○助け合える子

◎健康な子

○深く考えやり通す子

○進んで働く子

学校と地域・家庭が連携し、将来、地域社会の貢献できる資質・能力をもつ児童の育成を目指す。

ウェルビーイングの考えを基盤とし、船田小学校児童だけでなく地域・保護者・教員が学びたくなる学校・通わせたい学校・誇りに思う学校・勤めたい学校の実現を目指す。

■学運協運営目標

・地域住民や保護者に呼びかけ、協働・連携した取組を実践するとともに協議結果を情報提供していく。

・学力向上に向けた課題や児童の実態(家庭環境を含む)を学運協で共有し、課題解決に向けて協議する取組を実践する。

・学習支援ボランティアや環境整備ボランティア等の活動を充実させるための環境づくりを行い、学習活動の充実(授業中の子どもたちの支援)のために、地域人材を活用した学習支援ボランティアに取り組む。



--- 地域運営学校紹介 ---

学校運営協議会では、「学校を核として地域のよさや想いを伝える」ために協議を重ねている。地域と連携し、子どもたちや保護者への企画を立案した。地域人材の発掘に伴う学習支援の一環として、「星空を見る夕べ」を天文学に造詣の深い地域の方の協力で実施している。「かたくりを見る会」を「城山手親林の会」にご協力いただき、地域の自然の良さを実感できた。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



学校支援の力を活用



地域人材の活用として「落語体験」「座禅体験」を実施、地域や古来の文化について体験する機会を作っています。

地域の力を活用！様々な学校支援

年間を通して校内環境整備事業として花壇の植栽等園芸ボランティアが活動しました。創立50周年を記念した「50」の寄せ植えの維持を継続するとともに花いっぱい为学校づくりを目指しています。

展覧会カフェでは、展覧会場内に地域支援者によるカフェを設置し、児童が主体的に店員となって保護者にコーヒーなどのティーサービスを行いました。

また、夏季休業中に学校運営協議会主催の漢字検定を行っています。参加者は増加し、100人近い児童、保護者、地域の参加がありました。

地域・保護者にボランティアをお願いし、よりよい学校づくりを行っています。



愛情いっぱいのおむすび

おむすびボランティアとして、地域や保護者支援者が年6回朝の登校時刻に朝ご飯としておむすびを握ってくれます。児童はおむすびを食べ地域愛情を実感しています。

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○高める自己
確かな学力の定着

○かがやく笑顔
夢と希望をもつ
豊かな心の育成

○あふれる元気
健康と体力の増進

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校目標である、「高める自己」、「かがやく笑顔」、「あふれる元気」を学校・家庭・地域と連携・共同し、「和」を合言葉に実現をめざす。

○教育活動に係る支援

学校運営協議会を年11回開催し、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。



--- 地域運営学校紹介 ---

校訓「笑顔笑声」の思いを大切に、子どもを中心とした学校づくりを進めています。教職員・家庭・地域が連携し、温かい学びの場を形成するとともに、小中一貫校として9年間の切れ目のない教育を推進しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



卒業を前に大切なことを

卒業を前に大切なことを～命の授業・薬物乱用防止教室～

3月に命の授業としてバースコーディネーターの青木千景先生を招いて講演していただきました。どのようにして赤ちゃんは生まれてくるかを、妊娠の週数を追いながら説明してくださいました。写真や赤ちゃんの人形を使って児童・生徒にとっても大変わかりやすい講演でした。生命の誕生がいかに尊いものなのかを学ぶことで、子どもたちが自分自身を大切にする心について深く考えました。

3月に薬物乱用防止教室として八王子ダルクから代表理事の加藤隆先生を招いて講演を行いました。加藤先生自身の体験談をもとに薬物使用に至ったきっかけや、いかにして生活してきたかなどのお話がありました。家族や友人の支えがとても大事であることも講演から学ぶことができました。全体を通して、本校の児童・生徒にも深く印象にのこる講演であり、薬物使用の危険性や人生に及ぼす影響などとても心に深く残る内容でした。

ほっとスペース ラルゴ



安心して生活できる

「ほっとスペース ラルゴ」は、学校生活や教室での学習・集団活動に不安や難しさを感じている子どもが安心して過ごせる居場所となっています。

きれいに咲きますように



地域の方々や保護者からも「いつもお花がきれいです。」「季節ごとに違う花を見るのを楽しみにしています。」「というお話をいただいています。

山田小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○進んで学び合う子ども

学ぶことの楽しさや喜びを知り、主体的に学ぶ子どもを育てる。

○思いやりのある子ども

自分も仲間も大切にできる子どもを育てる。

○たくましく生きる子ども

心身ともに健康で、自分自身の言動を自己決定できる子どもを育てる。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

教育目標を達成できるような学校づくりをめざす。

○教育活動に係る支援

地域と連携したどんど焼きを開催する。

創立50周年記念事業(記念式典、記念集会、記念音楽鑑賞会等)への支援をする。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、ボランティア活動がさかんで、多くの保護者がボランティアに登録して、登下校の見守り、読み聞かせ、環境整備を行っています。また、地域と連携しながら学習活動を行っています。令和7年度に創立50周年を迎えました。今後も地域とともに歩み続けていきます。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



50周年おめでとう！

児童、保護者、地域で山田小学校の50周年をお祝いしました。50年の歴史を振り返り、よき伝統を引き継いでより良い学校にしていこうという思いを高めました。

無病息災、家内安全を願って～どんど焼き～

日本の伝統文化行事を体験させたいと、毎年どんど焼きを実施しています。令和7年度は、コロナ禍以降久しぶりに大がかりなどんど焼きを実施し、児童・保護者・地域から約300名の参加がありました。お正月飾りやしめ縄、書初めなどを焚き上げましたが、「毎年、どんど焼きを楽しみにしています。伝統文化行事を体験させてくれてありがたい。」という声が保護者や地域から聞かれています。体育館では遊びコーナーを設置し、けん玉や風船運びなどを、小さい子どもから大人までみんなで和気藹々と楽しむことができました。



綺麗に咲いてね

花の美しさを見たり感じたりできるよう花壇整備に取り組んでいます。フラワーロードでは、四季折々の花を楽しむことができます。50周年記念花壇も作りました。

梶田小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

- よく考える子【知】
自らすすんで考え、集団から学び、自分の考えをもてる子
- ◎ いつも元気な子【体】
心身を鍛え、前向きに、はつらつと行動できる子
- こころ豊かな子【徳】
自他を大切に、集団の中で関わりがもてる子

■学運協運営目標

- 学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- 年間行動目標を「学力向上」とし、学校運営協議会として協議を行う。

■学運協運営目標に対する取組

- 地域運営学校に関する様々な情報の周知により、保護者や地域の目(意識)が学校に向き、学校の教育活動への興味・関心が高まるとともに、学習ボランティアなどの人材発掘を図ることができる。
- 開かれた学校づくりを推進することで、教職員の意識改革が図れ、授業改善とともに地域と学校の協働体制の強化につながる。
- 組織の業務を明確にすることで、担当が見通しをもって活動を進めていくことができる。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、地域と連携した学習支援や防災教育や体験活動が充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもたちを育てる体制が整っています。

漢字能力検定や星空を見る夕べの行事活動など、学運協や地域ボランティアの皆さんの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----



漢字能力検定は、平成26年度から学校主体で実施していましたが、令和元年度より学運協が主体となって実施しています。



学運協がコーディネートし学校・地域共同防災訓練を開催し6年生も参画しました。町会、消防署、消防団の皆様と活動できました。

星や月がみれるといいな!! 星空を見る夕べ

令和6年度から開催した「星空を見る夕べ」。校庭に天体望遠鏡を用意して、星空観望です。月のクレーターまでくっきり見ることができると、「わあー!!すごい!!」との歓声が聞こえてきました。

令和7年度の夏の開催では、校庭の星空観望だけでなく、学童ホールでの読み聞かせや、体育館での国立音楽大学の生徒による生演奏での音楽鑑賞会などもありました。素敵なひと時を過ごすことができ、参加者の皆さんはとても満足していました。

緑が丘小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○つよく(めあてをもち、粘り強い子を育てる)

○かしこく(よく考えて行動する子を育てる)

◎あたたかく(認め合い、助け合う子を育てる) ←令和7年度
重点目標

■学運協運営目標

学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

年間行動目標を「学校支援活動の推進」とし、学校の応援団として保護者や地域住民が協力して「地域で育ち、地域に生きる子の育成」に向け学校運営協議会として協議を行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる学校を目指しています。

放課後子ども教室、サタデースクールや通学時の見守り活動など、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



高尾警察の交通安全指導



真剣に、熱く、楽しく議論！協議会の開催

緑が丘小学校学校運営協議会では、毎月メンバーが集まり、学校が抱えるさまざまな課題や、子どもたちにとってより良い教育環境を実現するための取組について、熱意を持って活発に意見交換を行っています。

また、地域ボランティアの皆様と協力し、登下校時の見守り活動の充実にも力を入れており、その一環として高尾警察署にご協力をお願いし、児童の交通安全意識向上を目的とした交通安全指導も実施していただきました。

街をきれいに！地域清掃



梶田中学区の地域清掃に参加しました！

漢字検定の実施



年2回、漢字検定を実施しています。

元八王子小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

- ◎よく考え、自ら学ぶ子
【思考力・判断力・表現力が豊かな子】…(令和7年度重点目標)
- 思いやりがあり、力を合わせる子
【豊かな感性と協調性をもった子】
- 体を鍛え、ねばり強くやりとげる子
【心身ともに健全でたくましく、自己実現をめざす子】

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議
保護者・地域協働の学力・生活指導への取組について協議する。
- 教育活動に係る支援
日々の授業・研究協議会への参加を通し、元八王子小学校の指導方針や指導法について多様な視点から意見を集約し、授業改善に活かす。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、地域と連携し、子どもたちが安全に生活し、安心して学びを深めるためにできる支援体制を整備しています。
丸付けボランティアや読書活動の推進、また手作り教室など、地域や保護者の方との関わりの中で、子どもたちは健やかに成長しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



いつも優しく教えてくれる！スマイルボランティアを活用した学校支援活動

平成30年度から、学校支援の人材を地域から広く募集し、授業や朝学習、清掃活動等、普段の学校生活で子どもたちを支援しています。

○丸付けボランティア

ベーシックドリルや補充プリントの丸付け支援を実施しています。

○図書ボランティア

朝の読み聞かせや図書室整備を日常的に行っています。児童の読書環境を整えることで、本に興味をもち、読書が身近になる子が増えました。PTCAとも連携して取り組んでいます。



わたしにもできた！

放課後に地域指導者によるものづくり体験を通して、地域の高齢者と児童、保護者のふれあいの場を作っています。



きれいなお花がいっぱい！

「愛～でる元八ガーデン」の整備を実施しました。元八王子地区青少対とも連携し、児童が主体的に関わることができるようにしています。

元八王子東小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

○明るく 元気な子

基本的な生活習慣の定着と自他の健康に留意し安全な生活を送るための活動の充実を図る。

○よく考え 進んで学ぶ子

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、学びに向かう力、人間性等を涵養し、協働を促す教育の充実を図る。

◎力を合わせて やりぬく子

道徳教育を推進し、自己肯定感、成就感、お互いに協力し合う態度等を育てる。

■学運協運営目標

○将来、地域を背負っていける子どもたちを育てていくことを目的に、地域と連携した学力向上、自己肯定感の醸成、自他愛に満ちた子どもの育成について協議を重ねる。

○教育活動に係る支援

学校運営協議会の授業参観、学校行事への参加、広報活動を通して、学校・家庭・地域の連携を図り、児童の健全育成を行う。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、地域と連携した学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っている。
放課後補習教室や茶道教室など、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししている。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



中学生とも交流しながら勉強～東小スタディ

週に1日放課後に、放課後補習教室「東小スタディ」を実施しました。地域の方に学習ボランティアとして御協力いただき、それぞれの子どもの習熟に応じて基礎学力の定着を進める取組を行いました。一人ひとり個別のファイルを作成し、自身で取り組んだ足跡が振り返られるようにして、努力を続ける大切さを感じるとともに学力の定着につながりました。なお、令和6年度からは、夏季休業中の補習に本校卒業生の中学生も参加し、学習だけではなく、人とのつながりを深める機会となっています。



きれいに咲きますように

学校環境の充実のため、園芸ボランティアの方が地域ボランティアの方と共に花壇整備や花植え活動を行いました。



今日も元気に！

毎朝子ども一人ひとりに声をかけ、登下校時の見守りや通学路の見守りを行いました。安心して学校生活を送ることにつながっています。

上壱分方小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- よくかんがえてやりぬく子(知)
- ◎思いやりのある子(徳)
- じょうぶで明るい子(体)

■学校経営理念

よいところ いっぱい かみいち小 よいところ のばそう かみいち小～人とのかわりを通して、子どもたち一人ひとりのよさや可能性を発揮し、子どもたちが自ら楽しく豊かな生活を築いていける学校
「あいさつ」「おもいやり」「しなやかさ」～

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議

学校の教育活動が有意義なものとなり、生き生きとした子どもたちを育てるために、学校・保護者・地域の連携を図る。

- 教育活動に係る支援

児童の自尊感情を育むために、教育活動全般を支援する。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、学校の教育活動が学校運営協議会との合議のもとで進められています。

教育活動に保護者や地域人材が参画し、肯定的な声掛けが行われるようにしています。児童の自己肯定感や自尊感情が高まるように支援しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



もっと上手になりたい！外部講師授業

本校では、子どもたちが本物に触れる機会を増やそうと外部講師による授業を多く取り入れています。そのため、学校運営協議会と連携して活動を行っています。地域の人材も活用し、教育活動の充実を図っています。

令和7年度では、なわとび小助や立川アスレ(サッカー)といった体育に関係する授業やかわせみの会によるバードウォッチングなど、子どもたちの経験を増やし、「やりたい」「頑張りたい」意欲を高めました。



いいお話だな
図書ボランティアの募集を行い、朝の時間、読み聞かせを行っています。子どもたちの本を好きという気持ちを育てています。



漢字検定を行い、その中で頑張った児童に表彰も行っています。子どもたちの基礎学力の定着と自分から学ぶ意欲の向上を図ることができました。

城山小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○教育目標の「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」《みんなでのびる城山の子》を学校・家庭・地域の三者協働により具現化していく。

■学運協運営目標

○城山中学校とつながり、小中合同の運営協議会を各学期1回開催し、9年間で地域が見ていく形で家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

○年間行動目標を「児童・教職員支援」とし、学校運営協議会として実施方法を熟議し、遂行する。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

漢字検定や交流活動など、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



かけっこ教室～教育活動に係わる支援及び地域と連携した取組～

① 課題を改善するため、本校では、習熟度別の算数少人数指導を行い、学力向上を図りました。また学校サポーターが支援に入り、日々子ども達と先生の補助を行いました。低学年遠足に付き添い、子ども達の見守りも行いました。

② サタデースクールは5月かけっこ教室、6月ホタル鑑賞会、11月防災訓練、3回実施することができました。かけっこ教室では中学校校長が教えに来てくれて、小中学校の連携もはかれました。また、サタデースクールとは別に構内にある水田を活用して5年生にお田植えと稲刈り体験やハンドボール体験会を実施しました。これらの活動の際には地域の経験者に指導してもらいました。



ホタル観賞会

小学校の下を流れる小川でホタルを鑑賞しました♪見に行く前にみんなでホタルの生態を学びました!!



5年生田植え

学運協が毎年サポートして授業の一環で田植えをしました。収穫したお米もみんなで食べました♪

式分方小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

現代の不確実な時代の中で生きていく人類にとって、直面する課題からより良い生き方に向かって 変化を起こすために、自分で目標を設定し、振り返り、責任をもって行動する能力が必要であると考え。学校は、児童、教師、保護者、地域コミュニティが互いに手を取り合って学びを構築していく中で、その能力を身に付ける場である。互いに共有された目標に向かい、児童が自分の「みち」を 歩んでいけるよう、次の児童像を掲げてその育成を図る。

【めざす児童像】役に立つ喜びを知る子
○かしこい子 ◎やさしい子 ○げんきな子

■学運協運営目標

【学校運営に係る協議】

各講座の講師やボランティアを地域人材から募り、子どもたちと地域住民の関係性の強化につなげていく。

【教育活動に係る支援】

キャリア教育、道徳授業地区公開講座のゲストティーチャーの人材紹介、報償費支援や青少年対策元八王子地区の緑化活動部へ協力を依頼し、校門周辺や校舎前の花壇整備を行う。行事に向けた「花いっぱい運動」により、児童の学びを支える。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、学校と保護者・地域が手をつなぎ合い、心豊かで、地域を愛し、地域に生きる子どもの育成を活動目標としています。

【キャッチコピー】

『地域の風が行き交う学校 コミュニティ・スクール 式分方小学校』

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



美しい花々が咲き誇る花壇

学校正門周辺や校舎周りの花壇の整備を青少年対策元八王子地区緑化活動部と連携して取り組んでいます。

夏休みの学校楽しいよ！夏休み体験講座『わくわくサマースクール』

学校運営協議会主催で夏休みの終わりが近づいたお盆明けの8日間に、「わくわくサマースクール」を開催しています。子どもたちが2学期のスタートをスムーズに切ることができるよう、また、学校が居場所となり、夏休み中も子どもたちが安全に過ごせるようにという思いからの開催です。地域人材を活用し、工作・手芸・理科実験・地域探索・各種球技・音楽教室など、30講座を開催し、延べ600名の子どもたちが参加し、本校出身の高校生・中学生もボランティアとして参加。子どもたちと地域をつなぐ活動として、児童・保護者にも喜ばれています。

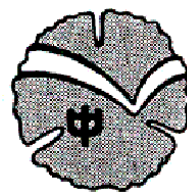
にぶっこみゆこみゆ



広報誌「にぶっこみゆこみゆ」

広報誌「にぶっこみゆこみゆ」を年2回発行し、地域学区内各町会等に配布。学運協の活動報告、ボランティア募集を行っています。

横川小・中学校



--- 地域運営学校紹介 ---

横川小・中学校は、他校からの進級児童もいるが、ほぼ横川小学校の児童が横川中学校へ進学している。地域と連携した学習支援を行い、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制づくりをしています。地域ボランティアの支援を活用して、学習意欲につなげています。

■学校目標(教育目標)

横川中学校

「自主・自立」(「自主的に考え行動し、人として自立する」ために、どうするのか)

「協働・共生」(「他者を尊重しながら、他者と協働し、他者と共生する」ために、どうするのか)

「創造・挑戦」(「自ら新たなものを創造し、前向きに挑戦し続ける」ために、どうするのか)

横川小学校

自分からすすんで学ぶ子供

(自ら課題を見付け、主体的に解決していく児童「課題解決力」)

思いやりのある子供

(多様な考えを理解し、協力・協働して社会に参画する児童「社会形成能力」)

からだをきたえる子供(自分で自分を指導していく児童「自己指導能力」)

■学運協運営目標

横川小学校・中学校合同学校運営協議会が中心となって、小中の教職員・保護者、青少年対策横川地区委員会等の地域諸団体と連携を図る。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



小学校七輪体験～学習支援に地域のボランティアを活用～

小学校では3年生が「昔の道具」の学習の中で、実際に体験学習を伴う学びの中で、七輪体験を行いました。8グループに分かれて七輪でお餅を焼きました。

子どもたちだけでは、火をおこしたり、安全面についてどうしても人が足りない中、学校コーディネーターと連携をして、地域のボランティアに活動の支援をお願いしました。地域のボランティアの方とも親交を深めながら、体験学習を行うことができました。

地域クリーン活動の参加



地域青少対主催のクリーン活動に参加、地域清掃を行いました。小学生と中学生の交流の機会となり、地域の大人と顔なじみになる機会になりました。

漢字検定・英語検定の実施



小学生、中学生に募集を行い、漢字検定・英語検定を年間3回ずつ実施しています。

恩方第一小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○よく考える子(知)

確かな学力を身に付け、深く考えて行動する子

◎思いやりのある子(徳)

豊かな心をもち、互いに認め合い、助け合う子(重点)

○じょうぶな子(体)

何事にもくじけない気力と体力を身に付けた心身ともに健やかな子

○よく励む子

自分を伸ばすための努力を惜しまず、ねばり強く取り組める子

■学運協運営目標

「目標①」学校運営に係る協議

学校運営協議会を年間11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを実現する。

「目標②」教育活動に係る支援

・学校と協働して、児童の学力向上の取組を推進する。

・学校と協働して、家庭・地域社会が連携した学校づくりを実現する。



--- 地域運営学校紹介 ---

恩方の自然と地域コミュニティに包まれた恩方第一小学校は、地域とともに子どもを育てる学校です。

自然体験や地域交流を通して、子どもたちが自ら学び、成長する力を育んでいます。

校歌の歌詞が、童謡「夕焼け小焼け」で知られる中村雨紅によるものであることも有名です。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



作業の後のジュースも楽しみ！地域清掃活動

青少年対恩方地区委員等と連携して年3回の地域活動を実施しています。児童・保護者・教職員・学校運営協議会委員が協働して行う清掃活動を通して、相互の交流を図るとともに、地域を愛する心を養うこともこの活動のねらいの一つです。

環境整備(左下写真)

正門周りの花壇に芝桜を植え、管理しています。



模擬試験の成果を発揮！

恩方中学校とも連携して各校での実施の通知を行い、恩方地区で年間5回の漢字検定受験の機会を設定しています。



今日も宿題頑張るぞ！

夏季休業中にはサマースクールの運営の支援をしています。

恩方第二小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

○教育目標の「かんがえる子」「なかよくする子」「じょうぶな子」を学校、保護者、地域の協働により達成していく。

○他校学校運営協議会と連携し、必要な情報交換・情報取得に努め、教育内容の充実に助力する。

■学運協運営目標

○教育目標の「かんがえる子」「なかよくする子」「じょうぶな子」を学校、保護者、地域の協働により達成していく。

○他校の学校運営協議会と連携し、必要な情報交換・情報取得に努め、教育内容の充実に助力する。



--- 地域運営学校紹介 -----

当協議会の会議をできる限り月1回行い、学校行事等にも積極的に参加し、学校、保護者、地域が一体になった学校作りを推進する。

地域の特性を生かした学校運営に当協議会としても積極的に関わり必要な支援を提供する。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



ジャズ演奏で全員合唱！音楽会鑑賞会の実施

恩方地域にお住いの音楽家阿部大輔さんと津川久里子さんによるジャズの演奏会を企画し実施しました。お二人は、子どもたちになじみの曲を演奏したり歌ったりしてくださいました。また、トークもおもしろく、盛会となりました。生の音と声のもつ魅力に子どもたちも引き付けられていました。

奥多摩さかな養殖センターと恩方漁業協同組合の協力のもと、自然豊かな地域を活かしたヤマメ里親体験を全児童で行いました。ヤマメの育て方を知り、ヤマメを卵から育て稚魚を放流することで命の大切さを学びました。また、地域の環境について考え、環境保全に努めようとする態度も育てています。

学校の教育環境整備として校庭の雑草を取り除いたり、裏山やビオトープに生い茂っていた木々を剪定したりして、子どもたちが安心して活動できる環境を整えました。環境整備によって、毎年裏山の竹林でタケノコ掘りをしたり、探検をしたりして、自然環境を活かした活動に取り組みました。



夏休みの間に雑草だらけに



土を掘って、掘って、収穫だ！



大きくなって戻ってきてね！

元木小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

学校・保護者・地域の方々の連携による「チーム元木」で
笑顔があふれる元木小に！ ～共育・協育・今日行く～

◎ 考える子 ○ 思いやりのある子

○ やり抜く子 ○ 元気な子



■学運協運営目標

- ・学校運営協議会を年に10回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。必要に応じて、部会的なものを行い、提案・議事の進行および活動の迅速化を図る。
- ・学校運営協議会の会報誌、「がくうきょう」を各学期に発刊する。
- ・教育目標の、「考える子・思いやりのある子・やり抜く子・元気な子」を学校、家庭、地域が強く連携して達成していく。
- ・個別最適な学びと協働的な学びの視点を取り入れた授業参観、いじめの未然防止・早期発見を視野に入れた協議を行う。そしてその結果を、必要に応じて地域住民や保護者に対し、情報提供していく。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、自然豊かな恩方地区にあり、四季折々の景色が目や心を楽しませてくれています。
学校と地域との結び付きが強く、登校時の安全を見守る交通安全ボランティアや、放課後子ども教室をはじめ、様々な行事などで学校と地域が連携して、教育活動を進めています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



小津倶楽部のご協力



放課後算数教室・放課後書道教室・放課後生け花教室

放課後子ども教室では、校庭での遊びに加えて、書道教室や生け花教室も開催して、放課後の時間が充実したものになっています。

平成29年度から学校運営協議会が実施主体となり、年に約24回、水曜日に3年生から6年生の希望者を対象に実施している放課後補習教室。令和6年度からは3・4年生を対象を絞って活動を展開しています。地域の方や高校生に学習アドバイザーとして協力していただき、基礎学力の定着に向けて、学習のつまずきをなくす取組を行いました。児童は意欲的に参加し、「できる・分かる喜び」を味わっています。

平成29年度から、NPO法人の小津倶楽部と連携した農業・林業体験活動を実施しています。令和7年度は、3年生が巣箱作りを体験させていただきました。



田植え体験

元木小の周辺は、自然がいっぱい！農家の方にご協力いただき、5年生が田植え体験をさせていただきました。貴重な経験です。

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

「よく考える子」「思いやりのある子」「健康な子」を重点目標に挙げています。

道徳教育を「動徳」と捉え、学んだことを行動へ移す力を養います。具体的には、人権教育や「障がい者理解教育」を通じ、相手を尊重する感性を磨くとともに、優しい言葉が飛び交う環境で「いじめない力」を育成します。

また、特別活動や委員会、縦割り班活動を重視し、高学年の自主性や「自己有用感」を醸成。キャリア教育等で多様な大人と関わり、夢に向かって挑戦する心情を育みます。家庭・地域とも連携し、自分も他者も大切にしながら、失敗を恐れず粘り強く取り組む児童の育成を目指します。

■学運協運営目標

○地域に根ざした学校運営を進めるため、青少対、各町会地域組織と連携した学校運営協議会を運営し、学校の応援団として教育活動を支えていく。

○家庭・地域が連携した学校づくりを推進する。

○地域の人材を活用し、教育活動の充実をめざす。



--- 地域運営学校紹介 ---

先生方の様子や困りごとを把握し、学校運営協議会としてできることを熟議している。

それを踏まえ、家庭への文書による呼びかけに加え、町会やPTAに所属するメンバーを通じた対応も行っている。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



夢に向かって100%勇気！



音楽で歌い踊り、楽しみながら夢について考える「ファンラーニングプログラム」。多くの笑顔と「楽しかった」が溢れました。



夢や目標の実現に向けて

「共助」の心を大切に～三町会合同避難所訓練～

川口町の西部、中部、東部町会は合同で避難所訓練を行いました。訓練には市役所や消防署、川口中学校の協力を得て約100名が参加し、避難所開設手順や煙体験、初期消火、給水栓の確認などを実施しました。また、ハザードマップを用いた説明では過去の氾濫や台風時の経験も共有されました。

この訓練を通じて、町の枠を超えた「共助」の重要性が再確認され、地域連携を深める良い機会となりました。

看護師やJAXA元職員など6名のゲストティーチャーを招いた「プロから学ぶ」。仕事の話を通して職業観を深めました。

陶鎔小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

人権尊重の精神に基づき、人間性豊かで、主体性に富み、たくましく未来を拓く児童を育成する。そこで、以下の3点をめざす児童像にかかげる。

・よく考える子 ・思いやりのある子(重点目標) ・たくましい子

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校の実態を正確に把握するために、学校運営委員による定期的な授業参観等への参加を促す。

また、実際に学校運営協議会委員と教職員が直接会って懇談する機会を年に2回は設け、互いに気付いたことや課題について共有する。

○教育活動に係る支援

学校の児童の実態に即した、特色ある教育活動を学運協の委員と学校とが協働して取り組む。学校だけでなく、保護者や地域が一つになって児童の笑顔につながる活動を企画・運営していく。



--- 地域運営学校紹介 ---

学校運営協議会として「子どもの居場所づくり」「地域、伝統を学べる学校」「学校の環境整備」といった3つの分野で、地域と連携してPTAやおやじの会、学校コーディネーターを中心とした活動が充実し、保護者・地域・学校が協働して楽しく子どもを育てる体制が整っています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP!



建設的で有意義な交流会



子どもも大人も生き生き～子どもの居場所づくり～

「PTAサタデーコミュニティ」に講師として共に参画し、「ソフトボール」「和太鼓」「合唱」「英会話」「ダンス」等の体験活動を毎月1回展開し、100名以上の児童が参加しました。

「陶鎔小学校おやじの会」との共催で、「ウォータースプラッシュ(水鉄砲大会)」「ナイトツアー(学校お化け屋敷)」「逃走中」「餅つき大会」等を行い、卒業生等も含め300人以上が参加する地域行事となっています。

学校運営協議会委員が主催の「みんなでマルシェ八王子」も開催し、子どもたちの居場所とともに、多様な発見や学びができる場となりました。



持続可能な環境づくり

おやじの会との連携により、「どんぐり山」「心の池」のメンテナンスは随時、清掃は3月に行い、よりよい環境維持が継続できています。

上川口小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- 考える子・・・ねばり強く、多様な見方や考え方で学ぶ子
- みんなで進む子・・・自分も友達も大切にし、心を通わせて
想いやる子
- 体も心も元気な子・・・体を動かして遊び、何事にも生き生きと
取り組む子
- わくわくドキドキする子・・・自然を大事にし、好奇心・探求心を
大切にする子

■学運協運営目標

- ①学校運営に係る協議
 - 通学路の環境整備に向けた方策を考える。
 - 児童数の減少に伴う今後の学校の方向性・在り方について検討する。
- ②教育活動に係る支援
 - 地域の方と協働した活動や地域の自然を生かした活動を多く取り入れ、特色ある教育活動を展開していくことを支援する。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、令和7年に開校150周年を迎えた歴史ある学校です。安全ボランティア・図書ボランティア・青少対・上川子ども会・三葉会の皆さん方とそれを支える各町会の団結力をもとに子ども達を様々な形で応援しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



おいしいお米が実りますように～上川の里稲作活動～

本校では上川の里での全校稲作体験活動を行っています。児童だけでなく、保護者や地域ボランティア、近隣の中学生・高校生などに呼びかけて年間を通して、代掻き・田植え・草取り・稲刈り・脱穀などの体験活動を行っています。

12月には収穫したお米を釜で炊き、みんなで試食会も行っています。学校運営協議会の企画事業のメインとなる活動です。毎回、多くの方々の参加と協力のもと、汗水をともにして育てる喜び・収穫の喜びを分かち合っています。



新米試食会

稲作活動で収穫した新米を釜で炊いて食べました。これまで作業を共にしてきた皆さんと交流を深めるよい機会となっています。



親子デフサッカー体験

デフリンピック日本大会に合わせ、デフサッカー日本代表の方をお招きし、親子でデフサッカーについて体験しました。

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

- (1)考える子
主体的に意欲をもって学ぶ子
- (2)やさしい子
自他の尊厳を認め、他者と共により良く生きる子
- (3)元気な子
進んで体を鍛え心身ともに健康な子

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

教育目標「考える子」「やさしい子」「元気な子」を育てるために、学校と保護者・地域が連携して諸課題に取り組み、地域と共に発展する学校を目指す。

○教育活動に係る支援

学校運営協議会の中で、学校や地域の課題解決となる支援について検討したり、実施したりすることで、地域を愛し、地域の発展を願う児童の育成をめざす。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、保護者・地域・学校が協働して教育活動を進めています。放課後の居場所づくりや、生活科、総合的な学習の時間におけるゲストティーチャーとしての支援など、保護者・地域の皆様が子どもたちの学びと成長を支えています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



舞台にくぎ付け～演劇鑑賞教室～

本校では、地域で活動している「劇団風の子」を招き、演劇鑑賞教室を実施しました。児童は、目の前で展開される迫力ある演技や表現に引き込まれ、夢中になって舞台を見つめていました。

物語の世界に触れることで想像力や感性を育むとともに、表現の楽しさや伝える力の大切さを実感する貴重な機会となりました。

本活動は、子どもたちの心を豊かに育てる教育活動の一環として行っています。



消火訓練に挑戦

美山町会が消防署、消防団と連携して行った地域防災訓練では、多様な防災体験を通して、命を守るための知識と意識を高める機会となりました。



美山町フェスティバル

美山町会主催の健康フェスティバルに児童や教員が参加し、地域の方々との交流を深め、つながりを実感する機会となりました。

檜原小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

明るく健康な子 「七転び八起きの挑戦力」
よく考え進んで学ぶ子 「仲間とともに追求する力」
豊かな心と思いやりのある子 「自他を大切にする力」

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

授業や行事を参観し教職員と意見交換を行う
全教職員と学運協委員との熟議の日を設け交流する。
小中一貫連携校との合同学運協を開催する。

○教育活動に係る支援

檜原小の追求学習のための「体験活動」の充実
不登校生徒のための支援体制整備
漢検の実施運営
毎朝のならスポ「ならはらスポーツタイム」実施



--- 地域運営学校紹介 ---

地域と学校で子どもたちを育てるとい
う共通認識のもと取り組んでいる。
「本物」から学ぶことを意識して、各分
野の専門家をお呼びして、多様な学び
を保障している。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



多くの方が来てくださいました～50周年大同窓会～

地域の皆様の温かいお力添えのおかげで、令和7年度は開校50周年を迎えることができました。多くの方に来ていただき、大同窓会を開催できました。節目の50年を機に、今後も地域の方と学校とのつながりを大切にしていきます。

子どもたちの学びのために、漢字検定にも取り組んでいます。また、毎朝の「ならはらスポーツタイム」を実施し、体力の向上と気分よく一日のスタートが切れるように取り組んでいます。



きれいになるとうれしいです

ガーデニングの活動では、低学年が育てたパンジーを植え替えたり、地域の方が丁寧に活動してくださり、素敵な花壇となっています。

地域の方からも学んでいます



低学年では「昔遊び」をテーマに外部講師の方に来ていただきました。休み時間にも熱心に取り組む児童もたくさんいました。

松枝小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

人間性豊かな児童を育成するため、地域や児童の実態を踏まえ、保護者・地域、教師の願いを込め教育目標の達成に全力を尽くす。また、国際社会で活躍する人材を育成する。

- ・まなぶ子 (知) 自ら学び、夢にむかって未来を切り開く。
- ・つよい子 (体) 全力で取り組み、運動に親しむ。
- ・えがおの子 (徳) 互いを尊重し合う心情を育成する。

■学運協運営目標

○学校運営協議会のスローガン「皆で見守り、皆で育てる」の達成

○「すべての子どもたちに居場所があり、一人ひとりを大切にする」
「子どもたちの良さや可能性を伸ばす」「子ども・保護者・地域・教職員に愛される」学校に

上記2つの達成のために、「安全」「読書」「学び・遊び」「地域連携」の4つの柱を立て、自主的に創意工夫をして活動し、学校・地域・保護者が一体となって、子どもたちのために多様な活動を行う仕組みを構築。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域の力に支えられ、さまざまな教育活動を行っております。低学年では地域の特色を生かした自然観察、中学年では学校コーディネータと連携した福祉体験の実施、そして高学年では学校運営協議会からのプレゼントとして、SDGsの授業が行われています。ほかにも図書ボランティアの活動も活発に行われています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !

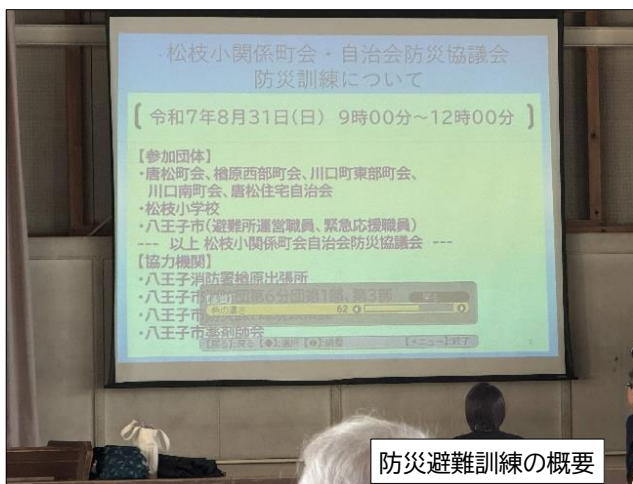


五町会を中心にした打合せ

学校運営協議会・地域・市役所・PTAが連携した地域防災訓練

松枝小学校では、学校運営協議会・町会・市役所・PTAが連携して、地域防災協議会を結成し、近隣五町会を中心とした防災訓練を、毎年行っています。学校がある時にはどうするか、学校の中でどこをどのように使うかなど確認するとともに、避難所設営から地域が中心になり行うことで、より自主的かつ有効的な防災訓練を行うことができます。

この地域防災訓練では、松枝小学校の教職員も連携し取り組むとともに、児童・保護者も自主的・主体的に参加しています。



防災避難訓練の概要



参加している保護者と児童

加住小中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき、平和で民主的な国家及び社会の形成者として、人権尊重の精神を基盤に、知・徳・体の調和のとれた児童・生徒の育成を育成する。小中一貫校の良さを生かし、生涯学び続ける姿勢や自らの人生を豊かなものとする資質を育み、「世界と未来に向かうたくましい力」を育成する。

- すすんで学び 向上できる人
- 心豊かに 共に生きる人
- 心身を鍛え いのちを大切にする人

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

・地域運営学校を基盤とした小中一貫校として教育を推進していく上での基本的な計画や方針を推進する。

○教育活動に係る支援

・学校・保護者・地域の連携を図る推進役及びまとめ役としての機能を充実させ、自然豊かな加住地域ならではの特色ある取組を検討する。
・児童生徒の生活・学習支援の人材を発掘し、学校運営協議会の活動の充実を図る。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は平成22年4月、八王子市の公立学校で二番目の小中一貫校として開校しました。地域運営型の学校として「地域に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校運営協議会が中心となり、学校・家庭・地域社会との連携を密にし、加住の地域に根ざした活動に取り組んでいます。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



農業体験を通じたキャリア教育

地域の方の協力のもと、総合的な学習の時間を活用し、スクールファーム(学校における農業体験)に取り組んでいます。



交流の輪が広がっています

郷土加住を愛する心の醸成～義務教育9年間を見通した教育活動のさらなる充実・推進～

本校の教育課程の実施に向けて、体育祭、学習発表会(音楽発表)、学習発表会(展示・総合発表)等に参加しました。

児童・生徒の学習の成果を確認し、教育活動のさらなる充実・推進に向けた協議を行いました。

学校コーディネーターが中心となり、地域の高齢者の方々と本校児童が「輪投げ」、「お琴体験」、「春の七草植え」、「コマ遊び」などを通して、交流を深めました。

由井第一小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○「あたたかく」(「認め合い助け合う児童」の育成)

豊かなかわりの中で、自分を大切に、互いの生き方を認め、ともに助け合う児童を育てる。

○「かしこく」(「よく考えて行動する児童」の育成)

地域と連携しながら、誰一人取り残さない個別最適な学びを実現する授業を展開し、意欲的に学び、よく考えて行動する児童を育てる。

○「たくましく」(「めあてをもち粘り強い児童」の育成)

規則正しい生活を送り、体力の向上を図るとともに、食育指導や保健指導、いのちの安全教育、健康教育を推進し、心身ともにたくましい児童の育成を図る。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校運営協議会や「由井第一小学校サポートチーム」において、様々な学校運営における情報共有と協議を行い、助言と承認を得ながら、地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

○教育活動に係る支援

学校運営協議会と校内の校務分掌とを連携させながら、「学力向上」「体力の向上」「豊かな心と体の育成」に関連した取組を行い、学校・家庭・地域が連携し合いながら、児童の健全育成を行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、保護者の皆様に始め地域の皆様が愛情をもって児童に接していただき、温かく見守ってくださっています。放課後補習や放課後学習教室(放課後フライト)での学習の定着に向けた取組や、漢検・英検の機会の拡大など、この地域の強みである豊かな地域資源や人材と連携した魅力ある授業を展開し、意欲的に学べる環境を整えながら、学習を進めています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



友達と一緒に楽しい！放課後学習教室(放課後フライト)

本校では、地域の方を学習支援の先生として、毎週火曜日から金曜日の放課後に、放課後学習教室「放課後フライト」を行っています。帰りの会が終わってから行く子もいれば、学童に荷物を置いてから行く子、外で遊んでから行く子など、参加の仕方もいろいろです。階段ですれ違うと、学習道具を抱えて「フライト行ってきまーす！」と笑顔で教えてくれる子もいます。友達同士で宿題を確認しながら自主的に学習を進めたり、学習支援の先生から勉強を教えてもらったりと、一人ひとりが自分のスタイルで放課後の学習に取り組んでいます。



おいしいお米になあれ！

地域の方にご指導いただき、種まきから苗を育てます。一苗一苗丁寧に植え、大切に育てて、米作りの大変さと収穫の喜びを学びます。



やった！遠くまで飛んだよ！

おやじの学校の皆さんの協力を得て「ペットボトルロケット」大会をしました。オリジナルのペットボトルロケットを作り、校庭で飛ばして楽しみました。

由井第二小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- くふうする子
- はげましあう子
- じょうぶになる子

■目指す学校像

- 「考え工夫する子」が育つ学校
- 「自分を大切にする子」が育つ学校
- 「人を大切にする子」が育つ学校
- 健康・安全にすごせる学校
- 地域とともにある学校
- 働きやすい学校

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議

学校運営協議会委員との会合と漢字検定作業部会・夏季補習活動日を合わせて年間8回程度行い、学校の「学力向上」を踏まえ、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを協議し、推進する。

- 教育活動に係る支援

「放課後子ども教室運営の定着」(安全な居場所づくり)をめざし、放課後子ども教室との連携を強化していく。



--- 地域運営学校紹介 ---

年度当初に学校経営計画について協議し、年度末には学校長より評価を説明し、次年度の計画に活かしています。また、子どもたちの地域での安全・安心について随時協議し、地元町会と連携して、登下校の交通安全等の取り組みについて情報交換したり検討したりしています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



地域の方が活躍しています！地域人材の活用

夏季休業日最初の2日間、各学年の補習に、地域のボランティアの方が参加し、児童の学習支援を行いました。また6月と12月に、保護者を含めた地域のボランティアの方が参加し、朝学習の時間を使って全学年の児童に対して本の読み聞かせを行いました。

さらに1月には、1年生の生活科の授業で、地域のボランティアの方を「昔遊びゲストティーチャー」として招待し、コマ回しや羽根つき、羽子板等の遊びを教えてくださいました。



年3回の漢字検定

地域の方に協力いただき運営を行っています。毎回多くの児童が受検しており、検定を通して、児童の基礎学力の向上につながっています。



放課後の居場所づくり

毎日児童の放課後の安全な居場所として機能しています。子どもたちは、宿題や外遊び、室内遊びを楽しんでいます。

由井第三小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- 児童や保護者が誇りに思える学校
生涯学習の基礎を培い、たくましく心豊かに生きる力を育む。
- 地域とともにある学校
将来地域や社会の担い手となる児童を教職員・保護者・地域が一丸となって育てる。
- 地域社会の信託に応える学校
教職員の自己啓発で互いに高め合うとともに、児童のために結束して公教育の使命を果たす。

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議
安全、安心部会として、校内施設・設備の安全点検、清掃、修繕を行う。
通学路等、校外環境の安全確保、児童を見守る体制を充実させる。
- 教育活動に係る支援
学習応援部として、地域の教育資源を活用しながら、本校の特色ある教育活動である夢大地の取り組み(自然観察・農業体験・伝統芸能習得活動等)、地域の調べ学習、昔遊び支援、海洋教育の支援を行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した学習支援を行い、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。教育活動に対する地域の方のご理解とご協力により、児童の学習を充実させることができます。家庭支援の取組にも力を入れて、由井第三小学校を支えています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



本物の化石だ！海洋教育授業

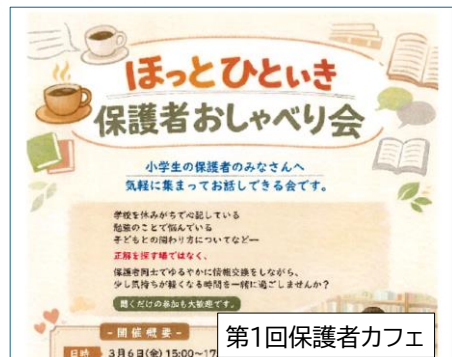
明星大学講師の和田薫先生をお招きして、4年生以上を対象にした海洋教育授業を実施しました。和田先生が中学校の元校長先生ということもあり、子どもたちは中学生になったような気持ちで、楽しく授業に参加していました。「来年もまた来てください！」という声が数多く聞かれました。

- 4年生:サメの歯化石 ●5年生:アンモナイト
- 6年生:ちりめんモンスター



野菜づくり体験

3年生の総合的な学習の時間で、地域の方の畑を使わせていただき野菜作り体験を行いました。



学校を休みがちなお子さんのことなど、保護者同士が気軽に話ができる場を作ることを目指しています。継続して取り組みます。

長沼小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

自他の命を大切にし、積極的に自分を高め、よりよい社会の実現に貢献する意欲と態度を養うために、学校運営協議会を軸とした「共育」を推進するとともに、確かな学力・豊かな人間性・健やかな心と体などの生きる力の育成をめざして、次の児童像を設定する。

- 元気で明るい子ども
- よく考え創造力のある子ども
- 思いやりのある子ども(本年度の重点)
- 責任を重んずる子ども

■学運協運営目標

- ①学校・保護者・地域が協働して、学校教育目標の実現を目指すとともに放課後の子どもの居場所づくり等共に子どもを育てる「共育」の取組を推進し地域や学校を愛する子どもを育成する。
- ②豊かな人間性の向上、学力向上、体力の向上と健康の保持増進、信頼される学校づくりの4つの学校経営課題の改善に向けて、親の子育て力の向上、地域防災という、具体策の評価・改善・拡大などを一層推進する。



--- 地域運営学校紹介 ---

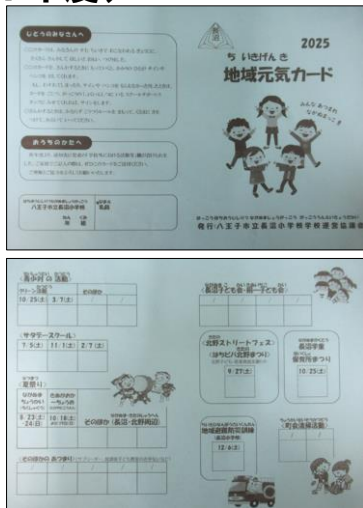
本校では「地域で育つ子ども」という視点で「地域元気カード」を作成し、地域行事等、学校外での児童の活動を応援するとともに地域と連携した活動を行っています。地域ボランティアによる放課後の学習支援や居場所づくり、読書活動の推進等、保護者・地域・学校が協働して児童の学びを後押し、成長を見守っています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



漢字検定合格を目指す！



バケツリレーで火を消せ！

地域の方々が運営する地域防災訓練に、児童・保護者が参加しました。起震車や放水など様々な体験も地域の方々と一緒に行い、防災への意識が高まりました。

【漢字検定】児童の学力向上をねらいとして、学校運営協議会主催の漢字検定を計画し、1月に実施しました。たくさんの児童が受検し、それぞれの級に挑戦しました。多くの合格者も出ています。

【おもだか教室】毎週木曜日に高学年児童を対象とした放課後補習教室「おもだか教室」も実施しました。児童が自主的に取り組めるような課題を準備し、学習用端末の活用等を検討するとともに、担任や算数少人数担当の先生方と連携して行うことができました。補習教室の定期的開催や漢字検定の実施により、参加する児童の基礎学力の定着が見られました。

【地域元気カード】児童の地域活動を応援するカードです。学校外の活動でがんばったことを地域の方が認めてハンコを押し、学校でも確認して評価します。地域と学校が連携して児童を見守っています。



絵本の世界に夢中です

地域ボランティアの方々が毎週、「おはなしレストラン」として児童に読み聞かせを行っています。音楽と読み聞かせのスペシャルな取組もあります。児童の読書への興味関心が向上しています。

片倉台小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

- 心も体も健康な子
- すすんで助け合う子
- ◎よく考えて実行する子

■学校運営協議会運営目標

- 学校運営に係る協議
地域に開かれた教育課程の編成。
- 教育活動に係る支援
地域人材の活用を図り、教育活動を充実させる。



--- 地域運営学校紹介 -----

片倉台小学校は平成28年度に地域運営学校に指定され、学校・家庭・地域が一体となった教育活動を推進しています。栽培活動や交流活動など、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



栽培活動～花いっぱい笑顔いっぱいの学校をめざした活動～

学校運営協議会の設置から、「花いっぱいの栽培活動」を地域の方々と連携して実施しています。月に1回程度、校内で行う縦割り班活動に地域の方が各班に加わっていただき、児童と地域の方が一緒になって花を植えたり花壇の整理をしたりしています。

地域の方のアドバイスを受け、PTAとも協力して計画的に苗を植えています。



学校・家庭・地域・行政が連携した
総合防災訓練

たてわり班に分かれ、地域や保護者の方と一緒に体験コーナーを回って体験訓練を行うことで、地域のつながりが深まり、お互いの顔を知ることができるように工夫しています。



地域の方との交流活動

地域の方に昔遊びを教えてもらう機会を令和7年度から設けました。

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- ・た たすけ合う 思いやりのある子
 - ・か 考えを深め 自分から学ぶ子
 - ・ね ねばり強く 最後までやりぬく子
- ～子どもファーストで判断し、教員一人一人が生き生きと楽しく教育活動を行うことにより、児童が安心して主体的に学ぶ学校～

■学運協運営目標

- 学校運営協議会を中心に教育活動へのボランティア派遣の体制をつくり上げる。
- 防災訓練を地域と同日・同場所で開催し、地域と学校の連帯感を高める。
- 家庭・地域との協働による開かれた学校づくり安全ボランティアとの交流や学校運営協議会を通じ、地域全体で児童を見守り、支える体制を強化する。
- 特色ある教育活動の推進と支援、読み聞かせや、くすの木教室(放課後等の学習支援)など、地域の多様な人材を活用した教育活動を支援する。



--- 地域運営学校紹介 ---

地域と連携した学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

地域の方々も児童を見守り、保護者同士がつながり合って、地域全体で子どもを育てる小学校になっています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



くすの木教室(放課後等の学習支援)

放課後に地域の方々の支援により、より学びを深めたい児童や、学びを定着させたい児童が、放課後に学ぶことができる教室を用意し、主体的な学びの継続に貢献しています。

特に、児童自身が学びたいと考えている学習内容や学び方を支援してもらい、子どもたちはできた喜びを実感しています。

地域の方々からの支援により、温かく教えてもらっていることから、励みとなり、自己肯定感や自尊感情を高め、今後の学習の意欲に結びついています。



「読み聞かせ」

朝の時間や図書の時間を活用して読み聞かせを展開しています。

本の魅力を感じ、想像を膨らませ、読書の良さを実感しています。



安全ボランティア交流

学校運営協議会のメンバーや安全ボランティアとの授業交流や給食交流を行い、地域とのつながりが深まっています。

みなみ野小中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

人権尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と生きる力を備え、自主性や創造性に富み、社会の共生意識と国際的な視野をもつ児童・生徒の育成を目標とする。さらに、目標達成のため、以下のように具体的な児童・生徒像を定め全教職員で共通理解の下、その達成をめざす。

【めざす児童・生徒像】

- 自ら学び、向上する人 【知】
- 思いやりがあり、優しい人 【徳】
- 心身を鍛え、健康な人 【体】

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校や地域での児童・生徒、教員、諸団体の実際の活動を踏まえ、率直に議論できるようにさまざまな工夫を行う。

○教育活動に係る支援

学校運営協議会の授業参観、学校行事(宿泊行事を含む)への参加等を通して、地域学校協働本部を中心に、地域と学校が共創、連携、協働して子どもたちの学びや成長を支える様々な活動(事業)に取り組む。



--- 地域運営学校紹介 ---

学校運営協議会、地域学校協働本部、学校コーディネーターが連携・連動して、地域と学校をつなぐ活動を展開しています。令和8年度の開校30周年は、ニュータウンの街びらき30周年でもあり、記念行事に向けての取り組みを始めています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



みごとに咲きました！ 栃谷戸公園 菜の花畑

小学校2年生が、昨秋、小さな手で蒔いた小さな小さな種が、春、みごとな菜の花畑となりました。公園を訪れた人たちが、立ち止まってゆったり眺めていたり、写真を撮っていたりしています。小学校2年生は、学びながら、街を探検しながら、街づくりにも参加しています。

また、目籠づくりなど、ニュータウン開発前からの地域の伝統・文化を引継ぎ、育む活動にも取り組んでいます。

地域に開かれた学校として、地域住民・諸団体と共創・協働して、これまでの歴史を振り返り、今を大切に、未来をはじめる「つながり」を作っています。



本を大事に、修理中

図書室の本は大切に修理しています。子どもたちの本への関心が広がり・深まるように図書室の季節ごとの装飾なども行っています。



ホタル舞う里山

里山の保全活動を行っている市民団体の協力で、親子参加のホタル観察会を行いました。ホタルが幻想的に舞っていました。

みなみ野君田小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○学んで伸びる子(知)

◎強く優しい子(徳)

○健康に過ごす子(体)

<目指す学校像>

「すべての子どもが互いの個性を認め合い、共に学ぶ楽しさや喜びを感じ、主体的に自己実現を図れる学校」

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

★地域住民や保護者に対し、運営目標や協議の結果を積極的に情報提供し、学校教育目標の「学んで伸びる子・強く優しい子・健康に過ごす子」を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

○教育活動に係る支援

★人材発掘を通して地域の教育力を活用し、良質な学習環境を整えることで地域を大切にする心の育成を図り、教育目標が達成できるよう、より一層の支援を行う為に協議や熟議を行う。

★みなみ野小中学校との連携を視野に入れ、放課後・学校休業日を活用し「子どもたちを地域で見守り・育てる」意識のもと、学校・保護者・地域が一体となって多様な活動を行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した早朝きみだランドや放課後子ども教室、放課後補習教室等、児童にとって安心できる居場所づくりが充実しています。子どもをまんなかに置き、「すべては子どもたちのために」を合言葉に、教職員、保護者、地域が協働して子どもを育てています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



放課後子ども教室・早朝きみだランド・パワーアップタイム等

本校では、「放課後子ども教室」「早朝きみだランド」「放課後補習教室(パワーアップタイム)」「サタデースクール」など、地域やボランティアとの協働を通して子どもたちの育成環境の充実を図っています。

○毎週月曜日と金曜日に「放課後子ども教室」「放課後補習教室(パワーアップタイム)」を実施し、児童の安心できる居場所を提供しています。

○令和6年4月よりほぼすべての登校日に7時30分から「早朝きみだランド」を開催し、子どもたちが朝から体を動かすことで、友達との関わりや学習への意欲にも良い影響が見られています。



地域防災訓練

放課後子ども教室推進委員会の主催で身近な地域における児童の防災意識を高める地域防災訓練を行いました。



漢字検定

漢字検定では学校運営協議会でボランティアを募り、会場の環境整備や試験官等々の運営を実施しました。

七国小・中学校学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

七国中学校

『教養と品格を身に付け、社会に貢献する人間の育成』人間尊重の理念を正しく理解し、健康で自ら学ぶ意欲にあふれ、自然と平和を愛し、国際社会に貢献できる生徒を育成するために、上記の教育目標を掲げる。「教養と品格」は自己の意思決定や他者との円滑な人間関係を築く上で不可欠な資質・能力である。また、「社会に貢献する」ことは人間社会の根幹であり、社会の一員であることを自覚させ、社会の発展に寄与する人間を育成するものである。

七国小学校

基礎的・基本的な学力の定着・向上と人格の形成に向けてバランスの取れた教育を展開し、地域に生きる子どもたちの義務教育9年間の発達・成長を見通した「学び」と「育ち」の連続性と系統性を重視して教養と品格のある人間を育成するために、次の目標を設定する。＜自分を伸ばします＞(◎重点目標)○すすんで学びます◎心をみがきます○体をきたえます。

■学運協運営目標

両校の学校教育目標の達成をめざし、両校の状況を把握しながら、委員全員で知恵を出し合い、両校の学校運営に意見を反映させる。



--- 地域運営学校紹介 ---

七国中学校・小学校は道を挟んだ近接した立地を生かしつつ、八王子市小中一貫教育に関する基本方針にのっとり、小中学校での9年間を見通した教育活動を共同で行っています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP!



学園都市みんなのコンサート

両校とも学校公開、運動会、道徳授業地区公開講座、セーフティ教室、音楽会等の学校行事に委員も可能な限り参加しました。また、七国地区学園都市構想に向けても取り組みを進め、11月29日(土)に七国中学校体育館にて中学校特別支援学級と吹奏楽部、小学校教員と合奏クラブ、聖パウロ学園高等学校ハンドベル部、東京ゆりかご幼稚園体育主任指導による全員参加ダンスなど学園都市みんなのコンサートを地域企業の支援を受け開催しました。また、七国中学校では合唱コンクールを実施しています。



「七国地区学園都市構想」会議

「七国地区学園都市構想」に向けて協議中の様子です。活発な意見が交わされています。



ユニセフ募金活動

中学校・小学校合同で行われた「ユニセフ募金活動」の発表の様子。

浅川小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

人権尊重の精神を基調とした知性や感性、道徳心を身に付け、健康で、たくましく豊かな人間性を培う。併せて、地域社会や世界と関わる中で自己実現を図り、国際感覚や社会性、主体性、創造性が調和した、地域を愛する「ふるさと高尾 ふるさと浅川 心豊かな浅川の子」の育成をめざし、地域運営学校として家庭や地域と連携・協働し、社会に開かれた教育課程を実現する。

ふるさと高尾 ふるさと浅川 心豊かな浅川の子

- ◎自ら学び 高め合い やりぬく子ども
- 思いやりをもち お互いを認め合える子ども
- 明るく 元気で たくましい子ども

■学運協運営目標

みどりあふれる高尾の自然を活用し、地域力と協働力による展開を図る。また、学校運営協議会キャッチコピー「ふるさと高尾、ふるさと浅川、心豊かな浅川の子」を具現化し、自ら進んでやりぬき、思いやりを持ち、助け合う、健康で明るい子どもを育成する。

- 学校が好きな子ども
- 学校が好きな保護者
- 学校が好きな地域の方
- 浅川小学校と浅川の地域が好きな教職員が、一人でも多くなってもらえる学校運営協議会の活動にする。



--- 地域運営学校紹介 -----

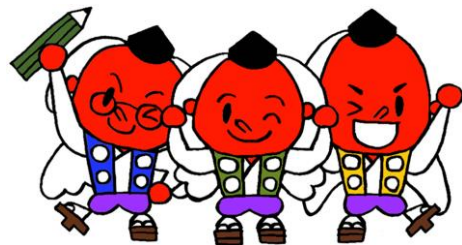
「ふるさと高尾、ふるさと浅川、心豊かな浅川の子」を掲げ、みんなで話し合い、学校と一緒に協働しながら、活動を振り返り、時には地域・保護者との懸け橋となって、よりよい学校づくりに取り組んでいます。また、コーディネート力を発揮して地域の教育力を生かし、緑あふれる高尾の自然を活用した郷土学習などを推進できるようなサポートを心がけています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



あさっこマーク



3てんぐマーク

小・中CS合同 あいさつ運動～チーム あ・さ・か・わ～

学校運営協議会の活動を4分割にして協議会委員が各活動いずれかに参加することで、全員が支援やサポート、参画できる仕組みづくりを行っている。

あいさつチーム……あいさつ運動の実施 ～地域ぐるみの運動～

さがそうチーム……地域の人材の勧誘 ～学習支援～

かがやきチーム……基礎学力向上のための活動 ～郷土学習の支援～

わをつなごうチーム……地域・組織との連携 ～親睦とサポート強化～

学校のイメージ向上や地域との一体感、連携活動の主旨を広くPRするために、「あさっこマーク」を作成。また、運動頑張る「いだてんぐ」お仕事頑張る「がってんぐ」勉強頑張る「まんでんぐ」のキャラクターなど考案し、Tシャツやトレーナーの作成や印鑑など作成し児童や保護者への理解と協力を仰ぐ取組の一つとして活躍しています。

東浅川小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○すすんで学びます

子どもの個性と成長に合わせて一人ひとりの意欲を引き出すことで、確かな学力の育成を実現する。

◎心を磨きます

自己・他者の命を大切にし、より高い目標を立て、困難があっても努力してやり抜くことができるようにするために、基本となる社会性を重視し、さまざまな人との関わりを通した学びの場を設定することで、豊かな心の育成を実現する。

○体を鍛えます

健やかな体を育成するために、自他の健康について向き合い、実践する児童を育てる。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校と保護者、地域が共に知恵を出し合い、協働しながら、児童の豊かな成長を支えていく「地域と共にある学校づくり」の運営を推進する。

○教育活動に係る支援

児童のより深い学びを実現するため、学校運営協議会が中心となりPTAや地域の方と連携しながら多くの活動を行っている。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校では、「地域と共にある学校づくり」をテーマに、地域と共に子どもたちの豊かな学びを支える様々な活動を行っています。

保護者・地域・学校が協働して子どもたちの学びと成長を促せるように連携して取り組んでいます。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



体験活動～冬学校～

本校では、3学期に学校運営協議会主催の体験活動「冬楽校(ふゆがっこう)」を行っています。

1・2年生:ポッチャ体験(パラスポーツへの親しみ)

3年生:車いす体験(福祉・共生の心)

4年生:命の授業(自他の生命の尊重)

5年生:AED体験(救命の基礎知識)

6年生職業EXPO(キャリア教育)

地域の専門家の方々に協力していただき、児童だけでなく保護者の方も一緒に参加しながら、様々な体験活動を行うことができました。



冬楽校 ポッチャ体験

冬楽校の体験活動の講師の招へいや事前準備等は、学校運営協議会の方々が中心となって行っています。



なかよし映画会

なかよし映画会では、「いじめ」をテーマに、学年に合わせたDVDを鑑賞し、いじめについて考える時間を作り、真剣に向き合いました。

由木中央小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- ◎ すすんで学習しよう(重点目標)
- あったかい心をもとう
- じょうぶな体をつくろう

地域運営学校として、地域社会、家庭とより一層連携・協働しながら、児童が社会の形成者としてふさわしい人間性や資質・能力を培い、生きる力を育むために、次の具体的目標を定める。

知識や技能に加え、自ら考え行動しながら課題を解決していく「確かな学力」の育成を重点目標とし、併せて偏見や差別をなくす人権教育と生命を大切に教育を充実し、社会や世界と関わるなかで自己実現を図ることのできる、健康でたくましい体と心の育成に向けた教育を推進する。

■学運協運営目標

- 学校教育目標の「すすんで学習しよう・あったかい心をもとう・じょうぶな体をつくろう」を、学校・家庭・地域の協働により達成していく。
- 地域の教育力を活用し、学習支援や環境整備をすすめていく。



--- 地域運営学校紹介 ---

子どもたちの健やかな成長を支えるために、教育目標や学校運営方針について協議し、地域の声を生かした特色ある学校づくりを推進しています。開かれた学校づくりを進め、信頼される学校運営の実現をめざしています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



地域みんなで防災訓練

夏季休業中に、学校運営協議会主催で防災訓練を行いました。地域住民や保護者、児童、教職員など総勢47名が、学校が避難所になった状況を想定して訓練しました。市の防災課・下水道課・環境政策課の指導のもと、備蓄品の点検やマンホールトイレ、応急給水栓の使い方について理解を深めました。地域全体で防災への意識を高める貴重な機会となりました。



朝の読み聞かせ

ボランティアによる本の読み聞かせを全学年で行っています。児童が本に親しむきっかけになるとともに、語彙や表現力、想像力を豊かにすることに寄与しています。



チームで子どもを育成

田中雅美教育委員が由木保育園との交流を視察に来校された際に、学校運営協議会メンバーである由木中央小学校長、由木保育園長、学童保育所長、はちびバ館長等との意見交換を行いました。



きれいに咲きますように

ボランティアと連携した園芸活動を通して、学校環境向上に取り組んでいます。児童が自然や命の大切さを感じる機会にもなっています。

由木東小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

「そこ力のある子」

○見つめ考え言える子

○ねばり強くやりとげる子

◎心も体もしょうぶな子

○すすんで力を合わせる子

自ら未来を切り拓くための資質・能力を備え、確かな学力・豊かな人間性・健康と体力という「生きる力」を身に付けた児童を育成する。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校運営協議会を年間9回開催し、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりをさらに推進する。

○教育活動に係る支援

年間行動目標を「地域の良さを活かした運営体制」とし、学校運営として協議を行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域の環境や人材を活用した教育活動を展開しています。地域の各種施設と連携しており、ボランティアが多く在籍し、学習支援や居場所づくりが充実しています。保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



地域と連携したあおぎり祭

10月にあおぎり祭を開催しました。ゲームや工作、各種体験プログラム、模擬店など児童が楽しい時間を過ごすプログラムを実施しました。今年度は、協力していただいた団体が多く、近隣大学や地域住民等、合わせて70名程のボランティアと連携して行うことができました。毎年、新たな取組を取り入れ、創意工夫をしながら開催しています。

昨年度は、雨の中の実施になってしまい、来場者数は400名程度でしたが、低学年・未就学児の参加が多く、次回以降継続的な参加が期待できます。

また、保護者の来場も多く、学校運営協議会を幅広い世代にアピールできました。



講演会の実施

9月の学校公開の際、学校と家庭・地域が連携し、子ども達をどのように育成するべきなのかを目的にし、講師の先生を招き「テストでは見えない宝物～家庭で育つ非認知能力～」という表題で講演会を行いました。当日は150名の保護者・地域の方々が参加しました。



田植え体験

5年生の稲作体験では、田おこし・代掻き、田植えを保護者・地域の方に御協力いただき実施しました。常時、水を供給する仕組みを整えたことで、安定した収穫ができています。

由木西小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

ウェルビーイングの考え方を踏まえ、一人ひとりを大切にする人権尊重の精神を基本として、平和を愛し、真理と正義を求め、希望と喜びをもって、児童が共に学び合い成長することができる学校づくりをめざす。また、新しい時代を創造するための学力を身に付け、国家及び国際社会の一員として社会連帯意識をもった心身共に健康な児童を育成する。そのために、以下の児童像をめざす。

- ・よく考え自ら学ぶ子……(知)※重点目標
- ・最後までやりとげる子……(体)
- ・なかよく助け合う子……(徳)

■学運協運営目標

学校運営に係る協議

- ・年度初めの学校経営計画を受け、学校公開の授業参観や行事を通じて学校運営状況を把握するとともに児童理解を深める。

教育活動に係る支援

- ・由木西小の児童や地域の特性やよさを生かし、PTAと連携した取り組みの企画や、専門部会活動を進める。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校では、広大な学校林と自然環境を生かした体験活動を通じて、児童がのびのびと学校生活をおくっています。それを支えているのが、地域に精通した学校運営協議会メンバーであり、学校・保護者と連携し、年間を通じてさまざまな行事や学校支援活動を行っています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



たけのこがニョッキニョキ！！由木西レンジャー

由木西レンジャーでは、全校が6つの縦割り班で分かれ、学校林探検や筍堀り、学校花壇やこども農園での栽培、竹林の竹や校舎内外の落ち葉の活用を通して、理科や総合的な学習と関連した学習活動を、年間通じて行っています。

学校運営協議会組織「ガーデニングラバーズ」や「グリーンファミリーズ」をはじめ、地域・保護者とともに、門松づくりや冬まつりなどの行事支援や、カタクリの花の保全を目的とした学校林整備等、学校の各自然体験活動に応じて、ノウハウを生かした支援活動を行いました。



アートなひととき

「郷土愛・地域支援部」では、近隣の多摩美術大学訪問を企画しました。絵画・工芸・彫刻・デジタルアートなど存分に見学させていただきました。



みんな楽しみ 冬まつり

PTAが企画した由木西小恒例の「冬まつり」では、無煙炭化器で焼いて食べる「ウイナー巻き」コーナーで学校運営協議会メンバーが大活躍。たくさんの来場者で盛り上がりしました！

鹿島小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- じょうぶな子 自らの体力を高め、健康で安全な生活を送る。
- よく考える子 基礎・基本を身に付け、自ら学び考え、問題を解決する能力を培う。
- なかよくする子 社会規範を守り、周囲の人との関わりを通して、望ましい人間関係を築かせる。
- がんばる子 自分の存在価値を認め、自分の夢に向かって頑張ることができる児童

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

教育目標を達成するため、学校・保護者・地域が協働する学校づくり、地域に根ざした、地域とともにある学校づくりを実現する。

○教育活動に係る支援

特色ある教育活動の一層の充実のため、地域人材の確保や活用推進及び組織的に進めるための体制を作るとともに、小中一貫教育推進のため、3校合同学校運営協議会(松が谷中学校・松が谷小学校)を行い、キャリア教育の推進及び児童・生徒のよりよい育ちについて協議する。



--- 地域運営学校紹介 ---

豊かな自然に囲まれた鹿島小学校にはとても大きな学校園があり、様々な野菜を栽培している。地域の農家の方やボランティアの方にアドバイスをもらいながら、子どもから大人まで幅広く関わり合いながら、教育活動を続けている。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



あいさつ運動

青少年対策松が谷地区委員会と、本校のかしいもの会が門に立って「あいさつ運動」を行っています。大人も子どももお互いにさわやかなあいさつを交わすことで、明るいあいさつができる子が増えてきています。地域と学校が一体となって「すすんであいさつできる児童」を育てています。

○小中一貫教育

松が谷中学校、松が谷小学校の3校で、「自ら考え判断し、行動できる児童・生徒」「自主的に学習に取り組むことができる児童・生徒」「思いやりや感謝の心をもった児童・生徒」「地域に愛着をもち、貢献できる児童・生徒」の育成をめざし、9年間を通した教育課程の編成について協議しています。



昔遊び

1・2年生の生活科において、多くの地域の方から「昔遊び」のご指導をいただいています。



焼き芋づくり

なかよし班(縦割り班)活動でサツマイモを栽培・収穫し、保護者・地域の協力を得て、焼き芋を焼き、学校公開日に収穫祭を実施しました。

松が谷小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

○元気な子 (体)

- ・明るく、活発で、個性を伸ばそうとする子
- ・心と体の健康づくりに主体的に取り組み、たくましく生きる子

○仲良くする子(徳)

- ・自ら考え、判断し、行動できる人間性豊かな子
- ・自他を尊重し、思いやりの心をもって共に生きようとする子

○がんばる子(知)

- ・自ら考え判断する力を伸ばし、自分の意思を表現する子
- ・自己発揮・自己実現しながら粘り強く取り組む子

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校経営計画に基づき、保・幼・小・中・高・大・地域連携や郷土学習とのつながりを重視して、児童が自発的に学びを深め、共に伸びる教育活動の実現に向けた協議を行う。

○教育活動に係る支援

松が谷地区の地域と保護者、幼・保・小・中・高・大が一体となり、幼児、児童、青少年の健全育成に繋がる活動を創造する。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は小中一貫グループの松が谷中学校と鹿島小学校と共に、今年度創立50周年を迎えました。保・幼・小・中・高の連携や地域とのつながりを大切にして、児童が自発的に学びを深め、共に伸びる教育活動の実現に向けた学習支援や居場所づくりに力を入れて取り組んでいます。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



英会話でのアクティビティ～地域人材を活用した英会話学習支援～

本校では、地域人材として英会話学習指導補助者を活用し、抵抗感の少ない低学年段階から英会話でのコミュニケーションスキルを伸ばすことを目的とした英語活動を行っています。

多くの低学年児童がアクティビティなど英語でのコミュニケーションを楽しんでおり、また、中学年以降の英語学習に対する抵抗感を減らすという点でも成果が見られていて、令和7年度も全学年で取り組みました。



放課後英語活動

3・4年生児童が、放課後に来校した松が谷高校英語同好会の生徒と英語でゲームや歌を楽しんだり、英語のフレーズを使って楽しくコミュニケーションを図りました。



繭の糸取り体験

生活科や総合的な学習では、地域のゲストティーチャーを効果的に活用し、地域住民とかわり、つながる体験を充実させました。

中山小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

◎ 楽しく学ぶ子ども(重点)

○ 楽しく遊ぶ子ども

○ 楽しく鍛える子ども

■学運協運営目標

○ 学校経営計画、教育課程の承認と支援

日常の授業や行事にすすんで参観して、学校経営の実態を把握する。

○ 食育の推進に関する支援

校地内の畑や田んぼを活用した栽培活動への支援と子どもや教職員とのかかわりを充実させる。

○ 放課後の時間を活用した漢字検定の実施(年2回)

子どもたちの学習意欲を育む機会を設け、支援する。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、中山地区の里山に囲まれる地域にあります。

「生き生き・のびのび・元気な子・見守り育てる地域の輪」を基本とし、保護者の皆様、地域の方々と全員で力を合わせて、子どもたちを育てます。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



育てて食べる食育の支援

校舎前の畑で、子どもたちが自分で選んだ野菜を栽培しました。子どもたちが草取りをした後に耕運機を入れる支援や、年間を通して育て方のアドバイスを地域の方が担いました。6年生は収穫した野菜を販売して達成感を味わい、また地域・保護者にも好評でした。

田んぼ作りから餅つきまで！地域・学校・保護者・卒業生のつながり

本校では、学校運営協議会、おやじの会、保護者、教職員、卒業生が力を合わせて作業をする活動が複数あります。令和7年度は、校地内の荒れ地を開墾して、水田を作りました。

まず、4月・5月に草や石を人力で取り除きました。さらに5年生が石を取り、6月にもみふり・田植え、10月に稲刈り、12月にしめ縄作り・餅つきを行いました。水源がない水田は、水管理に工夫が必要で、使用していないプールから水をくみ上げるタイマー式給水ポンプで対応しました。



裏山の竹で門松作り

竹林の持ち主に協力していただき、中山小学校の恒例行事である門松づくりを行いました。近隣校も一緒に活動するため、世代を超えて地域の方々との関係が深まりました。

柏木小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

「自分を育て ともに育つ子(自立と共生、自他の幸せ)」

◎つたえあう「表現力、コミュニケーション力」

・わかりあう「学び合い、認め合う心、相手の気持ちを想像できる心」

・きたえあう「頭(知)、心、体 をバランスよく」

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

- ・学校運営に関する意見・承認
- ・教職員との連携
- ・学校運営協議会の運営等に関する地域への広報活動

○教育活動に係る支援

- ・地域人材の確保
- ・体験活動の場の提供
- ・生命尊重への意識を高め、環境について考える機会の整備
- ・小中一貫教育の取組



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域の方に協力いただく体験活動が充実しています。校内に「地域の畑」「地域の部屋」があり、地域の方の姿があります。校庭はいつも花でいっぱいです。児童の学び環境を整えることに一役買っています。近隣の保育園児が収穫体験に来るなど、地域の交流の場となっています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



新しい学びがたくさん

教職員向け研修会や懇談会を行っています。近隣の保育園職員も参加し、国際交流や保小の連携にも役立っています。



元気にあいさつ

とにかく楽しい！体験活動の充実

地域の方のご指導で、1年生は「サツマイモ栽培・収穫」、2年生は「夏野菜の栽培、収穫」、5年生は校内にある田んぼで、「米の栽培・収穫」を行っています。6年生は、「日向緑地遊学会」と連携し、竹林の保全活動に参加しました。伐採した竹でプランターを作り、花を植えて近隣施設に設置する活動を行っています。地域の方が校内の畑で育てた野菜は、給食でも使用してもらっています。食育や地域学習がすすみ、児童が地域を大切に思う気持ちが育ちました。

小中合同学運協の取組で、毎月第3水曜日の朝に地域であいさつ運動を行っています。地域に定着し、あいさつが日常化してきています。

南大沢小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

～「知・徳・体」のバランスの取れた児童～

○仲良く(徳)・・・進んで協力し、認め合う、思いやりのある児童

○元気で(体)・・・体を動かすことを楽しむ、気力・体力・意欲のある児童

○頑張る子(知)・・・好奇心をもち、よく学ぶ、実行力・継続力のある児童

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

①学校・家庭・地域が連携し、協働して学校づくりを推進する。

②「学校運営協議会だより」を学期ごとに作成し、地域へ情報発信を行う。

③学校評価や学力調査の結果報告を受け、成果と課題を共有し、改善策について協議する。

○教育活動に係る支援

①地域人材と連携した体験的学習活動の実施

②防災意識を高めるための体験型訓練の実施支援



--- 地域運営学校紹介 ---

学校運営協議会の企画事業として、地域の方々と子どもたちを結びつけた学習活動を数多く展開しています。また、放課後子ども教室や「みなみ会」など、地域や保護者の皆様の温かな支援を受けながら、地域全体で子どもたちを育てることを意識して取り組んでいます。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



水田学習～たくさん実りますように～

南大沢小学校の水田学習は、地域の皆様の温かな支えのもとで行われる、本校ならではの大切な学びです。校内の田んぼでの田植えに始まり、稲刈り、脱穀、わら縄づくりまで、昔ながらの知恵や技を地域の方々が毎年丁寧に教えてくださっています。

今年度は、収穫したもち米を使っておはぎ作りにも挑戦しました。お世話になった地域の皆様や保護者の方々と一緒に味わう時間をもち、地域とのつながりの温かさを実感するひとときとなりました。



うまくできるかな？

昔遊びは地域の方々との交流を通して、伝統文化への関心を高める機会となりました。



ようこそ小学校へ！

近隣の保育園・幼稚園の園児を対象に、小学校の生活を体験できる学校案内を実施しました。

宮上小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

- み～みなぎる力
- や～やさしい心
- か～考える知恵
- み～見わたす世界

ここには、知(考える知恵)・徳(やさしい心)・体(みぎる力)の育成を基本として、世界を見渡す人を育てるという夢が描かれている。

また、この目標には、開校以来本校に関わってくださっている方々の願いも込められている。

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議

学校・家庭・地域の連携を深め、信頼関係を強化することにより、学校運営の改善や子どもたちの健全育成を図り、地域に開かれた学校づくりを目指す。

- 教育活動に係る支援

コミュニティスクールとしての特色を活かした学校教育活動の充実を目指す。



--- 地域運営学校紹介 -----

会議では、学校運営の基本方針の承認や教育活動全般について協議し、学校運営に活かしています。

会議で話し合った概要は、「協議会だより」として学校ホームページに掲載しています。

子どもたちにとっても大人にとっても、学校がより良い場所となるよう知恵を出し合いながら進めています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



英語教師の招へい

地域の英語教育で実績のある講師の招へいという形で、充実した英語教育を行っています。子どもたちへの授業のほか、英語教師の授業を教員が参観することにより、英語指導のスキルを高めることにつながっています。

学校運営協議会の際に英語の授業の様子を紹介する機会がありました。英語講師の授業は毎回とても充実しており、子どもたちはとても楽しく授業に参加しています。



キャリア教育の実施

6年生を対象にキャリア教育を実施しました。各界の第一線で活躍する方を講師に招き、講話のほか、職業体験も行い、将来の職業や生き方を考える機会になりました。



漢字検定の実施

宮上中・下柚木小・宮上小の3校が連携して英語検定と漢字検定を実施しました。漢検では本校学運協が中心となり、ボランティアを募集して検定を運営しました。

秋葉台小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- ◎健康で明るい子ども(重点) 心も体も健康でたくましい児童
 - よく考えすすんで学ぶ子ども 自ら課題を見付け、主体的に行動し生活に生かす児童
 - 仲よく助け合う子ども 互いに認め合い、人を思いやる豊かな心をもつ児童
- 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成します。

■学運協運営目標

各種のボランティア活動を組織し、活性化をはかります。また保護者、地域、学校の3者の協働を強化します。また 学校運営の基本的方針や学校評価について審議し意見をまとめます。

地域の方による講座もふくむサマースクール2025を開催したり、豊かな自然環境を活かした総合的な学習を支援したり、またニュータウン以前の地域の民俗を児童に紹介します。

放課後子ども教室ほかによる児童の居場所づくりなど、児童の健全な発達をささえる環境を整備し運営します。



--- 地域運営学校紹介 ---

環境省が選定した重要里地里山500のうち2箇所が学校の南北に所在するという地域の豊かな自然があり、そこに伝承されている文化にはめぐまれたものがあります。

そのようななかで 児童の環境学習を進めたり、地域から提供されるさまざまな支援を、児童の健全な発達と学習に活用しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



サマースクールでのカヌー講座！

夏休みのはじめの3日間に、サマースクール2025を、保護者、地域、教員の協力を得ながら企画、運営しました。

開講する講座(延べ38講座)の内容の周知や、児童の参加希望の受付、抽選やその結果の児童への通知(受講者延べ数:579)などを学校と協力して実施しました。

【地域からの学習支援】

里山の水田での伝統的な稲作の体験、野鳥などの観察、カイコ・シルクの学習や地域の文化・伝統の授業を地域からの支援のもとに実施しました。



地域ふれあい給食

保護者・地域・教員のつながりを強化するために、学運協が校内グラウンドの一角でサツマイモを栽培・収穫して給食の食材(呉汁の具)とし、地域からの支援者をまねいてふれあい給食イベントを開催しました。



放課後子ども教室

保護者や地域の皆さんの協力を得ながら運営しています。子どもたちは毎回の活動を楽しみにしています。

別所小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

《学校教育目標》

人間尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。

- ・自分をのばします(知)
- ・心をみがきます(徳)
- ・元気にすごします(体)

子どもたちが「なりたい自分」に向けた挑戦をしていくなかで、自己実現に近づけた喜びを感じることができる well-being な学び舎にしていきたいと思います。また、ふるさと意識の醸成をさらに高めていく。

■学運協運営目標

教育目標「自分をのばします・心をみがきます・元気にすごします」の達成を目指し、学校・家庭・地域の協働体制を強化します。

教職員や保護者との連携を深め、児童の実態に即した本校ならではの教育活動を推進・支援することを目標とします。

また、地域と学校を結ぶ情報共有の充実を図り、協議会の取り組みを積極的に発信していきます。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は「地域と共にある学校」として、子どもたちが地域を深く知り、多様な世代と交流できるイベントの企画・支援に注力しています。地域全体で成長を見守る体制を整えるとともに、活動内容を積極的に公開し、家庭・地域とのさらなる信頼関係の構築に努めています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



何ができるかな？夏休み自由工作イベント

昨年度の高評価を受け、今年度は開催期間を三日間に拡大して実施しました。本イベントは、学校運営協議会と放課後子ども教室が連携・協働して運営にあたりました。教室には、多様な廃材や素材を用意し、子どもたちが自由な発想でアイデアを形にできる環境を整えました。参加した子どもたちは、試行錯誤を繰り返しながら思い思いの作品づくりに没頭していました。地域ボランティアが子どもたちの発想を尊重し見守ることで、世代を超えた温かな交流の場となりました。創造力の育成とともに、地域全体で成長を支える充実した活動となりました。



火がおきるかな

サタデースクールと共同で「火起こし体験」を実施し、簡単には火が起きない難しさに直面しながらも、地域の方々の助言を受けながら懸命に道具を動かし続ける子どもたちの粘り強い姿が見られました。



真剣に 耳を傾けて

～原爆体験から考える命と平和～
平和な社会を築くために自分たちができることを考えるきっかけとなりました。子どもたちは真剣に耳を傾け、学びを心に刻む時間となりました。

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- ・あかるい子(思いやりをもち、助け合う明るい子)
 - ・たくましい子(心身ともに健康でたくましい子)
 - ・根気強い子(すすんで学び、ねばり強く取り組む子)
- を育てたい児童像として掲げ、児童に寄り添う協働的な学びを進めてくよう常に改善していく。

■学運協運営目標

- ・学校目標を踏まえ、地域連携・地域協働できる学校運営委員会で構成される。
- ・児童の学びを多角的に支えていく為の工夫ができるように、大人の学びを欠かさない。
- ・子どもの素直な声を聴き、保護者、先生とも連携が取れるような柔軟さを常に持つ。
- ・客観的な判断ができるよう、第三者として、市の教育委員会の方針都や国の情報にも意識を持つ。



--- 地域運営学校紹介 ---

学校運営協議会を中心に、「放課後子ども教室」の運営、行事の運営(愛宕キャンプ、漢字検定試験、英語検定試験)を行っています。

また地域団体(青少対、マンションの自治会、町内会)との連携や、八王子市が推進する小中一貫教育・保幼小連携も行っています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



体育館に泊ってみよう！夏休み愛宕キャンプ

「3.11」から発足した避難所体験型親子キャンプ。毎年、夏休み中に実施し、第11回目を迎えました。異学年で班を組み、寝食を共にする事で楽しみつつ学びのある場となっています。

子どもの学び: 他者と協力する・異学年交流する・防災食を体験する・体育館での寝心地の悪さを体験する(いびきや暑さなど)

大人の学び: 他の家族のルールを知る・防災食を作る工夫を知る・避難グッズの揃え方を知る・テントの張り方を知る



楽しく、いただきます！

放課後子ども教室では、子ども食堂のほか、ジャグリング、バルーンアート、人形劇などの企画も多数実施しています。



初めてマッチで火をつけたよ

3年生の「七輪体験」は、昔のくらしについてお話をしてくださる地域の方をお呼びし、実際に炭を起こしてお餅を焼きました。

松木小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

本校は地域運営学校として、教育目標全体に対して、家庭や地域社会等との連携を密にしながら開かれた学校と安心・安全な学習環境の充実を目指す。また、スポーツ教育推進校として全教育活動を通して、児童に、自ら健康・安全で活力のある生活を送るための基礎を養う。
ま-松木を愛する子 つ-強い心と体の子 ん-協力する子

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校経営方針の「自己実現できる学校」をめざし、「みんなの子どもをみんなで育てる」ESDを重視した学校・保護者・地域協働の学校づくりを実現する。

○教育活動に係る支援

- 1 中学校区3校・PTA合同協議会を行い、学校とともに保護者・地域が連携し、参画意識の向上に努める。
- 2 協議会が核となり、実働できる人材の確保を行う。
- 3 広報・ホームページなどを活用し、地域運営学校の趣旨や活動内容について積極的に周知する。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した学習支援や居場所づくりを積極的に行い、地域みんなで子どもたちを育てる体制を構築しています。また松木中学校、松木小学校、長池小学校で構成する松木中学校区3校が連携し、地域として、児童・生徒の義務教育9年間の教育の充実に努めています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



放課後・夏休み学習会見守りボランティア

本校では、「放課後・夏休み学習会見守りボランティア」「はなまるプリントまるつけボランティア」「漢字検定試験監督ボランティア」など、地域やボランティアとの協働を通して子どもたちの育成環境の充実を図っています。

特に力を入れている「放課後・夏休み学習会見守りボランティア」では、保護者や地域の方々、学生などが見守りをし、子どもたちの学習意欲の向上や学習の習慣化に貢献しています。



将来がますます楽しみ！

12歳のハローワーク(ゲストティーチャー)では、6年生を対象に、地域の方などに職業の話をしてもらい、貴重なキャリア教育の場となりました。



今日はどんな駄菓子ある？

地域の自治会館などで駄菓子屋を開催し、子どもたちが楽しみながら地域の大人との交流が生まれ、社会性が育まれました。

下柚木小学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

人権尊重の精神を基調とし、互いに人間として尊重し合い、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かで、社会貢献の精神や国際性を身に付けた児童の育成を図るため、本校の教育目標を「自立・共生」と定める。自立とは、自ら学び、考え、自己の力で自らの人生を切り拓き、社会に貢献しようとする力である。共生とは、思いやりと規範意識をもち、他者とより良い関係を築く力である。これこそ「生きる力」であり、この力を育むことを目標とする。教育目標達成のために以下のめざす児童像を定める。

○ よく考える子 ◎ 思いやりのある子 ○ たくましい子

■学運協運営目標

○学校運営の協議「自立・共生」の実現へ、学校運営協議会を軸に学校・家庭・地域の連携を強化。ボランティア組織を拡充し、教育活動の充実と保護者間の交流を促進する。

○教育活動の支援「学力向上」を重点に、具体的な学習支援を通じて児童の育成に努める。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、学校林での秘密基地作りや環境学習、放課後算数教室(下柚木道場)など、地域と連携した体験・学習支援が極めて充実しています。図書整備や読み聞かせ、授業補助など、保護者・ボランティアの温かい協力が、児童の主体性や豊かな学びを力強く後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



学校林活用推進委員会

八王子市都市公園指定管理者等の支援やボランティアの協力を得て、計画的に学校林を活用しています。

1、2年生は落ち葉のしおり作り、3、4年生は秘密基地作りを行いました。特に秘密基地作りでは、児童が生き活きと意欲的に取り組み、協力や折り合いをつけることを学ぶ主体的な活動の場となりました。

また5年生は、環境学習の観点から自然観察や森林保全のレクチャーを受けるなど、体験的な学習を深めています。



学力向上委員会

「放課後算数教室(下柚木道場)」を運営。3年生以上の希望児童が東京都のドリルで学び、授業内でも地域・保護者ボランティアの協力を得て学習支援を行っています。



学校図書推進委員会

毎月1回程度、金曜日の朝に予定している読み聞かせや、毎月第二金曜日における学校図書館整備、寄贈図書運動の推進などを主な活動としています。

上柚木小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- 明るくがんばる子
健やかな体の育成:心身ともに健康で、遊びや運動に親しむ子
- ◎仲よく協力する子
豊かな心の育成:自他を価値ある存在として尊重する子
- よく考える子
確かな学力の向上:自ら考え判断し行動できる子

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議
学校経営方針の目指す学校像『学校に関わる全ての人がウェルビーイングを実感できる学校』を実現させるため、学校・家庭・地域のより良い協働の仕方について協議する。
- 教育活動に係る支援
学校運営協議会を通して『上柚木小学校らしさ』を生かし、学校とともに家庭・地域社会が連携し、『地域で子どもを育てる』を推進するために、地域住民や保護者に対し、運営目標や協議の結果を積極的に情報提供する。



--- 地域運営学校紹介 ---

「地域の子どもは地域で育てる」の市の方針を受け、地域と連携した子供の居場所づくり(子どもの“やりたい”、学習支援)を念頭に地域・保護者・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。学校運営協議会と放課後子ども教室が良く連携し、地域と学校をつなぎながら、児童の学びと成長を支えています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



放課後子ども教室「ゆずっこひろば」との連携

保護者の有志が自発的に立ち上げ、学校運営協議会と連携しながら毎日実施し、放課後の子どもたちの居場所として重要な役割を担っています。内容も、学習教室や多様な「サークル活動」、地域のスポーツ団体と連携したスポーツ教室、サタデー教室、サマースクール(昼食提供含む)、と多岐にわたり年々充実してきています。令和7年度は「朝活動」を毎朝実施しました。

スタッフは、児童にとっては『信頼できる地域の大人』、保護者にとっては『子育てお悩み相談所』となっており、今後は不登校支援の一助となるように熟議を重ね、有効な方策の検討を行っています。



星空観望会

八王子天文同好会に協力を依頼し、理科を専門とする教員が中心となって星空観望会を企画しています。星について丁寧な説明が入ることで、とても参加者に好評でした。



漢字検定

地域の協力により、年2回の漢字検定を実施しています。また、小中一貫グループの学校運営協議会共催で英語検定・数学検定も実施しています。

長池小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

本校の学校教育目標は、「よく考え 学ぶ子」・「思いやりをもち 助け合う子」・「明るく 元気な子」である。この目標には、平成9年の開校以来本校に関わってくださっている地域の皆様、保護者の皆様の願いも込められていると考える。令和7年度は、校内研究において国語科「物語文」を学校全体で研究していくこともあり、「よく考え 学ぶ子」を重点目標とする。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

長池小学校の学校経営方針の具現化をめざし、学校・保護者・地域が協力する地域学校協働活動を通じて、「一人も取り残さない」で地域とともにある学校づくりを実現する。

○教育活動に係る支援

子どもたちが自分の好きなことに打ち込む、人と関わる、得意な分野で自分の能力を発揮する「子ども輝く@長池」を学校、家庭、地域が協力して支援する。



--- 地域運営学校紹介 ---

「学び支援」「地域連携」「評価」「広報」の4部会を設置し、活動を分担して推進しています。

松木中、松木小の各学校運営協議会でも同じ部会を設置し、3校合同学校運営協議会としての活動も展開しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



漢字検定の実施

年間1回1月の土曜日に長池小の児童を対象に漢字検定を実施しています。

～地域とともにある学校づくり～
長池小学校運営協議会便り

2025年6月号
八王子市立長池小学校
学校運営協議会便り
VOL.12 No.1

ごあいさつ

新しいものを作っています!

日頃、学校運営協議会の活動にご協力いただきありがとうございます。2024年度はポストコロナの新たな日常を取りもたすように思います。ただ、インフルエンザや他の感染症等は警戒が必要な一年だったと思います。コロナ禍に活動が縮小したことが冬のまなざしに反映されている面もありません。コロナ以前に及ぶという人がありますが、ただ単に先を急ぐのではなく、コロナで経験したことを踏まえて、「新しいものを作っていく」という姿勢が大切だと考えています。どうぞ、皆様方も学運協とともに、子どもたちが安心して学校に通い、楽しく充実した学校生活を送ることの出来る環境づくりにむきつきご協力をお願いします。

長池小学校運営協議会会長 尾谷晃男

＜長池小の学校運営協議会では、こんな活動をしています！＞

＜長池小学校運営協議会の活動＞

- ① 月1回協議会を開き、学校運営の基本方針を承認し、学校の教育活動の課題について協議し提言します
- ② 学期に1回、長池小、松木小、松木中の3校合同の学校運営協議会を開催し、学運協便りを共産
- ③ 先生方と懇談をして意見疎通を図っています。
- ④ 教職員の任用に際して、教育委員会に意見を具申
- ⑤ 授業や学校の運営を支援する学校支援ボランティア

学運協の活動を周知

浄瑠璃祭りの企画・運営

以前は平成10年から松木小学校を借りて、蓮生寺公園通りマンション管理組合が中心になり「松木祭り」が開催されていましたが、消滅してしまいました。平成20年に松木中学校で「おやじの会」が発足した際、参加者から「松木祭り」を松本中学校で復活させて欲しいとの意見があり、平成24年度に地域に開かれた学校づくり・特色ある学校づくりを推奨する松木中学校区3校合同学校運営協議会「地域連携部会」が主催となってお祭りを開催する運びとなりました。

お祭りの名前も3校の児童・生徒に募集して「浄瑠璃祭り」に決定し、子どもたちが楽しめるお祭りを運営しています。

学校運営協議会だよりを6月と10月と12月に発行、広報活動を実施しています。また、3校合同学運協のお便り、HPも作成しています。

鑓水小学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

本気(本気で考える子)

勇気(勇気をもって行動する子)

元気(元気で心豊かな子)

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

子どもの安全確保、学校・地域の環境美化・地域防災等学校経営課題の改善に向けて、具体策の評価・改善・拡大などを一層推進していく。

また、学校コーディネーターと連携して、従来の具体的取り組みを地域学校協働活動に位置づけ、学校支援事業と企画事業を一層推進していく。

○教育活動に係る支援

・子どもの学力向上を推進し、教育活動のさらなる充実及び改善を図る。

・講演会を開催し、講師の方を招き、子どもたちのキャリア教育や家庭教育などへのアドバイスとなる機会を設ける。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は地域と連携し、学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

放課後の補習教室やイベント活動など、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



真剣に聞いてます～職業講話の開催～

毎年、外部から教育関係に関わりのある講師を学校運営協議会で検討し招いています。

今年度は、5年生に向けた「地域キャリア教育協力隊」の方を講師に招き、職業講話を行いました。キャリア教育として、子どもたちが自分の将来について考える機会となりました。



みんな元気です

放課後子ども教室では、朝校庭を開放している「あさぶれ」や、放課後のイベントなどを行っています。



きれいに咲いています

お花がかりのボランティア活動で、季節に応じて学校花壇や校門の前にお花を植えたり、整備をしたりしました。

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- 気持ちを感じあえる人になろう
相互理解を深め、社会性を高めるために、互いの気持ちを理解し合うとともに思いやりの気持ちを育む。
- 自分を伸ばせる人になろう
基礎的・基本的な学力及び体力の向上を図り、意欲的に活動に取り組む態度を育む。
- 自信をもてる人になろう
学習活動や体験活動等の教育活動全体を通して、自己理解を深め、自己肯定感を高める。

■学運協運営目標

【学校運営に係る協議】

- 不登校対策拠点校として、本校の抱える状況や課題を明確にし具体的な改善策や対応策の協議・助言を行う。

【教育活動に係る支援】

- 地域との交流の機会を増やし、地域の誇りとなる学校づくりを検討し推進する。

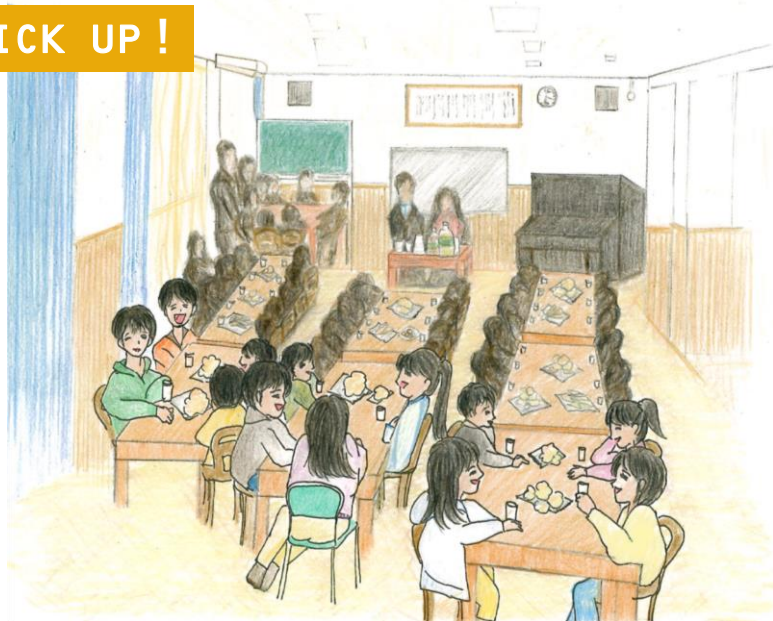


--- 地域運営学校紹介 ---

本校は市内全域から児童・生徒が通っていることから、広域の地域運営学校となっています。広域の地域の方々に支えられて、児童・生徒が安心して通うことができる学校づくりを推進する体制が整っています。
放課後カフェや講座学習など、地域ボランティアの温かい支援が、子どもたちの成長を支えています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



お菓子を囲んでほっと一息～放課後カフェ・やまゆりカフェ～

本校では、「放課後カフェ」や「やまゆりカフェ」を年5回実施しています。「放課後カフェ」は、放課後の集いの場として、お茶を飲んだり、お菓子を食べたりしながら、児童・生徒同士や保護者の方、地域の方との交流機会となっています。「放課後カフェ」を楽しみにしている児童・生徒が多く、カフェのある日の登校率は高くなっています。

「やまゆりカフェ」は、適応指導教室に通う児童・生徒とその保護者が参加でき、児童・生徒と保護者が談話するひと時となっています。

どちらも学校運営協議会の方々やNPO法人「育て上げネット」の方々の力を借りて運営をしています。



きれいに！明るく！

「花のある明るい学校づくり」では、しばらく使用されていなかった学校花壇や正門前花壇を整備し、彩り豊かな学校づくりを推進しました。



地域の方に見てもらえるように

保護者の協力を得て、花壇整備を行いました。児童・生徒から「学校が明るくなった」「花があると嬉しい気持ちになる」など声が寄せられました。

第一中学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

『自立をめざして 求め、見つめ、鍛えよう 仲間とともに』

- (1)「求め」…主体的に学びを追求する生徒《本年度の重点》
- (2)「見つめる」…自己を見つめ、将来の夢や希望の実現を目指す生徒
- (3)「鍛えよう」…心身共に健康で、困難にも粘り強く立ち向かう生徒
- (4)「仲間とともに」…自他を大切にして尊重し、認め合い、いじめや偏見・差別を許さない生徒

■学運協運営目標

第一中学校の本年度重点目標である

「主体的に学び行動する生徒の育成」

を学校・家庭・地域の協働により達成していく。

- ①学校運営協議会・青少対・地域が協力し、地域防災訓練等の行事の運営を行っていく。
- ②年間行動目標を「小中連携」とし、学校運営協議会として小中の連携強化に向けて行動する。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、地域と連携した防災訓練や道徳教育が充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

各種検定の監督や青少年地区委員会と協力した活動など、地域ボランティアの温かい支援が、生徒の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



地域防災訓練～1chu BOUSAI～

令和7年度は学校運営協議会主催で地域防災訓練を行いました。今回は消防署、市役所、地域の方など多くの方からご協力いただき実施しました。缶切り、マンホールトイレの設置、公衆電話の使用、人を運ぶ、バケツリレーなど、今の中学生があまり経験したことのない事を、班ごとに協力して体験しました。この班は1年生から3年生をランダムに振り分けた10人くらいの班です。実際の災害時には、知らない人と協力していかなければならないので、とても良い経験になりました。



消防車 かっこいい！

地域防災訓練では煙体験や消火器訓練で消防署小宮出張所の皆様にも協力いただきました。かっこいい消防車の前で記念写真！



街をきれいに！

青少年地区委員会主催の「クリーン活動」を年に2回開催しています。小中一貫教育の3校の小学校と協力して街をきれいにしています！

第二中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

校訓 自律

学校教育目標

『学ぶ』進んで学ぶ生徒

『思ひやる』心豊かな生徒

『やりぬく』協力し勤労する生徒

■学運協運営目標

目標① 学校運営協議会を定期的に年6回行い、学校と地域の双方向の情報共有と協力体制の充実を図り、学校、家庭、地域が一体となって生徒を育てる学校づくりを引き続き推進する。

目標② 教育活動に係る年間行動目標を「基礎学力定着」「地域貢献」とし、内容、方法について熟議を重ね、情報交換や授業観察の機会を充実させ、協働的な取組等の進捗を見守りながら、引き続き支援する。



--- 地域運営学校紹介 ---

学校運営協議会として、情報交換や授業観察の機会を充実させ、協働的な取組等の進捗を見守りながら支援を続けています。特に、ふれあい講座開設の応援、支援は、生徒の地域貢献に対する意識を高めています。地域の方からも「もっと教えたい」という声も上がり、好評です。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



技術も心も磨く

各講座の後、地域の講師の方から、八王子の魅力とその競技や分野への思い、八王子での活動について、お話いただき、まとめを行いました。

ふれあい講座～囲碁に親しむ～

生徒がスポーツや伝統文化に触れること、地域とふれあうことをねらいとし、「卓球」「ネオテニス」「大正琴」「和太鼓」等の14講座を開設して年2回6月と10月の土曜日に実施しました。講師は、地域のボランティア(約50名)に依頼し、はつらつと指導していただいています。

講座では、生徒が普段できないことを体験したり、興味関心を深めたりしています。実施後は、地域ボランティアから「もっと教えたい」「生徒から元気をもらっている」という感想も聞こえてきました。生徒の地域貢献に対する肯定的な回答も年々増えています。



目標をもって

漢字検定、英語検定等の準会場運営、取組支援の整備を進めています。具体的な目標をもって取り組ませ、生徒の基礎学力定着をめざしています。

たがの杜小中学校(第四中学校)

-- 目標(令和7年度)

■ 学校目標(教育目標)

日本国憲法・教育基本法の理念、学習指導要領の趣旨及び八王子市教育委員会教育目標を踏まえ、共生社会の担い手・持続可能な社会の創り手として、知性、感性に富み、健康な精神とたくましい身体を養い、心豊かな人間を育成するため、次の目標を設定する。

- 自ら学び考える人 ～ 知性 ～
○思いやりがあり、責任ある行動のできる人 ～ 公正 ～
○心身ともに健康で社会に役立つ人 ～ 貢献 ～

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議
 - ・学校運営に関する熟議、教職員との協働的な教育活動の実践
 - ・保護者、地域住民等の学校運営への参画の促進・連携
 - ・義務教育学校開校に向けての準備
- 教育活動に係る支援
 - ・教職員との定期的な協議の実施
 - ・特別支援学級・不登校生徒対応の支援
 - ・放課後学習教室、自習教室、各種検定事業の協働的な実践
 - ・花壇整備、清掃活動等への支援



--- 地域運営学校紹介 -----

学校運営協議会を設置し、学校、保護者、地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域で、地域と共に学ぶことのできる多賀の学び舎」の実現を進めています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度)

PICK UP !



特別支援学級(7組)の農業活動支援

学校運営協議会、地域の方に協力していただき、本校敷地内に農園(7組農園)を作り、農業活動を実践しています。

畑作り(耕し土作り、畝作り)から始まり、年間を通じて野菜を育てました。収穫した野菜は、家庭科の調理実習に利用しました。また、学校公開時に7組カフェを開催し、収穫した野菜を利用してお菓子を作り、地域の方に振る舞うことができました。

定期考查一週間前
自習教室

日時
6月12日(水) 15:00~17:00
17日(月) 14:30~16:30
18日(火) 15:30~17:30

場所
図書室

参加希望者は当日直接図書室まで来てください。
事前に、保護者の方に参加することを伝えるようにしましょう。

地域の方の見守りのもと、月3回程度の自習教室に加え、定期考査前に自習教室を開催しています。
定期考査前自習教室は、毎回たくさんの生徒が参加しています。



隔週の月曜日に、花ボランティア活動として植栽活動を行っています。正門前のきれいな花々が、登校時の生徒を迎えます。

第五中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

人権尊重の精神を基調として、心身ともに健康で、知性と感性に富み、生涯を通じて主体的に学び続け、国際社会に貢献できる人間性豊かな生徒の基本的資質を養う。

- 未来社会への知性
- 人・地球との共生
- 心身共に健康

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校運営協議会の役割を改めて確認し、本校の学校運営とそのために必要な支援についての協議を深め、地域に開かれた学校運営の実現を目指す。

○教育活動に係る支援

学校行事、学習活動、教員研修等の支援を行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、多くの地域の方々が関わり、学習支援、教育環境整備など、種々の場面で生徒たちのたちのために活動してくださり、「地域の子どもは地域で育てる」を実践しています。三代続けて、中には四代続けて五中に通うというご家庭もあり、学校と地域の結びつきは確かなものがあります。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



放課後学習会

本校では、「放課後学習会」「各種検定の支援」「学校図書館ボランティア」「体育大会・合唱コンクールなどの学校行事支援」「学習見守りボランティア」など、地域やボランティアとの協働を通して子どもたちの育成環境の充実を図っています。

特に力を入れている「放課後学習会」では、学校運営協議会が保護者・地域住民に広く呼びかけ、毎週水・木曜日に計50回以上実施しました。受付を担い、教員や大学生インターン、学習サポーターなど多様な支援者が学習を補助したことで、定期考査前には多くの生徒が参加し、学習意欲の向上や学力の定着に大きく寄与しました。

学運協委員と教職員の懇談会



学運協委員と教職員との懇談会を年に2回開催しています。時間をたっぷりとり、第五中学校の教育について深く語り合いました。



図書ボランティアおすすめの本

正面玄関入ってすぐの場所に、図書ボランティアによるおすすめの本の紹介コーナーがあります。多くの人が足を止めて見ていきます。

第六中学校

-- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

- すすんで学ぶ (知) ○ 思いやりを持つ (徳)
- 心身を鍛える (体) ○ 責任をもつ (責)

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

- ・学校運営協議会を年8回(うち、評議員会との合同会を3回、さらに、別途研修会1回)開き、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。
- ・年間行動目標を「学力の向上」「グローバル人材の育成」「いじめ対策」と、学校運営協議会として協議を行う。

○教育活動に係る支援

- ・教職員の勤務負担軽減への地域協力の在り方について検討していく。
- ・市立第三小学校との学校連携をさらに推進する。
- ・教育サポートセンターを中心とした、地域との協働による学習支援(マンデイなど)と放課後学習教室(寺子屋)を運営する。



-- 地域運営学校紹介 -----

第六中学校学校運営協議会は、別称～「青雲の学舎(まなびや)」づくり推進協議会～として、地域と連携した学習支援等が充実し、協働して生徒を育てる体制が整っています。校長を含めて、地域、保護者等の10名の委員で構成し、様々な教育活動等について協議しています。

-- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



放課後マンデイ活動・六中寺子屋

月曜日の放課後に1時間の放課後学習「マンデイ活動」を実施しています。六中教育サポートセンターに登録されたボランティアさんが、自学自習に取り組む「チャレンジクラス」への支援と、数学を苦手とした生徒を対象とした「サポートクラス」への個別学習支援を行っています。

また、定期考査1週間前には、平日の放課後に、「六中寺子屋」を1時間設定し、放課後補習教室を実施しています。自主学习・課題学習に取り組む生徒への個別支援を行っています。

さらに、音楽祭に向けて合唱における指揮者・伴奏者の個別指導をボランティアさんによりご指導いただいています。図書館の開館支援のボランティアを募り、放課後開館を実現しています。

放課後 生け花教室



毎学期4回、放課後に、六中教育サポートセンターに登録されたボランティアさんが、生け花教室を開催し、校内展示を行っています。

地域総合防災訓練



毎年9月に、地元20町会・青少対・学校運営協議会のご協力のもと、防災訓練を地域住民・保護者とともに取り組み、地域連携を深めています。

第七中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- 自己啓発力を持ち、創造性に富む人間
- ◎規範意識を持ち、社会貢献ができる人間(重点)
- 思いやりの心を持ち、感受性豊かな人間

■学運協運営目標

- 1 保護者を含めた地域住民の学校運営への参画として、学校運営協議会では、以下の3項目について見直し、組織を維持していくための在り方を検討する。
①地域連携 ②外部連携 ③防災/安全支援
- 2 第七中学校の生徒が生き生きとした学校生活送れるようにすることや、地域住民に張り合いや生きがいを創出することを実現するために、学校運営協議会では、以下の3項目について見直し、組織を維持していくための在り方を検討する。
①学習支援 ②環境支援 ③普及活動



--- 地域運営学校紹介 ---

本校の校訓「自主自律」、学校経営計画スローガン「児童・生徒の小中合同一体化」のもと、地域と共に健やかな生徒の健全育成を図っています。学校図書館や園庭など校内環境の整備、放課後学習「チャレンジタイム」の実施や登校支援ボランティアの予算確保に努めています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



来年度が楽しみです～花いっぱい運動(美化ボランティア)～

美化ボランティアの企画事業では、毎週、校内の草花、園庭の整備をしています。正門をくぐると、四季折々の草花が出迎えて心が豊かになります。年に一度、生徒の有志とともに、校庭の花壇にチューリップを植えます。入学式頃の開花が楽しみです。

さくらさくらが響きました～ゲストティーチャーの招へい(箏指導者)～

地域の箏指導者をゲストティーチャーにお招きし、第一学年全生徒を対象に音楽科の授業を実施しました。一時間だけでも、音が見違えるようになり、生徒たちは堂々とした姿勢で演奏していました。



読書を好きになってほしい！

図書ボランティアの企画事業では、定期的な蔵書整理、掲示物作成など行い、魅力的な選書、展示の学校図書館を支えています。



自分に克つ！

「チャレンジタイム」では、集中して学習に取り組む環境をつくり、生徒一人ひとりの学習に対する主体性を育てています。

ひよどり山中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

人権尊重の精神と学習指導要領の趣旨に基づき、知性、感性、道徳性や体力を育み、人間性豊かな生徒の育成、ならびにより良い生き方を求める生徒の自立と社会性の育成をめざす。

学校教育と社会教育の密接な連携・協働と適切なカリキュラム・マネジメントにより、新しい時代をたくましく生き抜く力の育成をめざし、以下の目標を定める。

- 自ら考え、進んで学ぶ生徒(賢く)
- 正しく判断し、責任ある行動をとる生徒(正しく)
- 心身を育み、優しくたくましい生徒(逞しく)

■学運協運営目標

○教育活動に係る支援

- ・本校の特色である農業・体験学習を引き続き推奨する。
- ・本校のレガシーとしての取組であるひよどり太鼓活動の指導・支援を引き続き行う。
- ・学力向上をめざした学習支援活動を引き続き推進する。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

放課後学習教室や青少対主催の活動など、地域ボランティアの温かい支援が、児童の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



学力向上部の活動～学習支援教室～

学校運営協議会設置当初より、生徒の基礎学力の定着・向上をめざした取組を展開してきました。令和7年度は、年4回ある定期考査前に「放課後学習教室」、7月下旬・8月下旬に「夏休み学習教室」をそれぞれ、地域の学習ボランティアと教職員が連携して開催し、英語・数学を中心として学習支援を行いました。

また、学力の充実を図りながら、達成感を味わう取組として、漢字検定、英語検定、数学検定に学校運営協議会を中心として取り組みました。



ひよどり太鼓

「ひよどり太鼓」は学校運営協議会が中心となって運営し、合唱コンクールのほか、地域行事にも参加しました。



大根の収穫

総合的な学習の時間に「農業体験学習」に取り組みました。地域で農業を営む方に「農業アドバイザー」として指導・支援していただきました。

甲ノ原中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- ・学校経営計画の重点目標である「確かな学力の定着と向上」「心身ともに健全な生徒の育成」を図る、を受け、学校運営協議会として学校・家庭・地域と連携しながら目標達成のために支援していく。
- ・学校運営協議会を年6回開催し、学校・家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

■学運協運営目標

1. 学習支援の強化
 - ・学習ボランティアの計画的な活用
 - ・自学自習機会の提供と運営
 - ・実用英語技能検定の実施
 - ・不登校生徒に対する登校支援(レク教室)
2. 図書室運営の支援
3. 地域貢献活動の推進



--- 地域運営学校紹介 ---

《学校運営協議会の運営方針》

- ・肩ひじ張らず力まない。
- ・小さくゆるやかに活動する。
- ・スモールステップ精神を大切にする。
- ・学運協委員の個性を活かす。
- ・教育活動や行事に積極的に携わる。
- ・開催通知は、メール等で発信する。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



図書ボランティア風景

平日の図書室業務やボランティア定例会を通じて、図書室運営と環境向上を支援しています。

チャレンジタイム ～学力向上の支援～

学校支援活動の一環として、生徒の学力向上と学習習慣の定着を目指した支援に取り組んでいます。定期テストに向けた学習支援や自学自習の支援「チャレンジタイム」の運営補助を行っています。希望者を対象に、毎週水曜日の放課後および夏季休業中に全学年へ向けて実施しているほか、冬季休業中には受験を控えた3年生を対象に開設しています。地域ボランティアの皆様による温かいご支援と見守りが、生徒一人ひとりの主体的な学びと成長を支援しています。



小さな冬の音楽会風景

青少対の音楽会や標語清掃等の活動参加を通じ、地域貢献に取り組む甲中生の育成を支援しています。

石川中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

徳(心を広くもつ)

自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができる。

知(よく考え勉強する)

学び合い、支え合い、高め合える集団づくりを通して、「知識及び技能等」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3つの資質能力を高める。

体(からだをきたえる)

学校行事や体育的活動等を通して、心と体を鍛える。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校・家庭・地域の信頼関係を深め、連携を強化することで学校運営の改善や子どもたちの健全育成を図り、地域に開かれた信頼される学校づくりを目指す。

○教育活動に係る支援

- ・校内、大会等における運動活動の見守り
- ・地域人材を活かした教育(武道)
- ・学校コーディネーターによる教育活動への支援



--- 地域運営学校紹介 ---

学校運営協議会委員は生徒及び教員との懇談会を実施しています。また、学校行事や授業を積極的に参観しています。生徒と一緒にあいさつ運動にも参加し、地域の身近な大人として、生徒・保護者にも周知され、様々な相談を受けています。学校運営協議会が学校運営を十分に支援しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



小中一貫教育「意見発表会」～授業等の参観における支援活動～

本校では、生徒の思考・判断・表現の力を向上のため、生徒が新聞を読む時間を設けています。小中一貫教育では、2学年生徒が新聞記事から考えた意見を発表する「意見発表会」を青少対主催で実施しています。また、学校運営協議会委員が道徳授業地区公開講座を授業参観することにより、現在の道徳授業への理解を深め、生徒の思考活動の様子を直接見て、教員への授業展開について活発な意見交換を行っています。生徒の育成と教職員の指導力向上につながっています。



あいさつ運動

学校運営協議会委員も参加し、「あいさつ運動」を行っています。生徒にとって地域の大人が身近に感じる機会になっています。



生徒との意見交流会

生徒との意見交流を行うことで、生徒が考える本校の良さや課題を確認し、学校運営協議会での熟議に生かしています。

横山中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

校訓

自律 協同 勤勉

教育目標

- 進んで学習し、よく考える人になろう。
- 礼儀正しく、思いやりのある人になろう。
- 心身をきたえ、ねばり強い人になろう。
- 広い視野を持ち、社会に役立つ人になろう。

■学運協運営目標

「人に優しく温かい関係」

- ・横山中学校と保護者・地域の皆さんが子どもの健やかな成長のために考え、話し合える環境を作る。
- ・横山中学校を地域コミュニティの中心となるように育てる。
- ・学校運営協議会として学校・地域・保護者が一体となって多様な学校支援活動や居場所づくりの活動を行う仕組みを構築する。



--- 地域運営学校紹介 ---

平成26年度の学校運営協議会発足時から横山中学校を地域のコミュニティの中心となるように支援し、横山中学校の学校力、生徒育成力の向上を目指しています。各種検定や地域交流活動など、地域ボランティアの温かい支援が、生徒の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



地域人材を活用した居場所づくりで不登校対応をすることができています。また、学習環境を整えるために、年に2回PTAと協働しながら花壇整備を行っています。

地域との連携

地域の中核になるために、クリーン作戦(地域清掃活動)(10月)、ロードレース大会(12月)、防災フェスタ(3月)などの健全育成に関わる行事を行っています。

10月に予定していたクリーン作戦はあいにくの雨のため中止になってしまいましたが、小学生や地域の方々と交流を深めるためにゲームなどで遊びました。毎年12月に行われているロードレース大会は、令和7年度で、42回目を迎え、参加人数も小学生を含めて154名が参加し盛んに盛り上がりました。平成23年に発生した東日本大震災の反省から、子どもたちに地域の一員であるという自覚をもたせ、災害が発生した時には、地域・保護者(家庭)・学校が協力して、適切かつ迅速に対応できる体制作り及び組織の推進を図るとともに、防災の意識を高めていくことを目的として、平成24年から実施してきたものです。この行事を通して、小・中学生の防災意識が高くなり、災害発生時には率先して動いてくれるものと期待しています。

長房中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

<本校の教育目標>

健康で心豊かな人間形成を目指し

・自らをきたえ向上をめざす人

・正しさをつらぬく勇気と責任ある人

◎思いやりをもち協力のできる人を育てる

(困難な場面でも解決しようとする主体的、協働的に取り組む力)

校訓

「強く、正しく、美しく」

■学運協運営目標

学校での生徒たちのようすや学校運営協議会の運営等を含め、広く地域に広報し支援の輪を広げる。

家庭の人間関係や学習等が原因での不登校生徒が全都的にも増加の傾向であるが、本校でも増加の傾向があり、担任の先生を中心に空き時間に面談等を実施し対応している。しかし、個々の生徒に教員が対応するには時間等限界があるため、令和4年度に不登校生徒対応の学校内の居場所作りの検討を行い、毎週木曜日に民生委員を中心とした見守り教室を開始した。現在、月・水曜日は校内別室指導支援員、火曜日はスクールカウンセラー、金曜日は不登校対応巡回教員により、毎日の受け入れ態勢が確立された。これを機に不登校ゼロをめざしていく。



--- 地域運営学校紹介 ---

落ち着いた環境、落ち着いた生徒の授業態度の中で、生徒の基礎学力の定着と更なる学力の向上をめざす。

- ・基礎学力の定着と学習習慣の育成
- ・授業内容の改善、生徒の習熟度の向上
- ・挨拶や礼儀の徹底

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



英検対策教室

教育委員会や学校の運営方針に沿った、学校における地域住民等による学校運営を支援するボランティア活動。いわゆる、「学校支援活動」として、「英検」の際の一次試験対策、当日の試験監督、二次試験対策を行いました。

一次試験対策は、あくまでも自習形式であり、質問があれば担当が答える体制で行いました。二次試験対策は、実際の試験形式で模擬面接を行い、本番に備えました。過去4回にわたり、二次試験対策参加者の合格率は100%でした。



園芸ボランティア

園芸ボランティアは季節に応じて、花壇の整備、落ち葉掃き等で美化活動を推進しています。



図書ボランティア

図書ボランティアは月1回程度、書庫整理、展示物作成等を行い、読書活動を推進しています。

梶田中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○進んで学習する人になろう[学習]

生涯学習の基盤となる知識や技能を定着させ、主体的・対話的な活動を通して、学習意欲や思考力、判断力、表現力を育成する。

○仕事に精を出す人になろう[勤労]

学級や生徒会、行事等の活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、良い学校づくりに参画しようとする実践的な姿勢を育てる。

○心身ともに健康で思いやりのある人になろう[健康・思いやり]

学校生活全般を通じて規範意識や他者を思いやる気持ちを育て、自他の心身の健康や安全に配慮した生活習慣を身に付けさせる。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

会議を通して、学校の教育活動についての理解を深め、指導・助言を行う。

○教育活動に係る支援

花壇の整備を通して、潤いのある学校生活の援助を行う。

支援ルーム「ひだまり」の運営を通して、教室に入るのが困難な生徒の居場所づくりを行う。

学習支援サポーターの募集や講演会運営の支援を行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した行事の運営や学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

支援ルームの運営や授業での学習支援など、地域ボランティアの温かい支援が、生徒の学びと成長を支えています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



地域のボランティアと連携した登校支援ルーム「ひだまり」の運営

本校では、不登校生徒や登校を渋る生徒の居場所づくりや、学習支援を行う登校支援ルーム「ひだまり」を地域のボランティアの方々と連携し運営している。「ひだまり」を安定的に運営できたことで、不登校生徒が引きこもりにならず、定期的に通学してくるきっかけとなっています。

また、授業中での学習支援を行う地域のボランティアの方々も募り、授業での個々の生徒の理解促進や作業などでの困難な場面のサポートを行い、生徒のつまづきの解消や学習支援を行うことができています。



花壇の整備

花壇整備の活動は、明るい校内環境を作り、入学式、卒業式の会場内外を花で飾り、生徒を祝う雰囲気自然に生み出しています。

学生企業家によるキャリア講話



キャリア教育の一環として、八王子出身の若き学生起業家を招待。身近な話題で興味を喚起しながら将来に向けて生き方、働き方を考える機会を作ることができました。

元八王子中学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

- 学ぶ心をもつ生徒
主体的・対話的で深い学びを通して、よりよく生きる力や確かな学力の育成を図る。
- 自主の心をもつ生徒
他者との協働の中で主体性を身に付けさせ、やり抜く強い意志を育む。
- 思いやりの心をもつ生徒
互いを思いやる心や感謝の念の心を育成するとともに、社会をよりよく生きるために、自制心や豊かな心を育成する。

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議
学校と地域との関わりを深め、生徒が、落ち着いた学校生活を送れるように、また、問題行動等の未然防止、早期解決につながるように教育活動への助言等をする。
- 教育活動に係る支援
生徒の学習意欲向上を図るために、各種検定試験の企画とサポートを実施する。また、学力向上のために学校図書館の環境整備をする。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、地域との関りを深め、学校と地域が連携し、学校だけでなく地域全体で生徒を育てる風土があります。放課後学習教室や各種検定試験などをボランティアの方々に支援していただき、学校目標の達成をめざしています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



3校合同学校運営協議会

本校では、地域の子どもたちを9年間見通した小中一貫の視点で協働して育てていくために、元八王子小学校、式分方小学校と3校合同の学校運営協議会を実施し、情報共有と共通理解を図っています。

地域の方を学習ボランティアとして放課後学習サポート教室を年間20回実施しました。また、英語検定試験・漢字検定試験も実施し、生徒の学習意欲の向上や学力の定着を図りました。



読書したくなるな～

図書館ボランティアの方々に、生徒たちが主体的に読書を楽しめるような図書館の整備をしてもらいました。



充実した意見交換!!!

生徒会との懇談会を実施、生徒たちの意見を直接聞き、生徒たちが安心して過ごせる学校環境づくりの手伝いをしました。

四谷中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

人権尊重の基本に立ち、生徒一人ひとりの生命と人格を尊重した教育を推進する。未来への夢や目標に向かい強い意志で自らを律し、その実現に努めるとともに、正義感や公正を重んじ、たくましく生きぬく力を身に付けた心身ともに健康な生徒の育成をめざし、次の目標を設定する。

- すすんで学習し、ねばりづよく努力する人
- みんなと協力し、仕事に責任をもつ人
- 豊かな心を持ち、正しい行動のできる人

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議

学校・家庭・地域の協力関係を深め、連携を強化することで、地域に開かれた信頼される学校づくりをめざす。

- 教育活動に係る支援

学校運営協議会の授業参観、学校行事への参加、広報活動を通して、学校・家庭・地域の連携を図り、生徒の健全育成を行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した学習支援や居場所づくりが充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

学習教室や部活動の交流活動など、地域ボランティアの温かい支援が、生徒の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



ラベンダーの刈入れ～ラベンダー活動～

学校が地域コミュニティの中核になってほしいという願いから、ラベンダーが咲く6月の学校公開日にあわせて、学校運営協議会主催の地域交流カフェ「ラベンダーカフェ」を開催しました。

ラベンダーカフェでは、子育てのことや不登校の問題、進路の問題など、悩みごとを学校コーディネータや学校運営協議会のメンバーが相談に応じ誰もが気軽に立ち寄れるくつろぎの空間を作り出しています。回を増すごとに来校者は増え続け、地域の方の交流の場となっています。また、四谷ハンズと四谷ガーデン倶楽部とのコラボで栽培しているラベンダーは、初夏に花を刈り取り、乾燥させて、手作りのポプリの袋やラベンダースティックを作成して販売しています。



個別学習

地域人材を活用した授業サポートや学習教室を実施しており、個別指導や少人数指導の学習形態で丁寧に学習支援を行い、居場所づくりや不登校対応をすることができています。



英語検定

学力向上のために年に2回漢字検定と英語検定を実施している。年々受検者数も増加し、今年度は過去最高の、延べ100名以上が受検しました。また、受検者の中には地域の小学生もいます。

城山中学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

○学ぶ

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、自己の課題を把握し、その達成に向けて粘り強く取り組む生徒を育てる。

○鍛える

学力・体力ともに、自己の取組課題の達成に向けて主体的に取り組む生徒を育てる。

○思いやる

自己の存在感を実感し、多様な他者と合意形成を図り、より良い人間関係を形成しようとする生徒を育てる。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

地域人材を活用した部活動改革の推進とPTA組織の改革を推進を図り、地域に開かれた学校づくりをめざす。

○教育活動に係る協議

不登校生徒の居場所づくり支援と、地域防災活動及び学校施設環境整備支援を通して、生徒の健全育成を行う。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、地域とのつながりを大切にし、生徒の居場所づくりに加え、地域・家庭・学校が手を取り合って子どもを見守り、育てる体制が整っています。豊かな自然環境を生かした学校施設環境の整備など、生徒の健全育成を支えています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



通学路をきれいにしよう！落ち葉掃き活動

本校は自然豊かな立地のため、春の桜、秋の紅葉だけでなく、一年を通して様々な植物(もちろん動物も)を楽しむことができます。その反面、散った花卉や落ち葉など、清掃活動が必要になってきます。生徒だけでなく、地域の方々と一緒に清掃活動をしています。

また、本校の向かいにある「高尾の森自然学校」のみなさんとも一緒に活動をしました。集めた落ち葉は自然学校の所有するコンポスターに入れさせてもらい、自然の循環についても学ぶことができました。



地域の防災活動にも参加

地域主催の防災活動に参加し、中学生にできることを一緒に考えました。



地域行事で成果を発表

地域で行われる行事にも積極的に参加し、多くの方の前で練習の成果を発表します。

恩方中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

『主体的に生き、豊かで逞しい人間の育成を目指して』

- 自ら考え、学ぶ人
- 理解し合い、協力する人
- 健康で心の豊かな人

—令和7年度の重点目標—

- だれでもが安全で安心して過ごせる学校
- 生徒が興味・関心・意欲を持って、授業が受けられる学校
- 生き生きと自己実現できる学校

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議
 - ・ 教育目標をめざして、学校・家庭・地域の協働を推進する。
 - ・ 学校運営協議会を原則月1回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりに取り組む。
- 教育活動に係る支援
 - 年間行動目標を「学力向上」として、学校運営協議会として協議した企画に取り込む。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、「学力向上」の推進を図り、その具体策として「放課後基礎教室」、「英検・漢検の実施」、「疑似入学面接」などを実施しています。また教員と地域の伝統文化に触れる「恩方探訪」を開催。さらに姉妹校の北海道苫小牧市立勇払中と交流のための修学旅行に委員も同行しました。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



先生とのしゃべりも勉強になります～放課後基礎教室～

本校は、基礎学力の定着を図るために、毎週水曜日に「放課後基礎教室」、定期テストの直前には「定期テスト直前教室」、そして夏休みには「夏休み基礎教室」、春休みには「春休み基礎教室」を、教員や、地域の学習ボランティアの協力で開いています。また、英検・漢検をそれぞれ年に3回実施し、近隣の小学生をはじめ、高校生、社会人、保護者などが参加し、検定試験前には対策教室を複数回開いています。

また、地域の運動会や防災教育にも積極的に協力しています。さらに恩方の伝統文化をより浸透させるべく新任・転任教員対象の地域巡検の「恩方探訪」は教員と委員との楽しい行事の1つとなっています。



合格のために頑張ります！

本校は、高校の推薦入試を受験する生徒が多く、委員が面接官になる疑似面接会を開催。緊張している生徒を前に、委員も緊張しました。



綺麗な床で心もスッキリ

夏休み前の大掃除に、委員も参加し、生徒や教員と一緒に、普段できない特別教室の床にワックスをかけ、達成感や一体感を実感します。

川口中学校

-- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

【教育目標】

- 進んで学ぶ人
- 心身を鍛える人
- 責任を重んじ、豊かな心の人

【目指す学校像】

- 安心して安全に学校生活を送ることができる学校
- 「確かな学力」を身に付けさせる学校
- 良さが伸ばされ、生かされる学校
- 地域社会と連携する温かい学校

■学運協運営目標

校長の経営方針にある「豊かな心の育成」の為に、学校・家庭・地域の協働を学校運営協議会として推進していく。

- ・学校運営の成果と課題、現状についての理解を深め、学校運営協議会としてより良い学校運営を支援していく。
- ・教職員との懇談会(年2回)を新たに設定し、学校の現状や課題を共有する機会を設置する。
- ・教育活動その他の学校運営が適切に行われているかを把握し、学校評価の結果を公表、説明することにより、学校・家庭・地域が一体となった学校づくりを推進する。



-- 地域運営学校紹介 -----

本校は創立79年を迎え、地域教育の拠点として、長年、地域住民に愛され支えられて教育活動を行ってきました。地域運営学校の強みを最大限いかし、地域の声を聴きながら、地域の方々と共に、川口地域をよりよく発展させていきます。

-- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



しっかり勉強しましょうね！

定期考査前には放課後学習教室を開催し、学運協委員の方々が支援してくださいました。

大盛り上りの懇談会！年に2回、教職員との懇談会

本校では令和7年度から、教職員との懇談会を年間で2回設定し、教職員と共に活発な意見交換を行いました。全体会の後の各分科会の時間では、冗談も交えながら、終始笑顔の絶えない懇談会となりました。

懇談会の中では、学運協の委員の方々から力強いメッセージを多くいただきました。会長からは、「先生たちを応援するのが学運協の役目」と背中を押される温かいお言葉をいただき、学校の現状や課題について深く語り合うことができました。

キャリア教育の一環として、学運協が橋渡し役になり、地域住民から職業に関する話をうかがうことについても話題にあがりました。

学校関係者評価でいただいた学運協からの貴重なご意見を学校経営報告に生かすとともに、次年度の学校経営計画にも反映させました。



元気に育ってね！

花植え(花壇、プランター)の整備を本校ボランティア部の生徒とともに協働して実施しました。

檜原中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

開校時から掲げる本校のめざす生徒像

- 深く考え自ら学ぶ生徒
確かな学力の育成
- ◎ 思いやりのある心豊かな生徒 【重点】「自他に優しく大切にする力」
豊かな心の育成
- 健康でねばり強い生徒
健やかな体の育成

■学運協運営目標

- 保護者と地域住民と教職員等、互いの意向を適切に把握する機会を積極的に設定し、協議を重ねることで情報共有を一層深め、学校支援体制を強化する。
- 檜原中学校の生徒がこの地域で充実した中学校生活を送り、自信をもって社会に出ていけるよう、地域の方々にも御協力いただく。
 - ①「困っている時に助けてもらえる」という体験を積ませる。
 - ②学ぶことに前向きな気持ちを持てるように支援する。
 - ③多様な学運協メンバーによる檜原中学校学運協ならではの特色ある学校支援に取り組む。



--- 地域運営学校紹介 ---

保護者と地域住民と教職員等、互いの意向を適切に把握する機会を積極的に設定し、情報共有を一層深め、学校支援体制を強化しています。
檜原中学校・檜原小学校・陶鎔小学校との3校合同学運協ではセーフティー教室を参観し、委員も学び委員同士で意見交換、情報共有もしました。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



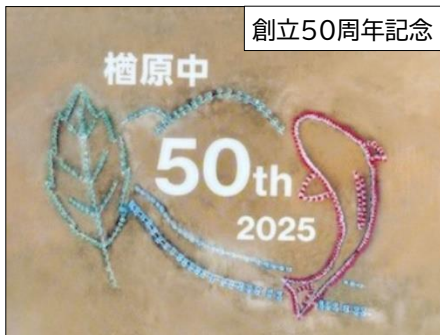
生徒の登校支援室「ポケットルーム」「ポケットクック」の実施

学校に登校できず、なかなか教室に入ることができない生徒を対象に「ポケットルーム」として毎週水曜日・木曜日・金曜日に図書室にて学習支援や創作活動、話し合い活動等を実施しました。

また、学運協委員の自宅にて「ポケットクック」として料理教室を実施し、生徒同士の交流を行いました。

学校に少しずつ慣れていく取り組みを通じて、様々な活動に参加できるように、これからもサポート体制を充実させていきます。

創立50周年記念



創立50周年記念行事として、記念式典をJ:COMホール八王子にて開催しました。また全校生徒が参加し、記念写真を撮影しました。

放課後学習教室



中学校版放課後子ども教室として大学生ボランティアによる学習支援の定着と活性化を促進しています。

由井中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

「自立・貢献・そして挑戦」を教育理念とし、新しい時代を担う知・徳・体の調和のとれた生徒の育成をめざして、次の教育目標を定める。

- ・自ら考え、学習する生徒
- ・思いやりのある礼儀正しい生徒
- ・正義を愛し、心豊かな生徒
- ・体を鍛え、くじけない生徒
- ・進んで社会に奉仕する生徒

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

小中一貫教育グループにおける義務教育修了段階において育成すべき生徒像「自分で考え判断し行動できる生徒」「社会に貢献できる生徒」「夢をもって挑戦できる生徒」の実現に向けて、学校、家庭、地域との連携・協働を図り、本校の特色を生かしながら推進する。

○教育活動に係る支援

・地域と学校が本校の教育理念、教育目標を共有し、相互にパートナーとして連携し、学校を核とした協働的な活動が行えるよう支援する。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した教育支援が充実しており、学校・保護者・地域と協働して子どもの成長をチームで支える体制が整っています。

校内別室指導や放課後学習教室などにおいても、地域ボランティアによる温かい支援が生徒一人ひとりの学びと成長を支えています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



地域連携授業CC大作戦

地域連携授業CC大作戦

青少年対策由井西地区委員会、PTA、GSO(おやじ会)、学校運営協議会が連携し、地域の清掃活動と災害時に備えた避難所受付訓練を実施しています。本活動では、近隣の小学校や地域と連携し、各拠点から本校に向かって清掃活動を行うとともに、避難所受付訓練の一環として、生徒が炊き出しのカレーを地域の参加者に振る舞っています。

これにより、生徒の「助けられる側から助ける側へ」という意識の醸成を図るとともに、学校と地域との交流を深める貴重な機会となっています。



救急救命講習

消防署と連携し、毎年2学年で心肺蘇生やAEDの使用法、止血法などを学びました。実施後は救命技能認定証が付与されました。



いのちの授業

八南助産師会による授業を全学年で実施しました。学年の発達段階に応じてテーマを設定し、生命の大切さを学ばせています。

打越中学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

- 自立
よく考え確かな知識を身に付ける。
- 尊重
互いに協力し、思いやりのある人になる。
- 貢献
健康な体をつくり、働く喜びをもつ。

■学運協運営目標

- 学校運営にかかる協議
学校運営協議会を定期的に行い、教職員との面接交流を通じて、家庭・地域と連携した学び合いを重視した学校づくりを推進する。
9年間を見通したキャリア教育、修学旅行先の選定等を進めるために、協議会で綿密に話し合い、生徒、保護者、地域の理解を得ていく。
- 教育活動にかかる支援
実用英語技能検定等の各種検定試験を実施するとともに、授業の学習支援を行い、学力の向上を推進する。
地域の関係機関と連携しながら防災訓練を計画し、さまざまな災害に対応することができるよう、防災教育を支援する。



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、地域と連携した学習支援・居場所づくりや生徒のボランティア活動の支援等を積極的に行っています。保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



地域と連携した総合防災訓練

コロナ禍前まで、各町会自治会、学校と個々に防災訓練を行い、学校と地域が連携した総合防災訓練「地域と共に・打越中防災フェスタ」を実施してきました。学校と学校運営協議会が主体となり、各町会自治会、青少対由井東地区委員会、打越中学校区の小学校、PTA、関係各機関が連携して行ってきました。

昨年度からこの事業を復活させるべく、学校運営協議会、市防災課、消防署、日本赤十字社、各町内会とともに、「防災訓練」を実施しました。中学生の防災意識を高めるとともに、地域の方と一緒に訓練を行い、交流を深めることで、地域の一員であることの自覚を促しました。万が一の災害時に中学生が少しでも地域の力となるようにすることをねらいとし、この取組を企画・実施しています。



学習支援

放課後学習教室(マイスタールーム)として、毎週月曜日の放課後に教室を開放して落ち着いて学習できる環境を整えています。



ボランティア活動の推進

地域の行事や活動への打越中学生の積極的な参加を促しました。青少対主催のクリーン活動では、多くの生徒が参加し、地域貢献への意欲の高まりがみられました。

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

★校訓★『誠実』・『自律』・『調和』

1 教育目標

自ら、確かな学力、豊かな人間性や社会性、たくましい体を主体的・創造的にはぐくみ、その能力等を、自己実現及び社会の発展のために発揮できる生徒を育成する。

◎ 自ら学び考え行動する生徒(本年度の重点目標)

○ 豊かな心を持ち、思いやりのある生徒

○ 心身ともに健康で、たくましく生きる生徒

■学運協運営目標

○ 学校運営協議会の活動の維持、発展を図る

総務、支援、評価の3本の柱の担当と活動内容を協議する

○ 生徒会役員と連携した取り組みを行う

年1回生徒会役員との懇談会を実施

○ 漢字検定、英語検定を実施する

PTA・地域と連携して各種検定を実施する



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は高尾山のもと、自然豊かな地域で、都内で唯一学校林・栗山を有している。

本校運営協議会は、①総務部②支援部③評価部の3本の柱からなり、それぞれが協働して運営をしている。また、漢検、英検も実施して生徒の学習の一端を担っている。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



意見交換！生徒会役員との懇談会

総務部が中心となり、12月に生徒会役員と学校運営協議会委員との懇談会を行いました。

生徒会役員、担当教員、校長先生、副校長先生と学校運営協議会委員が集まり、意見交換をします。

生徒からの意見や展望、要望を伺うと、改めて生徒が考えていることや生徒目線の困りごとなどがわかります。また、委員からは地域での役割や活動内容、問題解決へのアドバイスなどを話し、お互いの理解を深めています。

この会議がきっかけとなって始まった生徒会主催の作品展示会「アサテン」はすっかり軌道に乗り、浅川中独自の恒例行事になりました。



4月、9月、1月に小中合同で行いました。生徒、教職員、保護者、地域から約100名が参加しています。通学路の各所で朝の声掛けをしました。子どもたちからも元気な声が返ってきて励まされます。



小中連携

9月に小中合同協議会を行いました。キャリア教育について学校から説明を受け、地域で協力できることについて意見交換しました。

陵南中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

○教育目標

自ら学び工夫し、思いやりの心を持ち、からだを鍛える生徒

○重点目標

自ら学び工夫し何事に対してもうのみにせず、自分事として考え、行動していく。

○重点目標達成のキーワード

「対話」「尊重」「創造」

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

学校運営協議会を年11回行い、学校とともに家庭・地域社会が連携した学校づくりを推進する。

○教育活動に係る支援

教育活動に係る支援目標を「学力向上と生命尊重教育」とし、学校運営協議会として協議を行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、「地域の教育力を借り、地域とともに発展する中学校を核とした地域運営学校」を目指した活動を行っています。

「学習支援」、「地域連携」、「学校運営」の3つの柱を軸に、地域とともに歩む開かれた学校づくりを推進しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



花いっぱいの学び舎に～花と緑に囲まれた学び舎をめざす取り組み～

陵南中学校では、花と緑が発揮する自然の力を借りてさわやかな気持ちで学校生活を送ることができる「心和む空間」の環境づくりに力を入れています。正門・東門の入口や校舎内に設置された花壇、校舎周りに配置しているプランターで四季折々の花を咲かせ、「花いっぱい」の学び舎としました。

この活動の担い手は、生徒たちを中心に、地域ボランティアの方々、教職員、保護者たちで、月1回の活動を長年にわたり継続して行っています。



審査会後、達成感に満ちて

空手同好会は、小学生から大人まで、多くの年代の方が加入して、日々切磋琢磨しています。体育大会では演武を披露しました。



重厚な響きが会場を包む

陵南中学校和太鼓の会(陵南翼太鼓)が浅川市民センターまつりに出演しました。力強く打ち出される勇壮な響きは観客を一瞬で引き込みました。

由木中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

- 豊かな心をもち、優しく強い人
- 心身の健康に努め、夢と志を抱く人
- 向上心と主体性に富み、ともに学ぶ人

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議
 - ・学校運営の基本方針や教育活動について学校評価を行い、地域とともにある学校づくりをする。

- 教育活動に係る支援

- ・学校図書館の活用を活性化させ、広義の学力を向上させる。
- ・ボランティア活動を推進し、社会や地域に貢献する生徒を育てる。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、放課後の補充教室、花いっぱいプロジェクト等を通して、保護者と地域と学校が協働して子どもを育てる体制づくりを目指しています。地域ボランティアの温かい支援が、生徒の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



ビブリオバトルの様子



ビブリオバトルでは発表者が観戦者の前で1冊の本の良さについて、その良さや面白さについて語ります。何人かの発表を聞いて観戦者は最も読みたいと思った人に投票します。学校司書も参加します。読書を通じた交流をすることで読書の楽しさを味わうことができるようになりました。

楽習会の様子

教育活動に係る支援及び地域と連携した取組に関することとして平成28年度から始まった本活動は、毎週水曜日の放課後に学校図書館を利用して生徒の勉強会を行っている。学習ボランティアとして地域の方に入っていただき、数学や英語等の基礎学習を中心に授業の補習や宿題などの学習サポートを行っています。

名称を「楽習会」いいます。その名称のとおり強制的な勉強会でなく「楽しい場所と時間」となるように、コミュニケーションをとりながらの活動として大切にしています。

令和7年度は6月から3月まで27回実施しました。



花壇に苗を植えている様子

花いっぱいプロジェクトでは春に花開く花の苗を校庭にある花壇に植える活動を行っています。令和7年度は11月1日に土つちおこしを保護者16名で、11月29日には教員・保護者・地域の方で約100名が参加し花の苗を花壇に植えました。自然を愛する心情を育てることを目的としています。

松が谷中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

進んで学び、よく考える人
正義を愛し、心の豊かな人
体を鍛え、健康な人

■学運協運営目標

- ・学校、家庭、地域諸団体等との連携、協力を推進し、学校運営協議会の責任を果たすとともに、松が谷中学校の生徒の健全育成、学力の向上を図る。
- ・小中一貫教育の推進、3校(鹿島小、松が谷小)合同の学校運営協議会の開催を年2回行う。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域と連携した放課後自習教室の開設(週2回)や英語と数学の検定試験監督の地域ボランティアなどを通じて、生徒の学びと成長を後押ししており、地域との温かい交流が根付いています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



災害訓練(防災学習)

総合的な学習の時間に位置付けた安全学習の一環として、災害が発生した場合に被害を最小限度に食い止めるために、自分たちに何ができるかを学習し、防災に対する行動力を身につけることを目的に、2年生を対象に行いました。

松中サポーターズクラブ(MSC)、東京消防庁八王子消防署由木分署、八王子市消防団第12分団の協力を得ました。

火災煙体験、初期消火訓練、負傷者手当訓練、応急救護訓練、消防団講話、起震車体験などをしました。



創立50周年記念式典を10月に実施しました。6月には卒業生による講演会も企画しました。



1月に小学生を招いて、体験授業を実施しました。数学、音楽、道徳の授業をしました。

中山中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

【目指す学校像】「楽しい学校 誇れる学校」

“生徒が自らの進路を自らの手で切りひらく力を育成する学校”の実現

【目指す生徒像】

- (1)主体的に学び、行動する生徒 ～よく勉強し～
- (2)互いを認め、支え合う生徒 ～よく働き～
- (3)夢をもち、自己実現を目指す生徒 ～よく鍛える～

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

- ・中山中学校区学校運営協議会が「共に育てる」という理念で連携し、地域とつながる学校づくりを推進
- ・学校・家庭地域の連携・協働による学校の活性化
- ・「目指す学校」実現に向けた学校支援体制の構築

○教育活動に係る支援

- ・「地域運営学校」を基盤とした特色ある小中一貫教育の推進
- ・PTA杉の沢会と連携した、生徒のより良い成長の支援



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、運営体制を【かんきょう「環境整備支援」】、【まなび「学習支援」】、【あんしん「安心・安全」】、【びいく「花・情操・交流」】の4つの項目に分けて、生徒の学びと成長、学校の環境、施設の充実に」向けて、支援を行っています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



本校の「中山里山クラブ」、PTAと連携して、畑や花壇の整備を定期的に行っています。



各教室にきれいな花が～花一輪の活動～

平成25年度から花をとおして心を癒し、情操を高めて欲しいとの願いから活動を開始しました。月に1度、地域の方から花をいただき、各教室、職員室、保健室、校長室、応接室に花を届けています。

令和7年度からは、花の仕分け、分配、花瓶へ生けるの作業を「中山お話しサロン『風』」の活動として、生徒と地域の方々との共同作業で行っています。



令和7年度から月2回、生徒・保護者・教職員・地域の方々の居場所となるサロンを校内に開いています。

南大沢中学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

○よく学び 創造する生徒

○進んで協力し 思いやりのある生徒

○健康で 逞しい生徒

■学運協運営目標

地域の活力を活かした学校づくり

地域の学校としての南大沢中学校づくりの推進

学校運営協議会の活動を通じた学校教育の充実

学校ボランティアや学校サポーター、学生ボランティア等人材の確保

小中一貫教育南大沢中学校グループでの共同活動を促進

学校の教育計画に基づいた学習活動・校外活動の推進



--- 地域運営学校紹介 -----

南大沢中学校学校運営協議会では、「おはコミ」「地域防災」「学習支援」を3つの柱として、学校と家庭と地域が連携した活動を推進しています。教育活動の見守りや支援、防災活動、地域人材を活用した学習支援などに携わり、生徒の健やかな成長を支えています。また、地域の方々からの協力を得ながら、生徒の学びや安全、安心を支え、「地域とともにある学校づくり」の実現に向けて取り組んでいます。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



楽しくおいしくいただきました！給食試食交流会

子どもたちを育む温かい環境をつくるためにも、地域(南大沢中・柏木小・南大沢小)の大人同士のつながりを広げるために、保護者やボランティアをはじめとした地域の方々を対象に給食試食交流会を実施し、交流や情報交換を行いました。

放課後自習(学習)教室

学習習慣づけや各種検定取得にむけて、都立大学生の学習ボランティアの協力を得て、毎週月曜日の放課後に実施しました。また、定期考査前にも学年ごとに学習教室を開催し、学習意欲向上や学力定着につなげることができました。



みんなで学習習慣をつけよう！



なりたい自分にむかって！

小中一貫教育南大沢中学校グループ校の地域の方々をお招きし、1学年生徒を対象としたキャリア教育講演会を開催しました。

笑顔でさわやかな朝です！



学校と地域のつながりを深めるため、毎月第3水曜日の朝に、挨拶運動(おはコミ)を実施しました。

宮上中学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

21世紀を人間性豊かにたくましく生きる生徒の育成を図るために以下の3点を目指す生徒像として設定する。

- よき社会人となるための努力を惜しまない生徒(基盤)
- 自ら積極的に学ぶ生徒(知)
- 心身の健康の保持増進に取り組む生徒(徳・体)

特に、自ら意欲的に学校生活に取り組む姿勢を育てるため、学校行事への取組を充実させる。

■学運協運営目標

- 学校運営に係る協議

校長の作成する学校経営計画を承認し、学校運営に関する課題の共有と意見・提案を行う。

- 教育活動に係る支援

地域への広報活動を行い、地域連携活動の推進と学校協力人材の導入を図る。特に、生徒の学習支援、英検や漢検の地域共同実施、その他教育活動全般への支援を行う。



--- 地域運営学校紹介 -----

開校38年目を迎える本校は、多摩ニュータウンの拠点となる京王相模原線南大沢駅から徒歩8分の交通至便な場所に位置しています。平成19年度から地域運営学校として地域と共に歩む学校づくりに努めています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICK UP !



土曜学習ひろばの様子

年間4回ある定期考査の前に、「学習ひろば」を開催しました。

PTAの学習支援部と学生ボランティアが中心となって運営し、自分から主体的に学習できる静かな環境を提供しています。

生徒は自ら希望して学習ひろばに参加し、質問があれば学生ボランティアに聞き、疑問を解決していきます。



1組の前の廊下は、卒業式前にとってもきれいに飾りつけされます。3年生の旅立ちを祝う気持ちが伝わってきます。



どの生徒も真剣に学んでいます。勉強の仕方も身に付けていきます。

別所中学校

--- 目標(令和7年度) -----

■学校目標(教育目標)

基本理念「笑顔あふれる明日も行きたくなる学校」

教育目標

- 健康で心の豊かな人になろう [健康]・・・ 健全な心身
- よく働き、よく学ぶ人になろう [勤勉]・・・ 確かな学力
- 思いやりのある人になろう [協力]・・・ 豊かな感性

目指す学校像

「生徒(夢)、保護者(願い)、地域(思い)の信託に応える」

～チーム別所中～

■学運協運営目標

- 学校経営計画の『方針と目標』を学校と共有し、目標の達成(課題解決)を効果的に実施する
- 地域の人材のリソース(知恵・工数)を投入することで、地域学校協働活動グループの拡大と組織化を図る
- 学校経営計画(中長期)の3つの柱の検討部会設立
 - ①小中一貫教育 ②学習内容の充実と定着 ③個々に応じた指導



--- 地域運営学校紹介 -----

本校は、地域と連携した学習支援等の活動が充実し、保護者・地域・学校が協働して子どもを育てる体制が整っています。

多彩な学習教室の実施、英検の校内実施などには、30名を超える地域ボランティアの支援が、貢献しており、生徒の学びと成長を後押ししています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) -----

PICKUP !



地域の熱心で優しい先生達の個別指導～4つの学習教室～

A:放課後自由学習教室 B:試験前学習教室 C:夏休み学習教室
D:英語検定試験の校内実施

活動には、地域のボランティア「別所シニア・学習支援チーム」の協力体制があり、各学習の指導は、ほぼ生徒への個別対応。また、英検は学運協主催で数年ぶりに実施を復活、100名を超える生徒が受検しました。

【地域に潜在する人材の積極的な発掘、活用と組織化】

「別所シニア・学習支援チーム」は、地域の教育活動に関心・意欲がある約30名のボランティアメンバーで構成。主に学習教室などに講師として参加。また、特にその中の有志10名程度は、世話人として「どうしたら学校や生徒の役に立てるか」を毎月集まって熟議し、学運協がさらに充実し発展した活動になるように支えています。近隣の松木中、由木中との連携も深め、情報交換、講師の乗り入れなども実施しています。



あんずの会(小中及び地域連携)

小学校児童と中学校生徒との連携活動を令和5年度から、中長期の経営計画の柱の一つとしての位置づけで、加速拡大しています。



いちよう葉フィーカ(不登校保護者)

不登校生徒の小中学校保護者の会『いちよう葉フィーカ』を設立し、茶話会、講話会を実施。子育てに関する悩み・不安を情報共有してリセットすることや、子どもとの対話の仕方をメインに子どもの自己肯定感を上げる内容などを中心に実施しています。

上柚木中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

個人の尊厳を重んじ、平和で民主的な国家及び国際社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な人間を育成するため、次の目標を掲げる。

自律 目標に向け責任感をもって自己の行為を評価し、倫理的に自己調整を図る。

共生 他者の人格と個性を尊重し、多様な人の考え方を理解し、合意形成を図る。

創造 主体的な学びと他者との協働により、既存の知識・技能・概念等から新しい知識・技能・概念等を生み出す。

■学運協運営目標

○保護者や地域の住民に対し、部活動の地域移行など学校への一層の理解や協力を求めるために協議・運営を行う。

○小中一貫教育を念頭に、愛宕小学校・上柚木小学校とともに学校運営協議会としても3校で連携を図る。

○生徒と教員の健康・安全を引き続き第一に考えつつ、生徒の学力向上と健全育成をめざして、教員・生徒と協力しながら支援する。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校学運協は、青少対委員、学識経験者、学校コーディネーター、PTA役員、学校長など、学校や地域に関わりのあるメンバーが学校運営に携わっており、地域で学校を応援しています。地域の方々、先生方と対話しながら連携し、上柚木中学校の生徒たちがすこやかに成長できるよう支援しています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



ジュースやゲームが毎回楽しみ～ユズタブカフェ(放課後カフェ)～

先生からの提案や市から学校への依頼に基づき、生徒たちが安心できる居場所を確保するために、本校生徒を対象に「ユズタブカフェ(上柚木中放課後カフェ)」を開催。PTAから飲み物の支援、地域からは当日の話し相手や遊び相手として協力していただき、生徒と地域との交流増加、生徒の校内外での安心につながっています。

好評のため、年4回開催しました。毎回50名以上の参加があり、学年やクラス、男女関係なくボードゲームやトランプなど様々な遊びを楽しんでいます。



緊張しながらがんばってます

3校連携の一環として、中学生と小学生が同じ会場で英検受験しています。



きれいに咲きますように

コミュニティガーデンでは毎月2回の花壇整備だけでなく、スワッグづくりなど生徒や保護者、小学生も参加できる活動を行っています。

松木中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

生徒の人間としての調和のとれた成長を目指し国家及び社会の形成者として心身共に健全で、これからの社会を周囲の人と協力しながら主体的に生きることができるようにする、という教育の基本理念として『自立と協力』という校是(学校創立の根本精神)がある。

この校是に基づき次の教育目標を定める。

『すすんで奉仕しすすんで学びそして、すすんで鍛える生徒』

さらに「挑む・拓く・和」を行動指針として、すべての教育活動を行う。

■学運協運営目標

○学校運営に係る協議

設置16年目にあたり、学校経営・運営に対して適切な提言ができる体制を維持する。「社会に開かれた教育課程」の実現に努める。

○教育活動に係る支援

生徒が自主性を持って地域貢献する機会を増やし、地域の方との接点を作っていく。また学習支援や居場所作りでも、生徒の希望や主体性を大事にする。地域社会の中で、子どもも大人も「和」を持って共に歩むことができるよう、人と人のつながりの構築を目指す。



--- 地域運営学校紹介 ---

本校は、地域とともに学校づくりをしてきた「地域とともに歩む学校」であり、教職員一人ひとりが、生徒の教育に情熱と使命感を持ち、学校と地域が「チーム松木中」として教育活動に邁進している。また松木中学校、松木小学校、長池小学校で構成する松木中学校区3校が連携し、地域として、児童・生徒の義務教育9年間の教育の充実に努めている。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP!



失敗しても大丈夫だよ

地域の方・卒業生・保護者など16名の方が、自分の生き方や何を大切に選択をしてきたかなどを語ってくださり、生徒の視野を広げ、人生に踏み出す勇気をいただいています。

祭りボランティアは大変だけど楽しい！浄瑠璃祭り

「地域に子どもたちが楽しめるお祭りが無い」—その声をきっかけに、小中3校合同の学校運営協議会がこの祭りを立ち上げました。学運協委員・地域学校協働活動推進員を核に、青少対、各校PTA・保護者の会、NPO・社会福祉法人、地域の有志・卒業生が連携して運営しています。中学生は部活動発表にとどまらず、ボランティアとして模擬店運営にも参加し、大人と協働する中で自己有用感を育てています。子どもと地域をつなぐ場であると同時に、地域の大人同士が新たな関係を結ぶ場にもなっています。令和8年度はキャリア教育の一環としても位置づけ、さらなる発展をめざしています。



今日は何を飲もうかな?!

中学校内では「放課後カフェないろ」を、地域には、小中3校が協力して「ぬくぬく駄菓子屋」を運営し、子ども達のかかわり作りをしています。

鑓水中学校

--- 目標(令和7年度) ---

■鑓水中学校グループ(由木西小学校・鑓水小学校・鑓水中学校)

義務教育9年間で育てたい児童・生徒像

「好きになれる～自分・仲間・学校・地域・挑戦～」

■学校目標(教育目標)

○すすんで学び向上を目指す生徒(自学)

○共に助けあう思いやりのある生徒(共生)

○心身を鍛え最後までやり遂げる生徒(自立)

■学運協運営目標

[学校運営]

○プロアクティブ生徒指導の徹底や特別に支援が必要な生徒や不登校生徒等の家庭教育支援を充実させるため、地域学校協働活動のさらなる充実を図る。

[教育活動]

○「鑓水中学校2020レガシー～ボランティアマインドの育成～」において、生徒のボランティア活動の機会を設定し、活動を支援する。

○生徒が学校の生活の決まりの改訂(「ルールメイキングの実施」)に関わることができるよう支援する。



--- 地域運営学校紹介 ---

令和7年6月に「鑓水中学校地域協働本部」を設置しました。学習支援部、環境美化整備部、家庭教育支援部、キャリア教育支援部の各部を置き、部長を学校コーディネーターが務めることとしました。

地域学校協働活動のさらなる充実を図っています。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP! development

**小中学生のための
キャリア育成プログラム**
これからの大切な人生を見据えた

～専門家による3つのワークショップ～

- ①私と未来と
2026.1.10(土)
明星大学の星山先生
「虹色なこころ」を
めざす
三浦佐知子先生
- ②「見えない」未来
2026.1.10(土)
「マインドマップ」
を使った自分の好きや
強みの可視化
足立純一先生
- ③私のシンボル
2026.2.28(土)
明星大学の学生の方と
Myシンボル作成
そして自分理解へ
竹内康二教授

上記3日程全て13:30～14:30、鑓水中学校にて、筆記用具と上靴が必要です。
※実施場所は、参加人数により決まるため各自各自にて確認いたします。

What'sキャリア?
キャリアとはランダムで
開花するカタカタ未来。
日本では職業選択の時期
で決まる事が多いですが、
未来は自分の人生の
選択次第で「人海」
そのものと変えられます。

**キャリア育成プログラムは
何を学ぶことが出来るの?**
キャリア育成の第一歩は、自分を知ることから
始まります。人生は選択の連続です。子どもから
大人まで、成長から大人へ進む中で、進学や就職、
働く環境の選択で迷い悩む時、そんな時、自分
を知っていること(＝自分理解)は自分の人生の
選択の基盤にしっかりと定着させ、キャリア育成の
プログラムは、人生において選択し必要になる自分の
方向の方法を築き上げていくことができます。

※3回目2026/2/28のお申込です
※保護者の方、教職員の方の参加も可
参加無料

お申し込みはこちらから
(必ず保護者の方から
お申込み下さい)
▶日程は2026/2/25



花壇をとおして交流の場を創出

地域の方や職場体験先の近隣の保育園や高齢者デイサービスの方々に花壇を開放しました。コーヒーを片手に、きれいなお花とおしゃべりを楽しみました。

自分理解がねらい～小中学生のためのキャリア育成プログラム～

子どもたちが自分らしく幸せに生きていくため、自分理解の方法を楽しく学ぶ本プログラム。第1回目(講師:三浦佐知子さん)は「私って何色?自分を知る虹色ワークショップ」、第2回目(講師:足立純一さん)は「マインドマップ」を使った自分の好きの可視化、第3回目(竹内康二明星大学教授と学生のみなさん)は「マイシンボル」を作ることを通して自分理解を深めました。

本プログラムに参加していただいた子どもたちからは「自分のことを考えることができた」「とてもおもしろかった」「またやりたい」と感想をいただきました。



家庭教育支援「フーカ@鑓水中学校」

子育てで心配なことがあるんだけど…ちょっと悩みを聞いて欲しいな等、たくさんおしゃべりしてホッとする時間を過ごしました。

いずみの森義務教育学校

--- 目標(令和7年度) ---

■学校目標(教育目標)

人権尊重の精神を基調として、心身共に健康で、知性と感性に富み、生涯を通じて主体的に学び続け、国際社会に貢献できる人間性豊かな児童・生徒の基本的資質の基礎を養う。

- ◆創造 ～知の創造～ <よく考え学び続ける人>
- ◆共生 ～人・自然・文化の共生～ <思いやりがあり、助け合う人>
- ◆健康 ～健康・鍛錬・耐性～ <健康でたくましい人>

■学運協運営目標

○教育目標「創造～知の創造、共生～人・自然・文化の共生～、健康～健康・鍛錬・耐性～」を学校、家庭、地域の協働により実現

○学校運営協議会の協議と協働本部の取組・活動を相互に関連付け、地域とともにある学校を実現



--- 地域運営学校紹介 ---

開校当初より9年間で一人ひとりの可能性を最大限伸ばす教育活動を行っており、「学校・家庭・地域の協働の下、全教職員が一丸となって、未来を切り拓く児童・生徒を育てる」ことをスローガンとし、地域の教育力との融合を図った教育活動を充実させている。

--- 主な地域学校協働活動(令和7年度) ---

PICK UP !



地域サマーフェスタ

卒業生・保護者・地域・教職員・在校生が集える「地域サマーフェスタ」を毎年8月に開催しています。卒業生や在校生の舞台発表、歴代の卒業アルバム閲覧コーナーの設置、縁日風の遊び場や出店など、地域の大同窓会となる取組として3年目を迎えました。令和7年度は、令和6年度を大きく上回る参加者でした。

このフェスタの継続的な開催が、「地域の子供を地域で育てる」土壌づくりとなっており、大きな成果と言えます。

令和7年度(2025) 八王子市立いずみの森義務教育学校

学校と家庭と地域を結ぶ コミュニティ・カレンダー

「いずみの森」はひとつのコミュニティです。
みんなで協力して、住みやすく、子供たちにとってよりよい環境をつくるよう努力をしてきました。
このコミュニティ・カレンダーは「いずみの森義務教育学校」と「地域」の情報をまとめ、
地域全体で子供に関心をもち、より暮らしやすい地域になるようという願いをこめて作成しました。



八王子市立いずみの森義務教育学校
学校運営協議会
いずみの森協働本部

発行

COMMUNITY CALENDAR 2025

学校、保育園、学童保育所、町会、青少対、PTA等、それぞれの活動や取組を一覧できるコミュニティ・カレンダーを毎年作成しています。



防災教室

道徳授業地区公開講座を「自分と地域を大切にする日」と位置付け、地域と連携した防災教室を実施しました。



地域運営学校 活動事例集 令和7年度（2025年度）版
令和8年（2026年）8月発行

（発行） 八王子市教育委員会
（編集） 学校教育部地域教育推進課

〒192-8501 八王子市元本郷町三丁目24番1号
TEL 042-620-7403 FAX 042-627-8811
E-mail b302300@city.hachioji.tokyo.jp